京城日報

朝刊（朝夕刊合せて十頁）
本紙定價 [illegible]
廣告料 [illegible]
發行兼編輯人 泥谷良次郎
印刷人 小川三之介
發行所 京城太平通一丁目 合資會社京城日報社
電話光化門 [illegible] 振替京城三〇〇番

京城日報

復興方策の大綱を宣示し給ふ

今回降し給へる詔勅を拜讀すると震災の爲めに罹りたる慘害に對して、畏くも聖上陛下には如何ばかり宸襟を勞し給ひ、攝政宮殿下には如何ばかり御軫念あらせ給ふかを拜察するに餘りあり、誠に恐懼に堪へざる次第である。而して更に吾人の感激措く能はざるものは、此の難局に際して、親しく天災の禍を照破し給ひ、早くも復興方策の大綱を定めて、之を有司並に臣民に宣示し給ひし御事である。

大詔の御趣旨は、固より高遠にして微奥、吾人は、唯文字の上に現れたる處に依りて、其一班を拜承するのみであるが、夫れでも、復興方策の大綱は、明かに拜察し得たと信ずる。

凡そ非常の時に際しては非常の果斷なかるべからず若夫れ平時の常軌に膠柱して活用することを悟らず緩急其宜しきを失せば前後を誤り

と仰せられたるは、實に前來の眼目を垂れ給ひしものである。有司動もすれば法規に拘泥して、臨機適宜の措置を誤り、時に責任を回避するが如くにさへ見ゆることもあるのであるが、上掲の御詔を拜しては、些かの逡巡を許されざるや勿論である。

或は個人若くは一會社の利益保護の爲に多數細民の安固を脅かすが如き事あらば人心動搖して休止する所を知らず

是陛下の最も憂慮し給ひし御事である、吾人は、斯かる大御心を勞しさせ給ふやうな事柄は、決して起り得べからざるものと斷ずる能はざる理由がある、と思ふのである、而して

朕は在朝の有司に命じ臨機救濟の途を講ぜしめ先づ焦眉の急を拯ひ以て恵撫慈養の實を擧げんことを欲す

と宣はせ給ふたのであるが、これは災害の善後を策するに當りて、最先の急務と心得べしとの御思召である。吾人は、總ての復興事業は、災厄の際に、殆ど自失せる人心の復興を先きにせなければならないといふことをも思ひ合せて、之を以て復興の第一義とすると、仰せられたるものと存ずるのである。次に

抑も東京は帝國の首都にして政治經濟の樞軸となり文化の源泉となりて民衆一般の瞻仰する所なり一朝不慮の災害に罹りて今や其舊形を止めずと雖も依然として我國都たるの地位を失はず是を以て其の善後策は獨り舊態を恢復するに止まらず進んで將來の發展を計り以て巷衢の面目を新にせざるべからず

と、東京再建に御治定のことを國民に周知せしめ給ふたのである。東京の震災に罹災し、宮城の被害に恐懼したる國民は、永久に鳳居の地の安全ならんことを希念する餘り、或は遷都說を唱ふる者もあつたのであるが、何時何をか申すべき、勿體なくも罹災民と憂苦を分ち給ふ大御心を拜しては、唯感泣の外は無いのである。殊に專門の學者が、遷都說を否定するに於て國民は又も或る年代を經て、震災の起らんかと憂ふこともあるまいと思はれる。斯くて畏くも帝都復興に關する基本的施設をも既に決定せさせ給ひ、以て詔書に明示せられたのである。此に於て吾人は、復興方策の大綱を宣示し給ひしものと拜察し、七千萬同胞と共に、宸襟の御憂を安んじ奉らんと欲するものである。

日本震災とその復興
支那新聞紙の論調

【九日發＝天津通信】支那國民は今や上下一致して日本の震災に對し同情を表し北京政府は遂に米穀の禁輸を解き次で九月八日の閣議に於ては北支那五省の穀類に照らして關稅に一割の附加稅を實施して其半額を日本罹災民救濟に充てることを可決し且目下外交總長顧維鈞氏は公使團方面に正式同意を得べく奔走中である。一方民間にては北洋派の元老として全國の興望を負ふてゐる段祺瑞氏が救災同志會を組織して全國の名士に義捐金の醵出を通牒し今や各省の長官及び在野知名の士は振つて之に贊成しつゝある

之を新聞紙の論調に徴するに始め同情論を揭げ次いで救濟策を提唱し今日に及んでは日本の復興に就て評論を賑はしてゐる今其二三を紹介するに一派の人は『日本は今後特權階級が消滅するであらう』と說き更に一派は『大平洋に於ける將來の國力比例は變更するであらう』と論じてゐるが、獨り政學系の中華新報は

『今次日本の震災に就いて物質的損害は大であるが併し日本經濟の中心地は大阪神戸であり且つ最近日本は農村が非常に發達してゐるから立國の大本には何等の影響がない。而して之を精神的に觀ると日本は歷年の戰勝と經濟上の發展の爲め風俗は奢侈になり政黨は權を弄び富豪は利を擅にして明治維新の精神は地を拂ふたが日本國民は今次の震災に刺激されて一刹那に明治初年の緊張せる嚴肅な氣分に立ち返るであらう。又日本は近年思想混沌として新舊思想の爭が激しかつたが之れも亦兩派共に卒論を拋棄し國力の充實といふ點に向つて邁進するであらう。最後に日本國民は今次の天災に刺激され其損失せる資本と軍事上の施設の關係から人類互助といふ方面に覺醒し國民の感情も其外交方針も共に一新傾向を呈するであらう。此點に於て吾人は日本の復興に對し自國を顧みて多大の注意を惹き且つ幾多の感慨がある』

と說いてゐる。更に先年來排日を事業とした一派も非常なショックを受け

『吾人の日本に對抗した原因は國際公理が許さざる侵略主義に在つたが今や日本の大患難に對して吾人が傍觀したならば之れ亦侵略主義と同じく國際公理の許さざる所である』

と論じて態度を一變しその[illegible]紙の如きも大部分の紙面を割いて日本の災情を報道し眞摯な態度を以て日本を論じてゐる殊に熱烈なる支那人士は『米國が震災を聞き逸早く軍艦を急派したるに鑑みに支那の軍艦が南北政爭に禍せられて派遣せられざるは恥しき次第である』と海軍當局を攻擊してゐるが之等は支那國民が如何に日本の震災に對し熱心に且つ眞摯に同情を表してゐるかを知るに足るもので要するに支那國民の對日救援熱は擧國一致的である。

曾尸茂梨の研究（四）
渡邊 清足

春川誌に『春州者本貊國。新羅善德王六年爲二牛首州一置二軍主一（中略）高麗太祖二十三年爲二春州一』とあり又高麗史に『春州本貊國。新羅善德王六年爲二牛首州一（首一作頭）置二軍主一』とある。而して隱生の說に『牛頭山元牛首州々治之鎭山也』とある。

今以上記事を綜合するに牛頭山は新羅時代牛首州を置き軍主をして治めしめ、牛頭山は之が鎭山となつてゐたが明瞭である。

關野博士の說明によれば州府都等の所在地には防備上必ず後方に小高き山を控え此山を鎭山と稱すと

是に由つて之を觀るも、千數百年以前に於て此の牛頭の地が地方樞要の地たりしことは些かの疑ひを容るゝに餘地はあるまい。

古墳發掘　牛頭山頂に一個の古墳がある。世人往々之を以て素盞嗚尊の御陵の如く誤解するものあり而して附近土民は此古墳を以て日本王子[illegible]之塚『五十猛命』を指せしものにあらざるかと稱し或は三韓以前の古墳である。或は貊國の祖父の墓である。或は高麗人の墓であると傳說區々にして牛頭山を崇敬すること甚だしい之と同時に種々なる迷信の附隨するものがある。曰く、

（一）同山に墓を設くるときは旱雨忽ち至て其者爲めに命を失ふ

（二）暗夜病者を連れ參拜するときは平癒す

（三）同墳墓の雜草を密かに刈取るときは宿痾忽ち根治す

（四）牛を牽きて同墳の頂に入るときは翌朝に至り足腰復衰して跡なし

等不可思議なることがある。因つて先年關野博士の古墳調査に際し同古墳の發掘的調査を爲せるに、墓は山の頂きに位し高さ五尺の饅頭形にして地層三段となり、皮土二尺土三尺匿土以下は悉く自然地層を爲してゐる。而して中士と自然地層との中間に於て三百年頃の瓦片三個を發見したる外屍體は勿論一物をも發見しなかつた博士の說明に依れば是所謂壓葬と稱する葬所の鎭定地の如きもので其の年代の近きより觀るときは墓ではないらしい。即ち元來朝鮮の墳墓は山の脈を受けて其子孫の命脈を延續たらしむるとの意味より墓所の位置は必ず山頂より低き所に設けるを例とする。然るに同墓は山の頂きにある。之を按ずるに此墓と稱するは元祭壇又は他の用に供したるものに非らざるかと想像されるとの事である。由來素盞嗚尊は出雲の熊成峯に於て崩御されたるが故に朝鮮に御陵のあるべき筈なきを以て玆に世人の誤解を說明する（了）

種の話

◇飛行機の爆音を無くする法　飛行機は次の戰爭に於て非常な偉力を發揮するものであるが、只一つ飛行機の大缺點とも云ふべきは其爆音の喧しい事で、此の爲め敵に發見される事が多い。各國の軍事當局者及び民間飛行家は如何にして此爆音を無くするかに就き熱心に研究中、最近佛國陸軍の一發明は爆音を無くする法に成功し、多數の斯界專門家を招き數回秘密に試驗した處其都度好成績を得、其法は絕對秘密に附する事にしたと。

◇ミンダナオ島南方に良林　フィリッピン諸島中の南なるミンダナオ島の南方の島にチーク材以上の堅い良材木で且太いのが數百年間世人に知られる事なく無數に繁茂してゐる事が近頃同地方を視察した米國植物學者に依り發見された、其數量が非常に多いので全部を採伐する事には今後三十年間を要するであらうと。

◇身體全體に爪の出來る人　勞農露國モスコー市の中學校にエチネフといふ學生がある。彼は如何なる譯にや昨年來身體の全部に爪が出來、それが益々增加して此頃では頭部頸部足部は勿論全身爪で周圍に迄出來てゐる有樣で、同級生に大層嫌はれるので止むなく退學したとの事であるが、此青年を始めて見た時はいやらしくて身の毛も彌立つ樣であると。

◇新柔道を米國で考案　米國の一部の米人は此十年來日本の柔道を熱心に研究しつゝあつたが、日本の柔道中のある術は米國人に不向のものもあり又ある部分の術は日本人の如く目的を達し得ない部分のもあるので日本在來の柔道に米國獨特の術を加へた米人向きの新柔道が考案さるゝに至つたが此米人向柔道は昨今米國の各都市で大部勢力を得るに到り此を習得しやうとする米人も增加して來たとの事である。

◇人種平等論と印度　印度は英國が印度領有して以來壓迫を加へたので、今日漸く歐洲戰亂中より印度の排英熱は漸次高まり殊に人種平等論は目下印度內の到る處に於て盛んに唱へられて來たので、何時如何なる椿事が起るやも計られない形勢になつて來たと。

震災義捐金申込人名
九月十日午後二時ヨリ同日午後六時マデ

二千圓　本町一丁目　三中井吳服店
千圓　黃金町二丁目　東拓會社京城支店員一同
千圓　南米倉町　天日常次郎
五百圓　東拓舍宅　鈴木一來
五百圓　京城羅紗商組合員一同
五百圓　永樂町　共濟信託株式會社
三百五十圓　清水組京城支店店員一同
三百圓　和泉町　朝鮮精米株式會社
二百五十圓　京城魚市場　仲買人一同
二百圓　永樂町　共濟信託株式會社社員一同
二百圓　嘉會洞　男爵　韓昌洙
二百圓　本町二丁目　山本正三
二百圓　南山町二丁目　澤村亮一
二百圓　嘉會洞　普天教　李祥具
二百圓　同　文正三
百二十圓　南大門通二丁目　日本生命保險會社朝鮮支店員一同
百二十圓　共濟無盡株式會社　池田與三郎
百圓　南大門通一丁目　北村皮革店店員一同
百圓　京城中華理髮組合長　李金來
百圓　本町二丁目　船崎晴
百圓　朝鮮精米株式會社社員一同
百圓　永樂町　中央廉賣所　同
百圓　漢江通　阿部俊伍
百圓　共濟無盡株式會社　鮎澤常藏
百圓　京城履物商組合
百圓　武橋町　朴泓綸
百圓　同　韓龍植
八十圓　永樂町　林清二
五十五圓五十錢　清水組東大門外採石工場　鮮人支那人職工一同
五十圓　申錫麟
五十圓　龍山湯屋組合
五十圓　共濟無盡株式會社　奧彌輔
五十圓　岡崎町　朝鮮製菓株式會社
五十圓　古河出張所內　長谷川町　水谷九二吉
二百五十圓　南大門通二丁目　株式會社丁字屋店員一同
二百五十圓　本町二丁目　山本旅館奉公人一同
一千圓　旭町一丁目　阿川重郎
三百圓　藤井寬太郎
二百圓　小瀧元司
百五十圓　社團法人朝鮮土木建築協會
百五十圓　高瀨梅
百五十圓　小森虎吉
百圓　島崎龍一
百圓　柴田令五郎
百圓　福原源一
百圓　齋藤英壽
百圓　住井豐野
百圓　小林千壽
百圓　井上久藏
百五十圓　京城洋服職工組合
一千百三十圓　京城洋服商組合
　內　三百圓　小林源六　百圓　角田支店　百圓　富田屋洋服店　五十圓　花本兵一　五十圓　濱吉太郎　五十圓　吉田規一　五十圓　巴屋洋服店
百圓　千葉　鹽澤千代
百圓　京城日の丸水產株式會社
五十圓　京城增田屋支店
五十圓　京城丸京市場
五十圓　小林濟吉
[illegible]

五百四十七圓五拾九錢　南大門公立尋常小學校生徒一同

計金壹萬七千五拾六圓九錢
累計金六萬七千百拾參圓七拾九錢　外金鎖一本

早稻田大學講議錄

急告

本月一日の大地震の爲に東京市の大半が燒失したに拘らず早稻田大學の災害は比較的輕少であつた特に講義錄の發行所たる出版部と其印刷工場とは幸にも全く遭難を免れたのであるただ山と積んであつた講議錄書籍活字棚などが殆ど全部轉覆した爲に其整理に二週間ほどを要するであらうが其の後は常態に復する見込であるから御安心を願ひたい特に新學年講議錄の第一號は大半組版が出來た所であるから期日內には相違なく發行する豫定である見本附規則書は通知次第送呈する

東京市牛込區早稻田
振替東京一一二三番
早稻田大學出版部

急告

今回の震災に際し深甚なる御見舞に預り忝く奉謝候。本社總務部燒失、東京工場は破損致候得共、重役及び從事員一同無事に有之候間、御安心被下度候
尙製品に就ては大阪大里兩工場は勿論當工場の水害復舊も手入も去月末完了、目下極力製造致し居り今後の供給に就ては何等支障無之候間、左樣御諒承相成度先は不取敢御禮旁御通知申上候

大日本製糖株式會社朝鮮支店

震災に就いて
星製藥府縣郡元、自助會、同窓會員、特約店諸君に告ぐ。

一、事務所、工場に於て唯一人の死傷者なし。又其家族全部無事。
二、京橋事務所は建つて居る儘にて內部燒失。
三、大崎工場は極めて輕微な損害を受けたるのみにて、建物及製品にも何等の損害なし。
四、事務所は工場に移り、社長始め一同元氣にて整理に及新計畫の遂行に活動。
五、ボイラーは去る四日より火を入れ、屋外電燈は六日より點火し、動力も八、九日頃より通ずる害なり。
六、作業の準備完成。
七、汽車、汽船等交通機關の復舊を待ちて、各製品洩れなく發送出來る。
八、目下社員、職工總てが一般罹災者の救濟及寄贈品製造配給に奔走中なり。
九、厚き諸君の御見舞及御同情を感謝す。

星製藥株式會社
社長　星一

四緊急勅令公布

【東京電報】樞密院顧問官の諮詢を經て十二日附で左記の緊急勅令が公布された

震災地 府縣議選擧

勅令第四百九號

東京府神奈川縣等に於ける現在の府縣會議員の選擧等に關する件

東京、神奈川、埼玉、千葉、及靜岡縣に於ける現在の府縣會議員は其の任期滿了するも後任議員選擧の期日の前日迄在任する件

前項に規定する府縣に於ては前項に規定する期日の前日迄府縣會議員の補缺選擧は之を行はず後任議員選擧の期日は内務大臣之を定む

前項に規定する府縣に於ては大正十二年に調製すべき府縣會議員の選擧人名簿に關する府縣制第九條乃至第十二條の規定する期日及び期間は内務大臣の定むる所に依る

附則 本令は公布の日より之を施行す

各税の免減猶豫

勅令第四百十號

第一條 政府は震災被害者の納むべき大正十二年度分の第三種所得税及營業税に付き各納税者の被害の狀況に應じ命令の定むる所により之を免除又は輕減する事を得べし

第二條 政府は震災地に於て大正十二年度に納附すべき左の租税に付き命令の定むる所により其の徴收を猶豫する事を得

一、地租二、所得税三、營業税四、相續税

第三條 第一條の震災被害者及現狀の震災地は命令を以て之を定む

附則 本令は公布の日より之を施行す

輸入税減免除

勅令第四百十一號

政府は震災の影響により必要ある時は勅令の定むる所により期間を規定し生活必需品並に土木建築用に資する器具機械及材料の輸入税の輕減又は免除する事を得

本令は公布の日より之を施行す

權利々益の存續

勅令第四百十二號

震災行政上の權限に屬する處分に就き權利々益の存續に關する件（電文不明に就き條文省略）

臨時議會召集か
孰れは開會されねばなるまい

【東京電報】臨時議會を召集するかどうか廟議は未だ決定しないが特殊機關にて調査せられ帝都復興案が速に出來上がるか或は急角復興費を統計的に支出する必要に迫られば當然議會の協贊を經なければならぬので貴衆兩院では幸ひに震災を遁れた議事堂に臨時修理を加へ且召集期は二十日間を要するから決定次第通知其他の手續が出來る樣に準備されてゐる中村下院書記官長は既に準備も出來てゐるから何時召集せられても差支へない召集は勿論東京で期間は五日乃至十日位でそれで出來る丈け震災復興費等を附議されるであらうと語つた

英艦隊日本に急行

【東京電報外務省公表】英國海軍省は目下新嘉坡府中の同國艦隊に對し日本に急行の上日本政府指揮のもとに救濟事務に參加すべき旨同情ある訓令を發した。

慰問品を滿載した
米國御用船横濱に向ふ

【東京電報】外務省着電―米國赤十字社募集の義捐金は既に二百萬弗に達した又米國陸軍御用船イイブス號は多數の病院用建築材料、自動車三輛、運搬車、寢具、軍用事業服、帽子等各三萬個と軍衣三萬四千合羽一萬、カアキー織衣三萬五千、毛布一萬一千枚、材木一萬五千磅を積んで十日マニラを發し横濱に向つた

實戰以上の勞苦
を嘗めつゝある警備兵
阿部戒嚴軍參謀長語る

【東京電報】關東戒嚴軍參謀長阿部少將は語つて曰く『今回の大災害に際し東京、神奈川、千葉、埼玉の一府三縣に亘る戒嚴地帶に使用した兵力は凡そ步兵二十個聯隊騎兵六個聯隊砲兵七個聯隊工兵十八個大隊其他各種の技術部衛生隊殆ど全部であつて之を換算すると五個師團乃至六個師團となり丁度大正十年の陸軍大演習の參加兵力に相當する右の大部隊は殆ど日本全國の各地から一日遲くも十日の中に召集が完了されたことが既に驚嘆に値する更に其の警備狀態は三島御殿場より厚木附近の相模平野一帶北は埼玉附近東は銚子佐原附近南は房州館山迄擴張され罹災者の救護と交通整理の恢復に努めつゝあり其勞苦は實戰以上のものがあると共に此の一大事變に對して人間の力が如何に自然に屈せざるを示してゐる之等軍隊の勞苦は何れも優劣はない殊に同情に堪へないのは出身地が震害に襲はれし第一師團の各部隊の兵卒である數萬の兄弟を亡ひ家を燒かれ財産を失ひたる者少くなからうが公事私事を顧みず必死に其任務を勵んでゐる樣は誰か一掬の涙を注がないものがあらうか

特殊銀行の活動
大藏省と日銀から融通して

【東京電報】十日の經濟財政官廳に於ける大藏省及び特殊銀行の會議に於て大藏省預金部及び日本銀行から資金を供給して特殊銀行は活動することゝなつたが右の内預金部の資金は住宅資金に日銀資金は商業資金に充當する筈であるが大藏省では十一年度の剩餘金中自由に使用し得る者二億六千萬圓と十一年度の歳計剩餘金及前年度繰越金等を合すると約四億萬圓を使用し得るから東京市復興費には不足を來たさない併し萬一の場合には剩餘金を改鑄した益金一億二千萬圓は勿論在外正貨をも一般會計に移し住宅資金に充當しようと云ふ方針である但し在外正貨は本年の公債償還に要するもの及震災關係に要するものを差引くと使用し得るものは三千萬圓程度である

八幡製鐵所の活動
震災救濟材料製作に取掛る

【門司電報】財界不況に伴ひ消極的方針を採つてゐた八幡製鐵所では今回の大震災の結果俄に建築用品の生産に迫られ從來の作業を變更して專ら震災救濟材料の製作に取掛る模樣で副島次長を始め各部長は日夜食後、倶樂部に集合し非常時に處する善後策に付き協議を重ねてゐる十二日の如きも午前及び午後に亘り部長會議を開き特に震災救護事務局からの電命に先ち各部に於て豫備的計畫を講じ萬一の場合に備へてゐる、併して過般來氣遣れてゐた東京出張所員一同も無事らしく白仁長官からは未だ緊急の方針として何等命令は來ないが近く或る種の工業負命が降るものと豫想されてゐる。

海軍區域
及び指揮官發表

【東京電報】海軍區域及指揮官は十二日勅令を以て左の如く發表された

總司令官 海軍大將 野間口兼雄

横須賀方面指揮官 海軍大將 野間口兼雄（地域横須賀市、衣笠村、武山村、西浦村）

逗子方面指揮官 海軍少將 大谷幸四郎（地域逗子町、田浦町、葉山村）

浦賀方面指揮官 海軍少將 陣山可也（地域浦賀町、久里濱村、北下浦村）

三崎方面指揮官 海軍大佐 森初次（地域三崎町、長井村、初聲村、南下浦村）

地方長官召集

【東京電報】震災に罹つた各地の復興費を豫算に計上すべく協議の爲め今週中に關係地方長官を召集すると

横濱税關
廢艦を利用か

【東京電報大阪經由】罹災救護の爲め外國船が續々本邦に向つてゐるが横濱は税關燒失の爲め神戸に入港するを便とするも神戸より東京方面に物資を輸送することは貨車輛不足のため不可能であるから此際船舶二三艘を横濱沖に碇泊せしめ艦内で税關事務を採り又物資の陸揚げ方法を取るべく目下京濱當業者の陳情により政府にては考慮中であると

各地よりの義捐金
七百五十萬圓

【東京電報】救護事務局の計算に依ると十二日迄各地より發捐した見積額は七百五十萬圓に達すると

滿鐵の寄贈品
四百萬圓に達す

【東京電報】滿鐵の物資供給第一船長神丸は十三日正午芝浦に入港救護事務所に給附すべき手續きを了したが引續き太陽丸（四五〇〇噸）も物資を滿載入港すべく第三船西京丸は十三日正午芝浦に入港張作霖氏よりの寄贈品を搬す筈であるが同船到着の上は東京、横濱間の聯絡に當るべく滿鮮の寄贈品は價格四百萬圓の巨額に上ると

私立大學の協議

【東京電報】明治、中央、日本、專修其他各私立大學では再築の善後策につき夫々理事者會を開いて協議を重ねてゐるが容易に決せず文部當局では今の所手のつけやうもないが私立大學一部理事者の間には保證金として納めてある一校五十萬圓以上の金を一時文部省より返して貰ひ融通を受け再築を計るべく内々運動をしてゐる、中には假令保證金を返して貰つても融通の出來ぬ學校もあるので廢校の止むなき大學もある、早大は心配した程でなく大講堂の壁が落ちたのと、理工科の實驗室を燒いただけで授業には差支へないが世間へ遠慮して開校は十月頃になるであらう

大阪金融小康

殖銀大阪事務所到電に依ると日銀の徹底的援助聲明は一般に好影響を與へ幾分ながらも漸次資金の市場に現れるもの増加し品取引條件等も一段と緩和されて來たがコール長期物は依然として出手無き狀態である而して一般市中銀行の貸出態度は目下現狀維持の狀態であるので一般取引資金の需要増加に伴ひ震災前に比し稍硬調の程度を濃厚ならしめてゐる。十日のコール歩合は、左の通りで保合狀態である

翌日物	二二厘
無條件	二五乃至二六
月越	二二乃至二五
六十日物	二三乃至三五

鐵道省異動
近く發表される

【東京電報】鐵道省の運輸局長監督局長並に電氣局長の後任は未だ發表されず臨時事務取扱ひの儘になつてゐるが早晩此の補充があると同時に相當廣汎に亘り局長級の異動があることは豫定の事實である併しながら東京を中心として鐵道網が著しく破壞され且震災に伴ひ各線ともごつた返しの最中であるから此際當局の異動を行ふ事は却て各般の事務澁滯上面白からぬ結果を招くかも知れないので目下内閣幹部其他官等は此點を大いに憂慮してゐる由であるから右異動の發表は早くも東海道線が全通してからであらうと部内で觀測されてゐる門司鐵道局に於ても此異動の波は當然及ぶだらうと云ふので早くも下馬評とりどりであるが噂では局長荒正太郎氏は中部太官との交替說が傳へられ且つ運輸貨物課長事務の補遺者である八九分まで運輸局長の椅子を與へられるものと噂され若し本省運輸局長の如きも曾て鐵道監督局官であつたこともあり各鐵道局運輸課中の最古參者である關係も有り本省に轉じ相當緊要な地位につくだらうなどと云はれてゐるけれどもそれは頗る疑はしい併し運輸局長になると否とに拘らず來るべき異動には館局長の動くことは確實と見てよいから循環異動をやりつゝある從來の一例から見ても二三課長級に波及することは先づ疑ひなからうと云はれてゐる

清津木材好況

【清津特電】東京地方の震災にて清津の木材界は活況を呈して來たが昨今の相場は清津及雄基附近もの潮渡しにて頂秒平紅松角物一才十錢、丸太七錢見當であるがこれを他地方に比すれば餘程の割安である

金銀兩建採用
大連建値問題漸く解決

【大連電報】兩三年に亘り滿洲經濟界の一大懸案として論議されてゐた大連特産取引所建値問題は伊集院長官によつて愈々金銀建に決定され來る十一月一日より金銀建に復活さるに決し十四日關東廳令で公布されると

產業組合令
議研究中

朝鮮產業組合令は久しく懸案となりつゝ今尚發布の域に至らない。これは總督府としても非常に其必要を[illegible]あり從つて已むを得ず今日尚其發布を見ない譯であるが仄聞する所によれば其後種々研究を重ねた結果既に今日では殆ど研究も完了し漸く完全なものとなつた模樣であるから遠からずして之が發布を見るの運びに立到るであらうと當局者は語つた

關税免除影響
時宜に適した緊急措置

政府は今回の震災に對する緊急對策として生活必需品五十七品並に建築材料に對する關税を免除する事を十二日閣議に於て諮問の手續を執る模樣である。右に就き當局者の談る所によれば米は大正八年より昨年の十一月迄關税を免除して居たが現在では關税を徴してゐる、又生牛肉と雞卵とは本年の十月まで免税と云ふ事になつてゐたが是等を再び明年の三月三十一日まで免税を延期する外更に生活必需品五十七種と建築材料との關税を免除しようと云ふ意嚮であるが豫算の限りではないが若し之を此の計畫通り實行するものとすれば我國としての關税收入の減少する事は甚しく莫大な額であらう。それを實行しようと云ふのであるから實に政府としては一大英斷と謂はねばならぬ。然しこれによつて罹災民に安定を與へる事は多大なものであらう。從つて此の有史以來の大慘事にこれを斷行すると云ふ事は非常に危機に適した計畫と謂はねばならぬが斯くてこそ眞に救濟の實が擧がるのである。これが朝鮮に如何なる影響を及ぼすや否やに就ては未だ論ずるほどの事もないが、戰後に消費者側から云へば免税された丈けそれだけ安價な品物を購へると云ふ事になるだけの話しで何等論じ立てるほどの事はない。唯この實行と倶に我國の輸入品が多少増加するであらうがそれ等が關税免除となるとそれだけは收入が減ずる譯であるがそれも已むを得ない事として之が飽まで罹災民救濟の根源と云ふ程度に於て大いに時機に適した處置であると云ふ事と此政府の一大英斷に寧ろ驚歎するばかりである。云々

敵虫繁殖
て松蛄蝲撲滅は到底不可能

今夏京城東小門外の國有林一帶に暴威を逞うした松蛄蝲も官民協力してこれが驅除に努めた結果餘り大害なくして終熄したが此松蛄蝲撲滅の困難に就て京畿道林技術者は左の如く語る

松蛄蝲を撲滅する方法に就ては色々の說があるが就中有力に唱へられるのは敵虫繁殖の方法であるところがこれも一寸聞いた所では妙策と思はれるが仔細に考察すると多くの矛盾を孕んで居るといふのは此敵蟲は松蛄蝲に寄生するのであるからこれを繁殖させるには先づ松蛄蝲の存在を必要件とするのである第一此點に於いて

既に矛盾を生ずるので

ある又若し此寄生蟲が松蛄蝲を絶滅させるだけの威力のあるものならば既に今日迄に松蛄蝲の存在を許さない筈である然るに今日松蛄蝲の猖獗を見るのは取も直さず其力の薄弱な事を證明してゐるのである更に此寄生蟲が松蛄蝲以外の他のものにも寄生し得るものならば其繁殖には危險を伴はないが松蛄蝲以外に寄生しないものとすれば其繁殖には危險な松蛄蝲を繁殖させねばならぬといふ

危險が伴ふ

から茲に無意味のものになつてしまふので結局は[illegible]樽吹貝殼蟲といふ害蟲が繁殖して來た樹の植物を殆ど全滅させたことがある而して此害蟲が米國へ輸入した當時に附着して居たので忽ち繁殖の果樹を食害したそこで米國では多いに驚いてこれを撲滅させるべき方法を探したすると濠州に於て「ベダリヤ」といふ瓢蟲である天敵を見出した結果これを繁殖させたところが此害蟲は

忽ち絶滅して

仕舞つたそこでこれを本邦の樽吹貝殼蟲に試みたところがこれも絶滅して今日では殆ど其存在を認めないのである斯くの如く寄生蟲に共通のものがあれば極めて簡單に敵蟲の保存増殖を圖ることが出來るが然らざる場合には中々困難であるそこで松蛄蝲の寄生蟲はといふとまだ他に共通の寄生蟲があるかないか判らないのであるが若し他に無いとすれば到底松蛄蝲の絶滅は望まれないことになるから繁殖は出來ない

震災と殖林事業
掛場京畿道林務課長談

世の推移といふものは面白いもので昔は森林は人類の敵であつた、といふのは森林あるが爲に猛獸の害が多く交通が不便であつたからだところが段々人類の數が増し智識が發達するに隨つて森林を利用することが多くなつた今では森林は人類生存の上に最も必要なものとなつた卑近の例から言つても

水害を見て

は山林を思ひ火災に逢ふては山林を考へるといつたやうな有樣である然し治水や建築材料の爲め若くば燃料としての必要は未だ小さなもので一般工業用として最も其必要を感ずるのである然るに此森林は全地球面に比すると極小部分で先づ大陸の四分の一が陸地で其陸地の内でも雨量適度の地方で森林の存在を許さないものが二分の一ある例へばゴビの沙漠、パミール高原、アフガニスタン、アラビヤ、アフリカ北部、北米の中央（ロッキー山脈からアリゾナ、ユタ地方）南米アルゼンチン、オーストラリヤの各地は雨量不足の爲め

森林の存在を許さない

のであるところが木材の消費量は日と共に増加して來るだから世界の森林需要率を見ても木材の需要率が一番高いこれは自然の趨勢で如何とも致し方がない米國の如きは木材の消費量が人口増加にして日本の約四倍に達して居るこれは建築材料としての消費ではなくて工業用としての消費であるこれは工業と森林との關係であるがこれに次いで恐ろしいのは以上森林を荒すものは新聞である新聞紙を作る爲の用紙製造に要する木材といふものは莫大なもので現に日本でも富士製紙會社が專ら其任に當つて居るが最初富士の裾野を伐盡して今は北海道に移つて居るこれも大部分伐盡したから今度は

樺太に移る

であらう樺太を伐盡したら濠州に移る順序になるが斯くの如く片ッ端から森林が新聞に喰はれつゝあるのである然し森林保護の爲めに新聞の發行を停止するといふ譯には行かないから國人擧つて森林を愛護し其增殖に努めなければならないのである從來日本で建築材料といへば直ぐ木材を聯想させたが今日では段々石造煉瓦造りが殖えて木材は建築界から放逐されつゝある現に總督府の新築を見ても木材は僅かに使用するだけで彼の尨大な建築に木材の使用量はたつた二千石（一石は十立方尺）しかないといふ有樣

建築界からは段々放逐

されつゝあるが他の需要は日を追ふて増加しつゝある而も吾人生存上缺くべからざる工業用となるのであるから殖林の事業は一日も忽せにすることは出來ない今日世界の文明國は何れも此の事業の爲に非常な苦心をして居る即ち山を見て國の文野を知るといふ時代になつたのである

震災地からの書信
京城著は十三日朝迄に三千餘通

罹災地發郵便物到着の狀況に關しては既報の通りであるが十三日京城著第二號便（釜山發十二日午後七時半京城着十三日午前六時）で左の通り多數の罹災地發郵便物が到著した罹災地に於ける通信の秩序漸次恢復した事が想見し得られる▲東京中央局引受六九二▲小石川局二二〇▲三田局二三▲青山局六八▲淀橋局一九三▲駒込局四五▲麻布局三九▲本郷局一二三▲赤坂局二六▲四谷局七七▲白金局三八▲世田ケ谷局二〇▲品川局三九▲牛込局一六▲千住局五八▲早稻田局二〇▲横須賀局二▲静岡縣各局二〇七▲神奈川縣各局二六九▲埼玉縣各局一八〇▲山梨縣各局七七▲計二七二八通

又十三日京城著第一號便（釜山發十二日午後十時二十分京城著午後九時五十五分）で到著した罹災地發郵便物は左の通りである▲東京中央局引受三▲淀橋局二▲神奈川縣各局五▲静岡縣各局一二二▲青山局一▲山梨縣各局七五▲計三〇九通 以上通計三〇三七通 猶今後も續々到着する見込であるが斯くして漸次罹災各地の通信設備の復舊を待ち一日も早く災害地へ宛て普通郵便物の取扱開始を急ぐ手配中であると云ふ

郵便爲替
東京へは當分閉鎖目

災害地に宛てた郵便爲替取扱の復活に就ては當地遞信局では非常なる苦心を拂ひ極力遞信本省と打合せ中であるが何分罹災者の安否に關する通信許りでも莫大な數に上り關係郵便局では忽が事務に忙殺されてゐるから災害地に宛た爲替事務の開始復舊の急務なる事は充分に認識してゐるので出來得る限り迅速に復舊せしむる手配中ではあるが復活開始期を[illegible]し得る程度には進捗して居らぬさうである、それに東京中央局の爲替貯金課の書類も大分損傷したらしいから是れが整理には相當時日を要する事情もあり、又振替貯金は當分到底實行は覺束ないとのことである

鮮内畜牛消長

最近一年間に於ける朝鮮の畜牛生産數は牡牛十五萬七千八百十七頭牝牛十九萬八千九百九十五頭合計三十五萬六千八百十二頭でこれを前年に比すると牡牛に於て二千六百五十八頭牝牛九千三百七十一頭合計一萬二千二十九頭の増加である同じく屠殺數を見ると牡牛十五萬二千五百二十九頭牝牛十二萬四千百六十八頭合計二十七萬六千六百九十七頭でこれを前年に比すると牡牛に於て三萬七千二百卅七頭牝牛に於て一萬六千八百六十四頭計五萬四千百一頭の減數を示して居る此減じた理由は生牛價格の騰貴と牛皮相場の下落とに依るのである最近一箇年間の生産數と屠殺數との差引を見ると生産の方が八萬百十五頭多いからこれだけ生牛が增加して行くことになる即ち年々八萬頭の輸移出能力がある譯である

仁川署移轉期

山手町の要の地に新築成つた仁川警察署は萬端の設備も完成したので來る二十六日の吉辰をトして愈々移轉する事に決定した（仁川）

ヨシアシ

未曾有の大震災に當り、玆に畏くも大詔の煥發を拜す、誠に恐懼に堪へない。

◇

吾等國民は上下心を一にし、非常に際しては非常の大擔勇猛なかるべからず、たゞ赤心誠意聖旨に奉ぜむのみ矣。

◇

何が問題となるかも知れぬ、震災救恤に中村再造君の金一千圓、釘本商議會頭の金三百圓が裏店運で昨今大問題となる。

◇

釜山には震災救恤に、白米六百石を寄附した大池君や、金一萬圓を出した香椎君がある、京城の大池君、京城の香椎君はゐないのか

◇

暴利取締令が朝鮮にも施行されることになつたが、財界の此の情勢ではソンナ馬力のある商人は一人もありません、淋しいやうな氣はせぬか。

◇

大きくて、政治上どうとか、或は朝鮮統治に對する料簡があるとか切取強盜そつくりの捨臺詞を羅列して町廻りのビラも初秋の風に見えるやうだ。

◇

安昌男が震災で死んだ、半島の誇である前途有爲の青年飛行家を喪つたことを深く悲しむ。

主義者檢事局へ

[illegible]

震災に乘じて

あるといふ（新義州）

仁川の義捐 會集まる

[illegible]

天災に面して信仰を高唱す
京城若草町基督教會牧師 井口彌壽男

天災地變に對する解釋は困難な事だと思ひます。であつて輕々しく結論すべきでないと思ひます或は是れを惡魔の所業であるといふ者がある。また或人は科學的にのみ解釋をしようとする。前者は神と惡魔とを對立せしめ、後者は神と自然力とを別者とする。私共はかゝる二元的な見方に贊成することは出來兼ねます。

イソップ物語の中に、旅人が樫の木の下に休んで上を仰いで樫を見ながら、造物主は何故西瓜の如き細い蔓にあんな大きな實をならせて、こんな大きい樫の木に小さい實をならせるのであらう。といつて居るとやがて大風が吹いて來て樫の實が落ちた。其時旅人が言ふには、あゝ樫の實が小さくつてよかつた。若し西瓜のやうに大きかつたならば大變なことになるのであつたといふ話がある。天災地變に對する解釋をなすものやゝもすれば此旅人の如く、無理なこぢつけた結論を下したがる。されど私共は早計に解釋出來ぬといふのが眞實な態度であると思ひます。私共は御同樣此災禍に自分では逢つて居らないで、たゞ外面から見て居るだけであります。外部から見て居る私共としては此天災を神の警告として考へるだけは差支あるまいと

一、生活の墮落、ノアの洪水、ソドムゴモラの噴火、ポンペイの埋沒は遠い昔話ではなく生きた說明の事實ではありませんか。帝都の大建築どれ一つとして一朝にして灰燼とならうと考へたものがあるであらう。『地に財を貯ふる勿れ』と述べ給ひし聖句の意味が今はつきり[illegible]と思つたのです。我は『天に寶を積むべし』と仰せられた。然り水にも火にも地震にも堪へるところの寶は信仰のみであると信じます。人よ眠より醒むべき時は正に今ではあるまいか。

二、信仰に富むべきことであります。信仰的知識と信仰的體驗と信仰的意志に據むことであります。信仰があるといふだけではだめであります。一錢もつて居るもあるである。一圓もつて居るもあるである。[illegible]か。信仰に富むとは、あなたの[illegible]ちになつて居る信仰を大いに[illegible]ることであります。

三、自己反省、自分は何に醒ん[illegible]居るか、驕らうとして居るか。[illegible]神との關係を決定すべきことだ。

以上天災地變の問題に就て何にか基督教に對する御質問があつたならば京城新生會に御來臨なさいまして御質問を御願ひ致します若し都合惡るければ書信にしても宜う御座ます

京城 慶雲洞三二 日本基督教會協力宣教師 兼京城新生會長 ケール

▼百發百中!! 當らざる時は直ちに返金す

運勢獨占ひカード

▲誰れでも出來る新考案

◆此カードは斯道の名家光眼先生が五ケ年に亘る苦心の一大考案にして之れさへ有れば易者はいらぬ◆先づ其の二三枚を組合すれば此の人は何誌で九星は何、干支は何々とすぐ判る。それから今思つて居る事がよいか惡いか。何時運が來るか此先どうすればよいかは勿論◆相性。選業。日々の吉凶月々の運勢迄どんな素人にも手に取る樣に判る◆殊に面白いのは相手の持つて居る懷中の金や好きなもの嫌ひな物まで當ると云ふ不思議なカードである◆やり方は頗る簡單誰でも出來る今や好評噴々◆希望者は賣切れぬ内新聞名を記入しハガキで申込次第代金引替にても發送す◆前金注文送料八錢◆代金引替注文は送料廿五錢を要す

函入 美組 特價壹圓

東京市上野櫻木町五貳 振替東京六〇四六八番 好文社

最新刊

文檢受驗者の爲めに（十二年版）	明治教育社	三、〇〇
憲法講義	美濃部達吉	四、四〇
愛の言葉	高山辰次郎	一、六〇
白蘭磯公子	大久保常	一、九〇
露瀟人形の夢	加藤まさを	三、〇〇
現代思潮十講（六版）	桑木博士	二、五〇
排日の實狀	藤江政八	一、六〇
文部省査定常用漢字の字引		一、五五
新式布石講話	中川龜三郎	一、九〇
海の傳說と情話	大阪朝日新聞社	一、一〇
最近の金融經濟研究	堀田、河津、堀江博士	三、〇〇
萬物皆戰ふ	長尾宗軾	二、二〇
學校小說中學時代	住田章	二、二〇
朝鮮職員錄（十二年四月一日現在）		一、七〇（送料一〇）

振替京城二五七三 京城電話本局八六四、二〇八六 大阪屋號書店

株式名義書換停止公告

來ル十月一日ヨリ第貳拾參回定時株主總會終了當日迄當會社株式名義書換ヲ停止ス

右定款第拾八條ニ據リ公告候也

大正十二年九月

朝鮮郵船株式會社

準禁治產宣告

江原道鐵原郡鐵原面中里百九拾九番地 大權高 明治貳拾八年貳月貳拾參日生

右浪費者ト認メ準禁治產ヲ宣告シ之ヲ保佐人ニ附ス

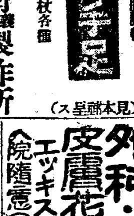
實父高啓河ノ申立ニ因リ當支廳ハ前記高大權ヲ浪費者ト認メ準禁治產ヲ宣告シ之ヲ保佐人ニ附ス

大正十二年九月六日

京城地方法院鐵原支廳

○患者用松葉杖一組金參圓貳拾錢ヨリ五圓五十錢マデ各種下命ノ時ハ脇下カラ床マデノ寸法通知被下度候

▲義手足元祖如何ナル不具者デモ脊髓病デモ器械術應用デナホル



理想脫臼帶 松葉杖各種（見本藤呈ス）

專門製作 義肢 高野肢製作所 電話本局壹貳貳六番 京城本町一丁目

魚釣具 投網

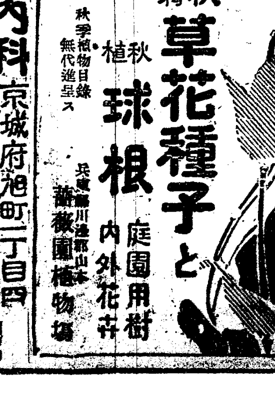
カスミ網 捕鳥用各種

投網四分目二幅四百八百… 前金送料五十錢代金引換九拾五錢

極上絹糸製 捕鳥用カスミ網 高六尺三尺二間横巾三間 前金送料負擔 代金引換

チエロ化粧料卸直門 御小賣共御申越次第定價表進呈

京城永樂町二丁目 卸商 吉備商會 電話本局三一四番 振替京城四三一八番



外科・内科 皮膚花柳病科 エッキス光線及電氣科 京城府旭町二丁目四 島崎病院 院長 島崎龍一 入院隨意（普通及隔離室） 電話 病院本局二七三六番 院長本局三六九三番

時計並貴金屬 仁川本町 糸岐商店 電話長三七〇番

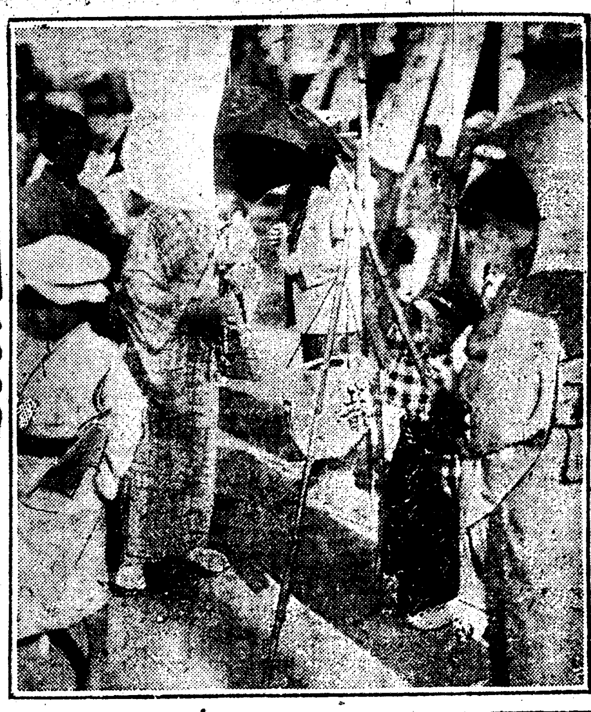
尺八指南 上田流 黄金町一ノ一九四 森田仙堂

内科 小兒科 京城若草町大通り 今村醫院 院長 今村豐 入院隨意 電話一八三一番

（兒童保健相談所） イケダ内小兒科病院 京城三越呉服店前へ入る南山町一丁目 電話（病室二三四番 自宅二四〇番） 院長 池田

鯨 赤肉 尾羽 皮 專業問屋 尾羽毛 ㊥ 平井成一商店 下關市唐戸町

灸、マツサージ 來る十四日より向ふ一週間左記に於て諸病治療開始 海州伏屋旅館内 尹世準



京城基督教聯合會の同情籠（府廳前にて）

第廿師團の機動演習

十月下旬より京城を中心として京畿道内に於て擧行され 飛行機も十臺位參加する

第二十師團本年度秋季機動演習は京城を中心に京畿道内に於て擧行せられ旅團演習以後の日割は左の通りである

一、十月二十七日より同三十一日まで旅團演習（三十一日休）
一、十一月一日より三日まで旅團對抗演習（四日休）
一、十一月五日、六日兩日師團假設敵演習
一、六日正午閲兵式—解散

參加部隊

步兵四個聯隊、騎兵、野砲兵各一個聯隊、工兵一個大隊、野戰重砲兵一個中隊、飛行第六大隊は本年內地に於ける陸軍特別大演習が震災の爲め中止せらるゝ模樣であるから飛行機は昨年より多く十臺位參加するらしいと

陸軍大演習 取止めとなる

十三日陸軍參謀本部發表—本年秋三重縣下に於て擧行せらるべき陸軍特別大演習及び群馬縣下に於て擧行せらるべき師團對抗演習は都合に依りて取止めとなつた蓋し今回の大震災に對し陸軍全力を擧げて之が救護復興に從事すべき旨趣き思召がありたるものと拜察せらる（東京電報）

師正王 御內葬 質素に行はる

鎌倉にて去る一日震災のため薨死された師正王の內葬は十三日午前七時一兵衞町の本邸にて極めて質素に行はれ八時數臺の自動車で豐島ケ岡の墓所に到着埋葬せられた（橫濱電報）

遷都說を流布 すると嚴罰に處せらる

震災以來盛んに遷都說を流布する者あるより警視廳は今後かゝる無根の風說を流布する者は發見次第取抑へ嚴罰に處すべしと（東京電報）

大地震の原因

相摸灘西南方の陷落と湘南地方の土地隆起 中村博士の震災地視察談

中央氣象臺の中村博士は震災地踏査の爲め數日來大島附近の海上から房總半島を飛行機で觀察し九日から各被害地方を自動車で實査を遂げ十日夜歸京したが博士は曰く『今回の地震は相模灘の西南方に起つた陷落と其反動として湘南地方に起つた隆起 三浦半島房總半島方面に土地の隆起を見たので陷落程度は伊豆方面で凡そ三、四尋これに反し隆起したのは大磯附近で三尋大島附近が二、三尋三島、熱海邊りが二、三尋であつたに違ひない箱根山方面の隆起も三尋位である、地震に依る被

帝都の震害 想像以上

三日京城を出發して急遽震災の帝都に向つた予（鮫島本社員）はあらゆる困苦と戰つて八日無事着京した市內及び近郊の秩序は戒嚴令實施以來完全に維持されてゐる然し夜間は町內の靑年や消防組が槍や刀を下げて警戒してゐる京橋日本橋其他の商工業中心地の被害は想像以上でよくもかく燃えたりと思ふ程燒け盡してゐる山手方面の被害は案外少い（鮫島本社員發電）

片岡男爵逝去

男爵片岡光夫人氏は逗子に避暑中震災の爲め壓死した（東京電報）

第五回美展中止

第五回帝國美術展覽會は本年十月上旬開催の筈であつたが今回の震災の爲め之れを中止する事となり文部省告示を以て不日左の通り發布さる筈（東京電報）

本年開催すべき帝國美術品第五回展覽會は震災の爲め之を中止す　文部省

粥を啜って露命を繫ぐ 鎌倉の松方公

震災後の鎌倉は食糧缺乏の極みに達し全町民へとくとなり步行すら自由ならず同地滯在中の松方公を始め知名の士は日々糊のやうな粥を啜り露命を繫いでゐる（東京電報）

死活の運命にある 東京灣沿岸の漁民

魚は獲れても食用にならぬ

千葉縣下の各漁業者は東京橫濱を中心として取引して居た爲め漁夫の全滅は直に全體の影響を齎したが就中漁民が灣內にて獲つた魚は油の臭氣甚だしく到底食用には出來ず從つて營業者の次期取引が立會を中止したので沿岸三十三漁業組合數萬の漁民は目下死活の岐路にたつてゐるが獨り千葉縣のみならず東京神奈川一府二縣の營業者も同時に同一運命に陷る譯であると

自動車一萬臺で 星氏が跡仕末援助

星製藥社長星氏は米國フォード會社に對し無擔保にて三箇年賦支拂の條件で米國フォード會社の貨物自動車五千臺旅客自動車五千臺至急發送せんことを需め震災跡仕末援助の見込である尙ほ揮發油は現金で支拂ふといふ（東京電報）

警察署で乳兒保育 東京の迷子廿名に減ず

各警察署に收容せる迷兒は一時一千名の多きに達したるが其後漸次判明し保護者に引取られ十二日迄には廿一名に減じ生れた許りの赤兒あり所轄署では乳母を雇入大切に保育中である（東京電報）

震災後の橫濱

總戶數の八割は倒壞燒失 生き殘つた罹災民は十日間の闇から漸く救出さる

震災後の橫濱市は十二日夜初めて電燈が點じ生き殘つた罹災民は十日間の闇から救はれた譯だ十日の調査現在に依ると橫濱市で殘つた個所は富士見、堀の內、井土ケ谷、南太田、久保、西戶部、淺間、青木の八ケ町である其他は倒壞若しくは燒失し十一日迄は未だ道路の整理も出來ない有樣であり震災後の橫濱の現狀は左の通りである（橫濱電報）

▲震災前の總戶數	九萬三千八百四十戶
燒失戶數	五萬五千八百二十六戶
倒壞戶數	一萬八千百四十九戶
現在戶數	一萬九千八百六十五戶
▲震災前總人口	四十四萬一千四十七名
火災被害者	二十六萬六千六百名
震災被害者	八萬七千百十八名
難を避けた者	九萬五千三百五十二名

救恤美談

泥水稼業する女のまごころ

是も救恤美談の一つ—泥水稼業の藝娼妓の中にも仲々感心なのが居る、中券しな家の君蝶は震災の報を聞くと同時に逸早く本社に五十圓ばかり持つて來て取次を頼んだ又京城高砂の三春は命から二番目の大事な衣裳十數點を惜氣もなく賣んだが斯う云つた例は外にも澤山ある中には罹災民へ送らうと古下駄を丹念に集めて居るものもあるさうだ表面華美を誇つて居るやうに見へて其實血の出るやうな苦しい境遇にあるだけ一層其行爲が輝いて見へる尙花柳界でイの一番に義捐したのは置家菊本の女將の五十圓で料理屋側は交野二十五圓を醵出して本社へ屆けた是は又忘れずべき行爲である

溫かい贈物の山

消防隊募集の古著類は非常な好成績で集まる

京龍消防組合聯合の罹災者救助の爲の古着類の募集は發表以來非常な同情を集め十二日夜第一回の受附をして午後十一時頃龍山本部の義勇消防隊へ各組員の送り込む數は實に夥しいもので組員の話に依ると前を通ると呼び込まれて『一寸待つて下さい今綻を縫つて上げますから』と云ふ樣に中には新しい物や袷、單衣シャツ、足袋、帽子、小供の着物等風呂敷や毛布に固く包んで女文字で名前が認められ婦人のせめての慰問になりと『着物の一枚でも』と云ふ溫かい贈物が山の如く集つて一貨車は充分集りますと大張切となつて奔走して居る

同情籠に百圓札

名前を告げぬ 隱れた特志家

京城基督教聯合會では既報の通り東京震災に於ける寄る邊なき老人子供の爲め十三日より三日間市內の要所に同情籠を置き宣傳ビラを撒いて居るが本町郵便局前で一人の紳士が日顯學校の可愛さ生徒から宣傳ビラを受取り其處にある同情籠に百圓札一枚を投入してスゴ／＼と通り過ぎたそれと、知つて數會の人は追ひついて厚く禮を述べ御名前をと聞いたがいや甚だ輕少でと云つて名前も告げずに通り去つたが誠に隱れたる特志家であると其他の籠にも相當に義捐金の投入があつたさうである

罹災靑年二名 警察へ就職を願出づ

十二日夜龍山警察署高橋警部の當直の夜窓衣に風呂敷包みを持つた二人の靑年が來た一人は東京市下谷區金杉町一二四番地菓子商高橋品藏加藤正（二）と云ひ七日帝都を出發し朝鮮に就職口を求めに來たが何でも好いから心配して頂きたいと縋んで居た結局出張所の盡力で一人は府出張所の給仕に督に入れ一人は目下署で就職口を物色中である、兩名の懷中には七圓計りの金があるのみで着のみ着の儘で就職口が見附かつてホッとして居た

田淵氏令息

東拓京城支店支配人田淵勳氏令息徹也君（四つ）は豫て病氣中の處十三日午後四時死去した本日午後四時から黃金町の社宅で質素な告別式が行はれる筈

黑焦の生不動が

橋上で話して居る中に絆切れた 焦熱地獄から避難した 宗教大學生の淚の物語

罪業と榮華を誇る帝都も偉大な自然の大震災に滅茶苦茶に破壞され修羅の巷と化したがこの焦熱地獄より九死に一生を得て脫出した宗教大學四年生田中支徹君は十一日午後三時より本町開教院で具に當時の狀況を物語り一座の者をして戰慄せしめた左にその遭難談を紹介する

一日正午私が芝區の保證人の宅で晝飯を馳走になつて居ると大地震が來て二階の天井が墜落し瓦は落ちるし隣から火が出るし附近一帶は猛火に包まれ遂に保證人の宅に居た者十五名全部壓死や燒死を遂げたが私は

淚を呑んで

其場を去り新橋驛へ行くと驛は盛に燃燒して居る最中であつた漸く其夜私が家庭教師に雇はれて居た日本橋の家に行くと家は殆ど倒壞して奧樣は姉さんが梁が落ちて無殘な最後を遂げた樣で愕然と泣き崩れて居た所が私の姿を見た奧樣は其方が坊さんであるから讀經して吳と賴んだけれど猛火は刻々に私達を一舐めにする處なので奧さんに

逃げ仕度を

するやうに勸めたが肉を分けた親子の側に離されて到々聞き入れぬ仕方なく奧樣を背負ふて宮城前に避難し既に罹難した中は狂亂の態でした多くの罹難民は誰も彼も家財道具を取出す暇もなく着のみ着の儘で避難した爲食物も無く獵然餓鬼のやうに一つの食物を奪ひ合つて居た、私も食物を漁りに南千住に友人を訪ねて漸く

鰹節二本を

搜し出して宮城前へ歸途す途中吉原遊廓を通り掛かると娼妓數千名がそれは／＼無殘な燒死を遂げ異臭鼻を突いて居た、その日は芝公園のベンチで一夜を明かし翌朝は避難民を縫つて漸く飢を凌いだが、縫つて行く處は更になく避難に窮乏するとピタと竹馬の友に邂逅したがその人は黑焦げになつたもの▲不思議に生命は助かつてゐたが家族二名は家屋倒壞と共に不歸の客となつて遣々の態で屍體を跡に河中に飛び込み數知れぬ

屍體の下を

潛つては浮びして此處まで逃れたと話して居る中に絆切れた地獄、火災、海嘯に苦められた

看護婦生徒募集

總督府醫院では來る十月二十一日より入學させる看護婦生徒給費生三十名助產婦生徒自費生十名を募集し十月十日に入學試驗を施行する由

起訴か不起訴か

所謂紳士賭博事件は 多分不拘束のまゝ公判に廻されやう

所謂紳士賭博として社會の耳目を惹いた森ム×外十三名に係る一件記錄は十一日檢事局に回付されたが檢事正は我記者に語る『鮎貝事件は未だ起訴するかせぬか未定であるが先日云つた通りに檢事の拘留期限が切れたので釋放したのである、只今調査中であるから今の處何とも明言が出來ぬ何に？所謂紳士賭博の森ム×の話か、これは只今記錄を見たばかりであるがこれも何とも云へぬ、要は狀が明白なれば處斷するごとは勿論である』と語つてゐたが多分不拘束の儘で公判に廻されるものと觀測されてゐる

接客業者の健康診斷

本町署管內は頗る良好

臨時に本町署で管內の各接客業者の健康診斷を實施したことは既報の通りであるが各營業者は何れも疾病に罹つた場合は或る期限內に相當の治療を講じ或は治療せぬ者は自ら營業休業する狀態で顧客に對し一般に好感を與へ豫定人員三千九十七名に對して實施者三千二百四十名に達し約百五十名の增加を示して居る斯くの如く各營業者が自發的に診斷を受けたのは當局の檢閲の上注意の徹底したのと衞生思想の向上した爲である、尙內譯すると內地人千八百三十八名の內健康者が千五百九十七名トラホーム二百四十名花柳病一名鮮人千十三名の內健康者が八百十二名トラホーム一百九十九名花柳病一名支那人二百八十九名の內健康者が二百九十二名トラホームが一名であるが疾病者は孰れも治療の上主治醫より診斷書を其筋に提出させると

母國訪問飛行に成功した

朝鮮人中唯一の飛行士 安昌男君死去 頭腦明晰で沈勇な人

洲崎小栗飛行場の飛行士安昌男氏は死去した（東京電報）

右につき某陸軍將校は語る『安昌男君は鮮人中唯一の飛行士で鮮人にも修養次第では斯る方面にも優秀な技能を發揮し得る事を如實に示し半島千七百萬民衆の爲に萬丈の氣を吐いて居た若し今度の震災の犧牲になつて死去したことが事實とすれば誠に氣の毒であると同時に非常に惜しいことである同君は頭腦明晰且沈勇な性質であつたから飛行家として最も適して居た此の程母國訪問飛行を試みて熱狂的歡迎を受け觀衆數萬が汝矣島ヶ原を埋める中で鮮やかな飛行振りを見せた事は尙ほ世人の記憶に新なる所であらう』

實姉は發狂して淸溪川に投身

漸く救助されたが生命危篤

天才的飛行士と呼ばれ一等飛行士になつて名聲嘖々であつた東京洲崎小栗飛行場の安昌男君が死去したと東電は報じてゐる幼い時分に父母に死に別れ同君と一緒に艱難辛苦を共にし唯一の便りにして居し

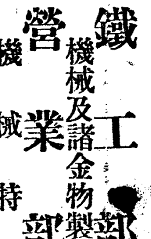
演藝案内

黃金館　松竹キネマ直營　毎日晝夜　十二日晝間より
○實寫　加茂祭　全一卷
米國アーロー社　急告　第二報、只今、到着
東京大震災の實況
山ナス死體の凄ましさ之でも泣かぬものがあるでせう？▲東京停車場前の混雜▲二重橋及び無線電信局▲萬世橋附近東京市電▲神田須田町▲上野驛より宮城を望む▲銀座通より京橋附近▲上野廣小路交叉點附近▲不忍池畔の大混雜▲日暮里停車場の雜沓▲吾妻橋下の死體漂流
男性的大活劇　健兒の意氣　全六卷　ハロド、ロック、ウッド大力演　スクリンクラック映畫
戀人の危急を救はんために敵陣めがけてウッドは鐵拳の火花を散らした戰の後ウッドはその國の王子と知れ戀人と共に新生涯に這入つた。
序曲　ボヘミヤンの少女　指揮者　高田耕平（十五分間）
松竹キネマ本年八月製作　諸口十九高尾光子其他數十名出演
現代劇　天を仰いで　全六卷
多摩川に、砂利工夫として汗と油で働く慕やかな狼狽な野丈は、都の遊び戲をして日夜紅燈の巷に、さまよつた然し彼は眞の『幸福者』と叫んだでせうか
（特別興行に付從來發行の招待券入場券御斷り申上候）

日活直營　喜樂館　京城本町壹丁目　電話五九七番
十一日より超特別大提供　自十一日至十二日
●實寫　南極探險　壹卷
▲連續活劇　第六回目　ルスロー・ラレド孃主演『覆面の女』
▲舊劇　松之助會心の大傑作『柿木錦助』全五卷
▲日活向島現代劇　山本嘉一小栗武雄主演納映畫　生悲戀『愛に甦る日』全六卷
鳴呼恐るべきは死！此れ又喜びを我れに與へてくれた運命の戲れである姉娘と結婚式の當夜の出來事である其は自分の妻となるべき女は其の愛人と情死したのである彼は爲めに不具の身となり藝術に生きんとした
震災第二報只今到着公開す
東京震災の大映畫
悽愴悲絕震災火災の中に老幼男女の慘死體は無數に散亂し飢渴に泣く市民各所避難民、帝國劇場、警視廳、丸のビルジング、淺草十二階之等の有樣、寺其他炎上殘滅しつゝある實狀等とても正視する能はざる慘害の實況
○料金特に値上せず本興行中從來發行の招待劵御斷

京龍座　龍山　電話三二一番
九日より晝夜二回興行特別活動寫眞
見よ悲慘なる此映畫
▲關東大地震實況　强震、海嘯、火災、關東東海の天地阿鼻叫喚、あゝ慘又慘、國家の第一報フィルム只今到着
▲潛航艇大椿事　潛航艇七十號の史上空前の大椿事　絕の實寫撮影
○舌切雀　三卷　其他フイルム各數種映寫す

樂器運動具定價表進呈
少年樂隊　金六十圓以上
五人組樂隊　金二百二十圓以上
山葉オルガン　金四十五圓以上
鈴木バイオリン　金五圓五十錢以上
鈴木マンドリン　金十一圓以上
電話光化門　1 2 3番　ドレミ



於朝鮮樂器界の元祖
—京城鐘路大通り（鐘路警察署前）
セヤマ樂器店
振替京城一〇七五六　私書京城局四八

京日案內

一誠齒科醫院　平壤本町　電話五五〇番
稻葉醫院　平壤本町　電話七〇九番
石川內科兒科醫院　平壤□町　電話六六三番
平壤醫院　三角町　電話四二一番
（五號活字十六字詰五行一回壹圓五十錢、廣名ハ壹回毎ニ貳拾錢增料金ハ前納ノ事）
株券　金融　自九時至五時　日歩安簡單御便宜に取扱申上候　御照會次第御返信　明治町一ノ五九　電話本局二一四〇番　竹下
恩給　年金退隱料扶助料　低利立替　公債及び賜金保管通帳有價證券買入　京城古市町三〇（電本局六九一）　江州屋本店假營業所
ほねつぎ　くちみ　うちみ　一切の治療御依頼に應ず　京城明治町貳丁目　柔術道場
電話　電話貸付金融低利迅速　公債債券高價買入御相談　會文第一直報　明治町賛化病院前（電本局三〇二四）小出商會讓受　井上商會
月賦　販賣　樂器は光化門123番に　ピアノ　オルガン　蓄音機　運動具　京城鐘路大通り　セヤマ樂器店
民衆　法律相談、相談無料　諸債權取立、仲介裁判　受託事務文案起稿　義俠的熱誠迅速　京城府南大門通貳ノ一三六　朝鮮新聞販賣部階上　仁俠館
觀相　石龍子先生直傳　從五位勳五等（龍孫）酒井三郎太　京城本町五丁目八十一番地　電話本局一一九二番
貸家　黃金町一丁目　會社、店舖向き　總建具水道電燈瓦斯設備あり、家賃二十圓　電話又は來談　黃金町一丁目　電話本局一三四〇　津田光藏
特別欄
桐木　買入　立木又ハ採伐シタルモノ　京城府永樂町二丁目　野村千太郎商店　電本局二〇二六

代表商品
ソウル自轉車發賣元
ユーニツク及各國自轉車並ニ附屬品一式
猶修繕ハ親切ト神速廉賣
大高自轉車商會
京城明治町壹丁目　電話本局三〇〇四番

時計と寫眞機
貴金屬　寶玉石　銀器　銅器　錫器
活動寫眞機　幻燈　各種材料
株式會社　大澤商會京城支店
京城本町壹丁目　電本二六二三　振替貯金口座京城二三一〇

仁川本町一丁目　朝鮮銀行仁川支店　電話（二）二三番
仁川本町四丁目　朝鮮殖産銀行仁川支店　電話（六二四）九〇番
仁川本町二丁目　百三十銀行仁川支店　電話（五）〇八番
仁川本町二丁目　十八銀行仁川支店　電話（一）八番
仁川本町三丁目　朝鮮商業銀行仁川支店　電話（四）九八番
仁川海岸町　朝鮮實業銀行仁川支店　電話（三）二番

德力
各種貴金屬 金銀器 白金美術品 金地金 製作
京城明治町一丁目　電話一五七二番　振替京城二三四

品質本位
ホーランドセメント
京城南大門通五丁目　豐國セメント株式會社出張所　電話本局六四七番

鐵工部
機械及諸金物製作修理並ニ設計
營業部
機械特約販賣
三菱セメント　特約販賣
耐火煉瓦特約販賣
京城府岡崎町八九番地
合資會社　アサヒ工業社
電話龍山九五八番

（右欄外）林廠に放火、… 山を築く … 日清生命消息

魂の力【第六八回】

中川雨之助作　小寺柳村畫

出會頭

「逸枝さん、何處かへ行くのかね」

逸枝が室を出やうとする出會頭であつた。ヒヨツコリと其處へ姿を現はした藤郎に聲を掛けられて彼女は思はず立竦んだ。

いつもならば決して、激昂るのではない彼女だが、先づその擕へてゐる風呂敷包を何うしやうかと迷つてマゴ／＼とした。

その顏色にも、その擧動にも、狼狽の色の歴々と讀める逸枝の容子を、藤郎は怪しまずには居られなかつた。

「今時分、風呂敷包を持つたりして、怪しいぢやないか」と、藤郎は再び言つた。

藤郎を避けた彼の姿が、藤郎のやうに前に立塞がつて居るので、逸枝は何うすることもできなかつた。只そのまゝ室の中へ押戻されて行くより外はなかつた。

藤郎は不圖、机の上の手紙を認めた。逸枝がそれを匿さうとした時は既に遲く、手紙はいつか藤郎に依つて封を切られてゐた。

「逸枝さん、其處へお坐り」

手紙の初めの方を少し讀んでみて、藤郎は驚ろいた。驚ろくと同時に逸枝にさう云つた。その聲には威壓するやうな凄みがあつた。逸枝は、何うしてもその命令通りに仕なきやならないやうな氣がして、悄然と坐つた。

逸枝を前に坐らせて置いて、藤郎は手紙を讀み終つた。而して彼は何か言はふとして、逸枝の方を見た。逸枝は膝の前に風呂敷包を置いたまゝ悄然と首低垂れて泣いてゐた。その哀れに痛ましい姿をみると、藤郎も胸が詰つて、チヨツト物が言出し難かつた。

「逸枝さん、あんたのお心は僕も推察はしてゐるが、それが爲に家出をするなぞはチト早計ぢやないかね。第一、當もなく家を飛出して行つて、明日からは何うして生活て行く積りです。世間はね。あんた方が想つてゐるやうなそんなものぢや有ませんよ。殊にあんたのやうな美しい婦人が、一人で世の中を歩いてゐて御覧なさい。それこそ色々な誘惑やら迫害が、決してあんたの體を無事では置きませんよ」

藤郎にさう言はれて、逸枝は初めてなる程然うかと思つて來た。そんなことを考へて見るほど最前の彼女の心には、分別も餘裕も無かつたのであつた。

「若もあんたが、自分の一身を犠牲にして、總てを救はふといふ健氣な決心があるのだつたら、何故その事を僕に打明けて呉れないのです。あんたが家出をした後で假に僕が此手紙を見た所で、それでは何の役にも立たないぢや有ませんか。父なり僕なり小二郎なり京子さんなりが總てあなたの思ふ通りになればそれであんたの目的は遂げられるでせうが、早い話が若し京子さんがあんたへの義理を立てゝ、それでは私は小二郎と別れると云ひ出したら何うしました。それでは折角のあんたの志しも空しくなる譯ぢやないかね」

藤郎は逸枝を諭すやうに言ひ聞かせながら、また手紙を讀み返してみた。

平素は無口の方で容易に其心持をさへ知ることの出來ない逸枝が、その手紙では最も雄辯に己の心持を物語つてゐるのが、藤郎には寧ろ意外に思はれるくらゐであつた。

而うして口では強さうなことを言つてゐるものゝ、さてその手紙中に現れてゐる逸枝の、女らしい切ない心を思ひ遣ると、さすがに哀れを催さずにも居れなかつた。

「兎に角ね、僕にも少し考へが有るから、當分の間あんたの體と一緒に此手紙も預かつて置きませう。何有僕だつて分らんことを言やしない。時期さへ來れば或は默つてあんたの家出を認めて居るかも知れません、まあそれ迄は總てを僕に任して置くんだね」

藤郎は手紙を握つて立上つた。逸枝は只默つて泣いてゐたが、從順に藤郎の言ふ通りになつてゐやうといふ心持が、その擧動で充分に察しられた。

「逸枝さん、僕の室へ被來い、御飯を頂きながら何か面白い話でもしませう。一人限でクヨ／＼考へて居るから、詰らん考へが起つたりするんだよ、はゝゝゝゝ」

藤郎はモウ日頃の快活さに回つてゐた。

名刺・御注文へ　陽氣堂へ　振替京城六一〇〇番　京城明治町二丁目四八

俳句　内藤鳴雪選

題『納涼』……（一〇）

○京城　花紫　風ほしや床に出づる門すゞみ
○安州　滴風　小波にはぎ洗はせて凉みけり
○京城　抱二　ガタ／＼の椽臺出だす納涼かな
○同　修　納涼して蟬の一聲聞きにけり
○衆二浦　流星　納涼臺夜更くる程に陸高し
○水原　寄久迺家　月影に丈くらべ合ふ納凉かな
○京城　柴兒　納涼船篝音ゆた／＼さして行く
○同　木郎　月落ちて思ひは遠し納涼人
○龍山　白骨　子を寐せて又出る人や門すゞみ
○同　靜の男　素足にて砂踏む人や夕納涼
○仁川　揚白　門涼み皺ひするも身だしなみ
○京城　兎平　納涼や夜更けて戻る草の道
○仁川　亮女　夕涼み小蜘蛛吹かれて木の枝に

闇光

眞子ふみを

實塾の耳くるしい大氣に
滲蝕して行く裏庭の
新鮮な風の前觸れ……
いま黄昏は
浮べる山嶺や、東方の密林
がつしりした市街の建物の
甍いらかに躍る光りの子達を
逐ひつゝ
ほの暗い幕をひきずり撃崩よう、とする。
かゝる瀕暮より私は日毎杖を曳き
とある愛想の疎影に、小鳥の翼を顧つて
樂しい逍遙の歩を進める。
次第に逃避する光に、昏明の思索は私の
胸底深くむつくりと目覺め……
散策の足は輕い。
丘の松樹に顯戯けする凉風は、なほ高く
凛々と、空の雲霧を揺動しはじめる
支那旁師者の他鄕に石刊する、傷痕の汗の
鮮やかな表徵であるかの、沈思の
土墓石に
心好い散策を樂しむとき
空と地はまつたく混和せる闇の衣ずれ……
傳道美の影さへ見へぬげな都會とはいへ
不思議な戀惑の證明を靜かにかゝげる夜よ！
幽暗のつゝましい情緒は泉の如く湧きたち
胸間の眞實の幽鬱の翼をかきわけ
緒苦を洗び
凉風はほがらかに
病的な生活の態意に雨とふりかゝる。
おゝ夜情の奥はしい散策よ！
あゝいま心はうつすらと、限りなき和みに晴れ
この風を孕んで、
私は闇夜疎影に航海の翼をひろげる。
（一九二三、八、二〇作）

新刊紹介

▲戸籍届書式並に附屬書式（京城府民籍係編）書式には往々難解の點があるので今度府の民籍係において特に增補附註し如何なる場合をも網羅し尚は裁判所への手續も附加してあるから府面並に代書業の爲めに好箇の指針である（四十錢九月二十日迄に京城府民籍係内研究會に申込む事）

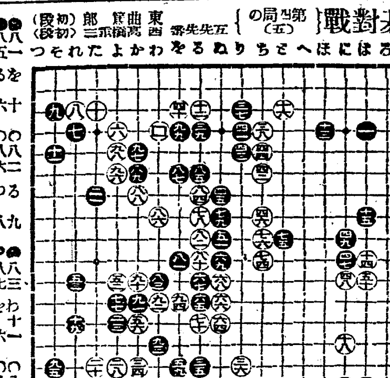
▲朝鮮及滿洲（九月）山本新内閣の出現（釋尾春仍）大部分焦土と化せる東京（同人）婦人科より見たるラジウムの概論と應史（工藤武城）森勝案件は世人に何を教訓するか（釋尾東邦）其他讀物誌上に溢る（六十錢京城南山町一ノ一四其社）

讀者らん

▲六日午後五時頃若草町西本願寺の番僧か折から塵紙の鮮人の子守老母に憩うてゐた人に水をかけた中の年老いたるものが其の不法を詰ると四五人の僧は却て口汚く罵りながら叱責した僧侶としてあるまじきことゝ思ふ（見物學生）▲十八の處女様に御知らせします藥店にてスピール硬膏を求め魚の目に御貼りなさい二三日經つと其部が白くなつて自然と治癒します（本三玉山）▲京城日報愛讀者の中にて子供洋服を安く仕立てゝ下さる人はありませんか但し女兒用なるべくならば仕立ても取りに來て頂ける人にお願ひいたしたし（多人數の子持の母）▲古市町三五〇田様の奥様あまり人の惡口を言ひ步かない樣になさい皆笑つて居ますよ（見物女）▲大阪迄の片道二等切符（有効期日十六日間）不用に付讓渡たし入用方は本局二二八番へ（日生）▲十八の青年民間飛行家になりたいと思つておりますが生徒を募集致す所御座いませんでせうかありましたら本欄迄（未來の飛行家）

圍碁對戰

第四局の（五）



りん病　ばい毒　請合藥

百圓進呈　淋病黴毒三種は治療最も難く殊に慢性淋病は最も難治とし梅毒も内服藥として醫界最上最有効と認定し歐米醫科大學帝國醫科大學病院等にて實驗證明せらるゝ高價貴重なる事を保證す若し萬一無効の證言に違へる事を發見せる時は分析料百圓進呈す　百圓あらゆる治療をなすも効なき患者は一度來驗あれ

關西發賣元　大阪市南區三休橋北詰　有田ドラッグ　電話船場二六一四番・二三四四番
關東發賣元　東京日本橋區通四丁目　有田ドラッグ　電話本局三三八四番・一〇七七番
請合藥に付き他の藥店に販賣を許さず

有田ドラッグ朝鮮及支那滿洲專賣所所在地

◉朝鮮　京城南大門外　同黄金町電車通　同鐘路四　龍山錦兵町　木浦榮町　鎭南浦三和町　咸興本町二　太田春日町一　全州高砂町　釜山辨天町　元山本町二　仁川宮町二　馬山都町一　羅南生駒町　新義州常盤町　群山東榮町　平壤郵便本局前　大邱弓町　晉州大安洞　廿浦港　慶南統營面　光州本町　衆二浦本町

◉滿洲　安東縣四番通　大連岩代町　沙河口京町　奉天松島町　四平街北四條路　撫順高砂町　長春東一條通　哈爾賓傳家甸

◉支那　營口永世街　北京前門外　上海瑪禮遜路　廣東大平路　漢口日本租界　天津北旭街　青島新市場通　濟南普利門外

にせドラッグあり有田ドラッグにて

大田案内

大田春日町一丁目　銘酒朝の花　ますや酒店　長電話二六七番

忠南名物　リンゴカステラ　朝鮮大田　中田堂　電話一七九番

大田春日町一丁目　相浦式ビタミンパン　製造元　京愛商會　長長電話二一六番

純白寒水石　大田春日町一丁目　大田石灰製造所　石灰　生石灰　振替京城八二八六番

大田春日町一丁目　土木建築請負業　須々木權次郎　電話一二六番

忠南名産　珍菓　鶴の子　忠南大田驛前通　寶文堂菓子舗

大田本町一丁目　一般診療に應ず　院主　和智醫院　長電話二二三番

大田本町一丁目　西原自轉車店　長電話三五四番

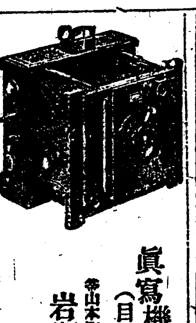
大田春日町一丁目　小橋自轉車店　長電話二五番

一般診療に應ず　大田鐵道病院　電話　局内　内科十四番　外科十九番　公衆長四十番

大田電氣株式會社　長電話一四二番　三三七番

京釜線大田春日町一　歐米舶來　諸雜貨　季節物　全部品揃　丸友洋品店　電話一四九番

創立明治參拾貳年　倉庫業兼營　株式會社　朝鮮商業銀行　京城府南大門通一丁目十九番地　頭取　趙鎭泰　專務取締役　岩崎虎次郎　支店（京城南大門・同本町・同東大門・仁川・平壤・利川・群山・釜山・元山・清津）



眞寫機械材料（目錄進呈）　本町一丁目　岩瀬寫眞機店　電話七五五番　振替七八五番

普通病室　特別病室　設備アリ　京城府西小門町二十一番地　田中丸病院　院長　醫學士　田中丸治平　副院長　醫師　上野和夫　電話光化門一八八五番・一三八六番

資本金　壹千五百萬圓　積立金　繰越金　貳百拾六萬圓　株式會社　十八銀行京城支店　京城府黄金町二丁目　電話本局六〇一番・四一八番　振替貯金口座京城
同　新龍山支店　京城府漢江通り十三番地　電話龍山五五〇番　振替口座京城一八二三番
同　龍山出張所　京城府元町二丁目　電話龍山一八番
銀行一般ノ業務ハ精々確實ニ取扱可申又京城支店及龍山出張所ハ株式會社長崎貯蓄銀行ノ代理事務取扱申候

千葉縣銚子港　銚子醬油株式會社釀造

宮内省御用達　ヒゲタ醬油

代理店　京城明治町二丁目　山邑酒造株式會社京城支店　電話長八五九番・一四五四番　振替貯金口座京城七五四番

魔法瓶と水筒

京日特選　金星印魔法瓶
三合入　二圓
四合入　二圓三十錢
五合入　二圓六十錢
荷造代送料共　三合入七十錢　四合入九十錢　五合入一圓

學生用水筒
ラシャ覆四合入　一圓四十錢
別珍覆二合入　一圓三十錢
別珍覆三合入　一圓四十五錢
黒塗三合入　四十五錢
荷造代送料共

京城太平通　合資會社　京日代理部　振替京城三〇〇番　電話光化門四〇〇番・六二三〇番

京城長谷川町（鮮銀横）　備前屋旅館　鐵冷温泉　電話本局一五四一番・一四六一番

勿驚　タッタ五分間に忽ち頭痛を治し腦を爽快にす、只一回の頓服にて夢の醒たる如し

清腦新劑　チエヤー

（本劑効能）▲偏頭痛　▲腦神經性頭痛　▲船暈頭痛　▲逆上頭痛　▲神經性頭痛　▲ヒステリー性頭痛　▲飲酒頭痛　▲感冒性頭痛　▲酩酊後の頭痛　▲子宮病性頭痛

本劑は
▲腦病者▲神經衰弱者▲ヒステリー病者▲子宮病者▲常習便秘者等は常に懷中用意せらるべし
▲汽車汽船に乘る時▲人込の場所▲酒宴の席に臨む時は必ず本劑を用意攜帶せらるべし

本舗　大連市伊勢町　藥種貿易商　合資會社　松内楠陽堂
特約店　京城本町　木村藥店
到る處の藥舖にあり

【東京電報】大震災善後策研究會は十二日午前十時より火災保險協會の各社重役首腦者氏より左記の事項に付協議を受け協議する所があつた
即ち火災保險金高は東京神奈川の罹災者に支拂ふべき契約高のみで〔illegible〕する保險會社の能力合計一位では其一部分にも充當し不可能でありまた全部の〔illegible〕額は四億五千九〔illegible〕れ〔illegible〕さないものに對して滿に〔illegible〕の點で甚だ不公平な結果となると云ふのにある斯樣の事情につきて

【東京電報】鐵道省〔illegible〕工兵隊にて實施した東京內外交通線路復舊工事進捗し概要は
一、東京板橋間の東海道に九日以來貨物自動車を通じ得るに至つた
一、箱根以西の東海道は復舊完成せざるも箱根より湯入川に至る間〔illegible〕

官有地〔illegible〕 市中にある分を整理するらしい

〔illegible〕市中至る所に散在して居る官有地の整理處分の問題である、震災に〔illegible〕しだから之等を〔illegible〕する事は今後第一の災禍を再びならしむる因ともなり、新造せんとする大東〔illegible〕地域を占め全市の約二十五分の一の大敷地を獨占してゐたのである〔illegible〕ふ事であるが聞く所に依ると〔illegible〕及行政の整頓を持つ官廳〔illegible〕

夕刊（朝夕刊合せて十頁）

本紙定價 一箇月金一圓二十錢〔illegible〕 廣告料〔illegible〕 發行兼編輯人 泥谷良次郎 印刷人 小川三之介 發行所 京城太平通一丁目 合資會社京城日報社 電話光化門〔illegible〕 振替京城三〇〇番

東日評壇

十二日渙發されたる詔勅を拜讀するに『曠古無比の天殃に際會して恤民の心愈々切に寢食安からず』と宣らせ給ふ。畏くも忝なき大御心を拜して、吾人は唯感泣に咽ぶばかりである。

◇

『或は個人若くは一會社の利益保障の爲に多數細民の安固を脅かすが如きこと』の有りはせぬかと、叡慮を勞し給ふ。これは獨り有司の責任では無い。貴族富豪など、呼ばるゝ個人、若くは會社は大に自省して、叡慮を安め奉るの覺悟を表しなければならぬことである

◇

更に帝都復興に關しても、遷都說などの傳はるのは、人心の安定を妨ぐるの虞れが無いでも無い。既に陛下には、有司に命じて東京の復興を審議調査せしむる旨を宣らせ給ふ。國民が至誠以て聖旨に副ひ奉ることを期するは申すまでも無い。

◇

震災の跡は東京の繁華の跡を擧り、首相は東京米の冷飯で腹を滿たす。世の富豪は何うか。糖尿病の貴族には寔に絕好の機會だ。實際罹災民に對する救濟が手厚く行き屆き第三階級に菜色無く、而して富豪に糖尿病の患者が無くなれば、國民の元氣は立ろに振作され、國運の隆昌疑ひなしだ。

◇

肺病や花柳病を亡國病と呼ぶが、糖尿病は何うだらう。誰も統計を取つたと云ふ噂を聞かぬが、糖尿病と神經衰弱症とは其數に於て正比例して居る筈だ。即ち糖尿病患者が殖えるだけ夫れだけ神經衰弱に罹る者が多くなる。と云つても糖尿病が神經衰弱の直接原因を爲すものでは無い。變態でもない。傳染病でも無いことは勿論だが、社會組織乃至經濟組織から、是等二種の病氣は互に因果關係を爲して居るんだ。そして恐るべき亡國病の一種だ

◇

何故なれば糖尿病はあらゆる意味に於る贅澤と美食から生じ又神經衰弱は糖尿病患者たり得る資格を作らんが爲に若くは糖尿病患者が其の資料を供給せんが爲に甚だしく精力を消耗するに由て生ずる。尤も例外はあるが大體すれば斯の通りだ。

◇

元來、自ら今代の糖尿病患者たる資格を作らんとする者は、神經衰弱に罹ると否とを問はず、元氣があるから可い。不幸にして精力足らず、落伍する者があつても、其元氣は繼承する者があるから可いが、糖尿病者に營養成育料供給の爲に、神經衰弱に罹る者、元來向上せんとする元氣がある譯ではない。切めてもの願望は、彼等の顏上から少しでも菜色褪せて生來の黃色に艶を着けたい、位のものだ。彼等の總稱を第三階級と呼ぶ。

◇

罹災民の爲めに宮殿の庭も開放方を、政府は勸告するといふことであつた。第一富豪が應じなければ彼の力を以て開放させるといふことだつた。が其後富豪が邸宅を開放したとも、政府が其の方法を以て開放させたとも、何等の報道にも接しない。想ふに糖尿病の稀薄品は、其まゝ殿堂に保存されてゐるものと見ゆる。困つたものだ。

大詔渙發さる

今回の大震災につき畏くも攝政宮殿下には殊の外御心痛遊ばされ一般國民に對し左の如き詔勅渙發あらせられた（東京電報）＝號外再錄＝

詔勅

神聖ナル祖宗ノ洪範ヲ紹キ光輝アル國史ノ成績ニ鑑ミ皇考忠孝ノ皇謨ヲ繼承シテ肯テ愆ラサランコトヲ庶幾フ夙夜競々トシテ治ヲ圖リ幸ニ祖宗ノ神佑ト國民ノ協力トニ賴リ世界空前ノ大戰ニ處シ尚ホ克ク小康ヲ保ツヲ得タリ焉ンソ計ラム九月一日ノ激震ハ事突嗟ニ起リ其ノ震動極メテ峻烈ニシテ家屋ノ倒壞男女ノ慘死幾萬ナルヲ知ラス剩ヘ火災四方ニ起リテ炎々天ニ冲シ京濱其ノ他ノ市邑一夜ニシテ焦土ト化ス此間交通機關杜絕シ爲ニ流言蜚語盛ンニ傳ハリ人心恟々トシテ倍々其ノ慘害ヲ大ナラシム之ヲ安政當時ノ震災ニ較フレハ寧ロ凄慘ナルヲ想起セシム朕深ク自ラ戒愼シテ止マサルモ惟フニ天災地變ハ人力ヲ以テ豫防シ難ク唯速カニ人事ヲ盡シテ民心ヲ安定スルノ一途アルノミ凡ソ非常ノ時ニ際シテハ非常ノ果斷無カルヘカラス若シ夫レ平時條規ニ膠柱シテ活用スルコトヲ悟ラス緩急其ノ宜シキヲ失シテ善後ヲ誤リ或ハ個人若クハ一會社ノ利益保障ノ爲メニ多數細民ノ安固ヲ脅スカ如キコトアラハ人心動搖シテ底止スル所ヲ知ラス朕深ク之ヲ憂惕シ既ニ在朝有司ニ命シ臨機救濟ノ途ヲ講セシメ先ツ焦眉ノ急ヲ拯ヒテ以テ惠撫慈養ノ實ヲ擧ケンコトヲ欲ス

抑モ東京ハ帝國ノ首都ニシテ政治經濟ノ中軸トナリ國民文化ノ源泉トナリテ民衆一般ノ瞻仰スル所ナリ一朝不慮ノ災害ニ罹リテ今ヤ其ノ舊形ヲ留メスト雖モ依然トシテ我カ國都タルノ地位ヲ喪ハス此ヲ以テ其ノ善後策ハ獨リ舊態ヲ恢復スルニ留ラス進ンテ將來ノ發展ヲ圖リ以テ巷衢ノ面目ヲ新タニセサルヘカラス惟フニ我カ忠良ナル國民ハ義勇奉公朕ト共ニ其ノ慶ニ賴ランコトヲ切望スヘシ之ヲ慮リテ朕ハ宰臣ニ命シ速カニ特殊ノ機關ヲ設定シテ帝都復興ノ事ヲ審議調査セシメ其ノ成案ハ或ハ之ヲ至高顧問ノ府ニ諮リ或ハ之ヲ立法ノ府ニ謀リ籌畫經營萬遺算ナキヲ期セントス在朝有司能ク朕カ心ヲ心トシ速カニ細民ノ救護ニ從事シ嚴ニ流言ヲ禁遏シ民心ヲ安定シ一般國民マタ政府ノ施設ヲ翼ケテ奉公ノ誠悃ヲ效シ以テ皇國ノ基ヲ定ムヘシ朕前古無比ノ天殃ニ際會シテ恤民ノ心愈々切ニ寢食爲メニ安カラス爾臣民夫レ克ク朕カ意ヲ體セヨ

御名御璽

攝政名

大正十二年九月十二日

內閣總理大臣
各省大臣副署

如何して聖旨に答へん乎

大詔を拜誦して……

有吉政務總監謹話

大震災につき畏れ多くも大詔の渙發を見るに至つたが有吉政務總監は謹みて大要左の如く語る

今回の日本の曠古未曾有の大震災につき畏くも一般國民に對し大詔の渙發を見るに至つたことは洵に恐懼に堪へぬ次第である。申すも恐れ多い次第であるが攝政宮殿下には大震災に際し總ての方面に亘り下々の限までも深く御心痛遊ばされて居るのは我等の衷心感激に堪へざるところである罹災民に對しては在朝有司に命じ臨機救濟の途を講じて惠撫慈養の實を擧げるやうにと仰せられて居るのは實に恐れ多いことである。罹災民でない一般國民に對しても此際流言蜚語等に惑はず意を安んじ深く愼戒して各自冷靜に〔illegible〕一大決心を以て震災の善後〔illegible〕思召にて國家の非常時に處すべき方針を御示し我等國民の則ふべき方針を御示しに相成たることは洵に感激に堪へぬところである。最近震災の復興に關し遷都說を耳にするのに至つたのであつたが抑も東京は帝國の首都にして政治經濟の中軸となり國民文化の源泉となり民衆一般の瞻仰する所なり一朝不慮の災害に罹りて今や其舊形を留めずと雖も依然として我が國都たるの地位を喪はずと仰せられてあるのは遷都などの思召の無いことを明かにされたと拜察する。更に帝都復興の善後策は獨り舊態を恢復するに留まらず進んで將來の發展を圖り以て巷衢の面目を新にせざる可からずと仰せられてあるので我等日本國民は此の思召に大に創造せよと仰せられてあるのである。

御詔勅を拜する

に至りては實に我等一般國民は恐懼感激に堪へざる所である。我等日本國民は危難や迫害に當つて決して屈するが如き柔弱な精神を有するものではない。一般に緊張して際會すれば前古無比の天殃に際會して恤民の心愈々切に寢食爲めに安からずと仰せられた。我等國民は今回の大詔を拜し驚國一致、大決心の下に聖旨に副ひ奉る覺悟を以て能く奉公の誠を盡さなくてはならぬ。〔illegible〕するごとに百倍の勇猛心を以て前途に邁進する國民である。かるが故に我等國民は各自非常なる一大決心の下に服膺力行し以て聖旨に添ひ奉らねばならぬ。云々

四緊急勅令案

閣議で議決さる

【東京電報】政府は十二日の閣議に於て左記緊急勅令案を議決した
一、東京府及び神奈川縣に於ける府縣會議員選擧に關する緊急勅令
一、生活必需品暴利禁止の緊急勅令
一、建築土木機械材料の輸入稅減免除に關する緊急勅令
一、震災行政上の權限に屬する處分につき權利々益の存續に關する件

都市計畫委員會

特例か又は緊急勅令を發布の筈

【東京電報】內務省都市計畫では東京地方委員會を召集して具體的に大方針を協議する事になつたが都市計畫が確立し道路公園街路の計畫整理が出來る迄は假設の建物を許す外は一切許可せず市街地建物法で特例か緊急勅令で發布せらるゝ筈である、右に關し內務省都市計畫局及警視廳建築課は災後の建物に就て調査に着手したが前記特例の內容は大體に於て左の如し
一、交通機關及道路を組織的にする事
一、工場商業の地域を定むる事
一、公園を適當に配置する事常時衞生慰安の爲め非常時は避難所とする爲め各區に一つ宛新設する事
一、地下鐵道を完全に統一新設（外國の例に依つて火災に堪え得るものを建設）
一、市街區劃の整理が附いた上で始めて建築を許可し着手する事
一、大厦高樓の家屋を集團的にして其處には木造を介在せしめぬ事
一、大體は自然の發達を基礎として商工業家屋を各地に一定して集中せしめ住宅を混合せしめぬ事
一、商工業を經濟的に發達せしめるに便ならしむる事であるが具體的の草案は都市計畫中央委員に依つて定め相當專門家と攻究の上に成るものである

政務總監視察

葡萄園へ

有吉政務總監は十三日午後三時より西村殖產局長、中村秘書官等を帶同自動車にて中央試驗場を觀察し夕刻歸任した。

總統選擧流會

【北京十二日發電】北京に開かれた大總統選擧會は百五十名以上の不足で流會となつた十四日再會の筈

外相は伊集院子

任命は本月下旬の豫定

【東京電報】山本首相は當分外務大臣を兼攝して居るが今日迄の外交關係上は今後は必ずや專任外相の必要に迫らるゝこと言を俟たざるを以て首相は既に現駐支公使伊集院彥吉子との間に交涉を進めた結果其承諾を得た趣で本月下旬の上京を待ち正式任命の豫定だと云はれて居る

詔勅の意を體して

帝都復興院設置決定

親任官を長官とし規模を大きく

【東京電報】政府は十二日渙發せられた帝都復興詔勅の意を體して一の復興機關を設置するに決定した、其の組織權限等に關しては十二日の閣議に於て審議されたが當日は未決の儘散會したので十三日も引續き審議決定し一兩日中に樞密院の議を經て官制其他を公布する筈である其の機關は大規模として執行機關と審議立案機關とに分たれ其名稱は多分帝都復興院となるであらう、而して其の職員は親任官として其下に朝野の手腕家を網羅するであらう。

日本の經濟恢復を信頼

米國市場で十億以上の外債募集は容易

【紐育七日發電】紐育市場に於ける日本の公債は驚くべき大震災の第一報に逢着した際一時二十弗の下落を見たが其後日本の經濟組織は大地震の爲め小揺るぎもせぬとの報道が續々到着し七日では從前の價格に恢復した各方面の報道や意見を綜合して見ても日本の財政經濟的信用は大震災の爲め大した影響を受くる心配はない紐育市民は何れも毅然として之等の報道に動かされず滿腔の同情を日本に注ぐと共に日本國民は震災以前よりも一層鞏固な團結一致の實を擧げ此大災厄を乘り切る事に疑ひはないとの大確信を抱いて動かないでゐるモルガン氏は大震災の報道に接するや眞先に横濱正金銀行紐育支店を訪ふて見舞を述べ此際如何でも日本公債に應ずる心算りであると同情と誠意を披瀝した大銀行家メロン氏も六日ステイトメントを出し日本の信用鞏固なる事を力說し米國市場に於て日本が十億以上の公債を募集する事は極めて容易であると發表した

暴利取締限定品目

近く府令を以て發布される

今回の大震災に對し緊急勅令として暴利取締令が發布されこれは治安を維持する爲め朝鮮にも及ぶ事となつて居る事は既報の通りであるが總督府では十四日附官報に此緊急勅令を頒布せらるゝ事になつて居る然し之れが施行に就ては府令を以て其の品目等を限定發布せねばならぬので一兩日に一般に對し此の府令が發布される事となつた。而して愈々府令發布と同時にそれによつて直ちに暴利取締令が施行せらるゝ筈であるが其の內容は大體に於て內地のものと大差なく、內地では食糧は重要となつて居るので別に取締の品目に入れてゐないが朝鮮のものは內地と違ひ食糧はまだ事實となつてゐないので或は之れを取締の品目に入れる樣な事にならぬとも限らぬが其の外の事項は內地と大差ある箇所はこれくらいのもので他は殆ど內地の施行規則と同一である樣であるが此取締令の必要のない樣に一般商人は大に自覺して貰ひたいものであると當局者は語つて居た。

震災と京城府

影響は想像できぬ

今回の震災は金融界に如何なる影響を及ぼすか……之は只今の所一寸見當の付かぬ問題である、金融逼迫を豫想されて居るが若し果して金融が逼迫するとすれば我京城府には如何なる影響を及ぼすかは大なる問題である、今年度中に起債せねばならぬ府債は約百四五十萬圓はあるのだが此の起債が豫定通り出來れば事業は順調に進捗するのであるが、併し今後の狀勢が如何になり行くか不明の問題であるから從つて其影響も今から豫想が出來ぬと當局は語つて居た

東京宛郵便物

差出人へ注意

東京地方の罹災地に宛る郵便物は東京市內の官公署に宛たる災害に關する郵便物のみ遞送を開始されたこと既報の通りであるが此郵便物には表面左側に『災害郵便』と朱書する事に定められ其標示無きものは一般郵便物の遞送開始を待つて遞送配達さるゝさうだから是等の郵便を差出す人は注意すべきである

水產製品

檢查規則改正

十四日附府令を以て水產製品檢查規則中左の通り改正さる第三條中『檢查所の位置』を『檢查所の名稱及位置』に改正
十四日附告示を以て水產製造品又は水產製品の檢查を行ふ稅關及檢查所の位置の件は廢止となる

檢查所名位置

十四日附告示を以て水產製品檢查所の名稱及位置左の通定めらる
▲仁川稅關水產製品檢查所（京畿道仁川府）▲釜山稅關水產製品檢查所（慶南釜山府）▲釜山稅關甘浦水產製品檢查所（慶北迎日郡甘浦面）▲釜山稅關統營水產製品檢查所（慶南統營郡統營面）▲釜山稅關麗水水產製品檢查所（全南麗水郡麗水面）▲木浦稅關水產製品檢查所（全南木浦府）▲木浦稅關濟州水產製品檢查所（全南濟州島濟州面）▲釜山稅關鬱陵島水產製品檢查所（慶北鬱陵島南面）▲元山稅關水產製品檢查所（咸南元山府）▲元山稅關雄基水產製品檢查所（咸北慶興郡雄基面）▲元山稅關淸津水產製品檢查所（咸北淸津府）▲元山稅關城津水產製品檢查所（咸北城津郡城津面）▲元山稅關長箭水產製品檢查所（江原道高城郡新北面）▲元山稅關注文津水產製品檢查所（江原道江陵郡新里面）▲鎭南浦稅關水產製品檢查所（平南鎭南浦府）▲鎭南浦稅關新義州水產製品檢查所（平北新義州府）
備考 釜山稅關鬱陵島水產製品檢查所及び元山稅關城津水產製品檢查所に在りては所轄稅關長の定むる期間に限り檢查を行ふ

朝鮮出港稅令

旅行規則改正

十四日附府令を以て朝鮮出港稅令施行規則中左の通り改正さる第七條中『砂糖、糖蜜、糖水』を『糖蜜』に改め『石油三月以內』を削る
本令は發布の日より之を施行す

金物組合決議

京城金物商組合では十二日役員會を開き商品の暴騰防止方法に關し種々協議の結果次の如き決議を爲し其旨同業者に通告した

決議

一、關東地方の震災に對し我が金物商組合は此際出來得る限り薄利を以て發賣すること
二、萬一當組合員中暴利を目的として買占め賣惜み等をなす者あるときは之に警告し若し聽ぜざる時は役員會の決議を以て除名することとあるべし

注意すべき穗孕期の天候

厄日は無事か

米の收穫期も段々近づいて來たが二百十日も無事に濟み二百二十日も此模樣では無事に通過するらしい此厄日を免れて尙注意すべきは穗孕期の氣候で此頃のやうに冷えると少し都合が惡い然し其內には天候も恢復して來るであらうが今一つ注意を要するのは稗拔きでこれは極力獎勵して居るけれども惡い農家が閑却し易いので困る米に對する稗は人體に對するコレラの如く恐ろしいものでこれを防ぐにも非常の注意を要するのである先づ稗が一尺位伸びたら相互の見分けがつくからその時期に拔き取るところがどうしても見落としがあるから出穗期に之を切取るのだががまた隨分骨が折れる、既に成熟したら種子が落ちないやうに截つて其切取つたものは地中に坑を掘つて埋るか一番安全なのは燒却することであるさうでないと今年落ちた種子は明年生えるから始末が惡い丁度此頃が一番注意を要する時期だから是非共農家の勵行を望むのである此際混入する爲に米の格を落すことは勿論成長期にも稻よりも稗の方が肥料分を多く吸收し稻の發育を妨げるのである右の次第であるから此際稗を切取ると同時に處分を適當にすることを忘れてはならない（京畿道農務課技師談）

阪神の政府持米大凡出拂ふ

【東京電報】震災に對する救援の爲農商務省食糧局出張所は大阪神戸にある政府の持米五十萬石を遞送すべく四日以來引續き夜を日に繼げて搬出しの作業を續け既に大部分を終了したが十一日よりは食糧米潤澤なるを以て政府米の輸送は中止せよとの命令ありたる爲め同事務所は遞送を中止したが尙政府米十萬俵を有すとのことである

總監米領事訪問

有吉總監は今回の大震災にて横濱米國領事が不幸客死したので十三日午前中米國領事館を訪問弔意を述べた

出張命令（十三日附）

總督府警察官講習所教授 佐伯顯
新義州、奉天、撫順、大連及旅順へ出張を命ず

人事消息

▲矢島總督府社會課長 震災救護事務に關し十三日朝釜山着滯在中（釜山電報）
▲神保新吉氏（新義州電氣會社長）十三日朝入城不知火へ、
▲高氷穆氏、（總督府醫院醫員）同醫院眼科早野博士の下に研究中の處今回仁川府立病院眼科長に轉任近日赴任の筈

茶話

今回の大震災で金庫の威力は可なりに發揮された鐵筋建築は何れも現實に爆裂の悲哀を見せた▲日本には日本固有の建築があるんだからその精神を沒却した鐵筋建築が一朝有事の際に駄目であるのは當然な話▲建築ばかりでないすべてを支配する根元たる思想もその通りだ▲大震災が我等に垂れたこの教訓は日本國民は忘れてはならぬ▲渡邊千冬內務次官は頗る強硬に唱へてゐた獨身主義を飜然として鐵本博士の令妹と偕老の契を結んだ▲茲に遲蒔きながら幾久敷芽出度申納める▲渡邊君精力絕倫が一見して分かるが、どちらかと言へば美男ではない▲處が新夫人は嚴實に十八貫二百匁といふ立派な肉體の持主である▲然るにだ▲曾て新婚旅行で入城し朝鮮ホテルに滯在したつ迄は何事も無かつたが▲第一回の新婚旅行で一大事實が發見された▲ソレは新夫人の體重が六百匁程減少したことであると

氣象日報

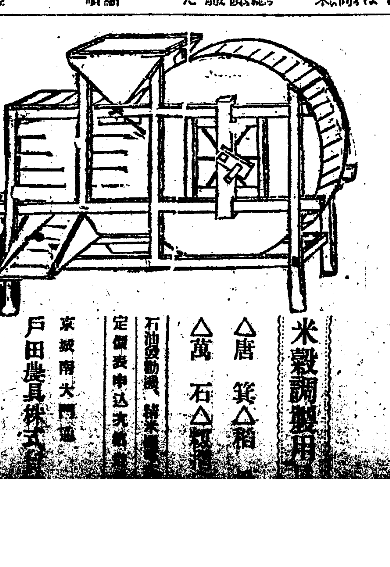
十三日朝颱風は南支那方面に去りたりるが稍新しき颱風は琉球群島の南東海峽に現はれたるも其の狀況明らかならず高氣壓は支那北部及北海道方面より半島に擴張し滿洲北部は氣壓稍低し中部は昨日降雨ありたるも止み今日槪ね曇天にして穩なりより十四日京城は槪ね曇るべし

天氣豫報（十四日）

曇

十三日正午 二六、一 七九、〇
前日最高 二三、八 七四、八

未曾有の災變に際し弊社東京支店の安否に付御見舞を忝ふし奉深謝候東京支店は類燒致候得共幸に從業員一同無事に有之假事務所を左に設置致候
東京市丸の內東中通三菱東九號館 日本電池株式會社東京營業所 島津製作所東京支店假事務所
追て災害地との通信不能に付御用の節は當分本店へ御下命被下度候
京都市河原町二條南 株式會社 島津製作所本店



米穀調製用 △唐箕 △稻〔illegible〕 △萬石 △籾〔illegible〕 石油發動機、精米機〔illegible〕 定價表申込次第〔illegible〕 京城南大門通 戶田農具株式會社

〇婦女子ノ職業トシテ看護婦及ビ產婆ハ收益多ク最モ有望ナル職業ナリ 看護婦 產婆 生徒募集 京城私立產婆看護婦養成所 〇開校 十月一日 〇二錢郵券添付申込次第規則書送ル

帽子附屬品及原料卸商 京城黃金町二丁目 大阪田中富商店出張所 電話長本局一八三〇 振替京城八〇二〇

生徒募集 私立 京城中等夜學校 學科 修身、國語、漢文、英語、數學、地理、歷史、實業、法制、經濟 募集人員 第一學年六十名、第二、第三學年各若干名 入學志望者ハ至急申込ムベシ 十月一日始業 京城南大門內

帳場本郷惠造儀豫而病氣之處養生不相叶本日午前十一時五十分死去仕候間此段友人知己へ御通知ニ代へ謹告仕候也
追而葬儀ハ明十四日午後四時當家出棺長沙洞妙心寺別院ニ於テ執行仕候
大正十二年九月十三日
花月 阿比留常吉

本郷惠造君豫而病氣之處養生不相叶本日午前十一時五十分死去仕候間此段友人知己へ御通知ニ代へ謹告仕候也
大正十二年九月十三日
向上會 一同

大震災に直面して

内鮮の境を超えて婦人協力の人情美

眞に感涙を催さしめる眞情の流露 義損金の醵出に寄贈衣類の裁縫に

關東地方大震災の罹災民救援に關し赤十字社及愛國婦人會の朝鮮本部が協力して義捐金募集並衣類送付等の計畫を立て過日來活動中であることは屢報の通りであるが此等計畫の一たび發表せらるゝや同情翕然として集まり京城は勿論各道に於て熱心に其の擧に贊同し内地人朝鮮人の區別なく夫々救援に努めてゐる近く京城に在つては愛婦役員等約五十名が毎日政務總監官邸及本部事務所に集まつて諸般の活動に全力を傾注しつゝあるが此外各高等女學校及女子高等普通學校は勿論女子技藝學校梨花學堂其の他の私立女學校でも殆ど總動の状態で愛婦本部に助勢し罹災民に送るべき衣類の裁縫に奉仕を續けて居り又府内の電話交換手其の他遞信局の女事務員等は一般官公吏の例に依り義捐金を醵出する外各自自宅にて同様衣類の裁縫をして居る殊に某女學校の如きは其の附近に居住する内鮮婦人が共擧に發し生徒に手傳ひ毎日裁縫にいそしみつゝあるほどで同情の發露の彩はしさ見る人聞く人をして徒ろに感涙を催ふさしめる斯くして集まつた衣類は其數非常に多く十二日内地へ向け第一回の送出しとして荷車十數臺に積み本部から京城驛に送り出したが第一回發出しの後續々集つた衣類は忽ち積んで山を成す有樣である而して衣類の多くは新に仕立てられたものであるが中に取混ぜある古着は何れも綺麗に洗濯されて新しい物と同樣である。

布團を贈り度い

實業同志會の活躍

京城實業同志會で罹災民救濟の爲七日から衣類義捐募集を開始したことは屢報の如くであるが右に就て南大門丁字屋小林源六氏は語る「去る七日から衣類の義捐募集に着手しました會員各店の店員百名は不眠不休で内地人の各戸を訪問して募集に努力してゐます皆樣の同情も多く集まり幸ひ多數の衣類が寄贈され府廳の手を經て十三日第一回として一萬五千餘點の衣類を四百梱包めて京城驛から發送して釜山から十五日に光濟丸で罹災地へ送ることになりました次に第二回として二百梱を募集して十五日當地を發送して十七日釜山發の某汽船に間に合せる豫定です募集した衣類の中に可成良い物もありますが襤褸で殆んど役に立たない物もあります彼此の品物を選り分けて洗濯したり或は學校家庭に依賴したり吾々店員で仕立て直しをやりました罹災地では布團に困つてゐる樣ですから布團を寄附して頂きたいのです十三日發送の荷物中に百枚の布團を送りましたが第二回目には又百枚位の布團を送りたいのです吾々會員は皆一枚以上は送りました布團がなければ罹災民はとても疊か板敷等では痛くて眠られないですから若し布團の寄附をして頂く方は十四日夜迄に長谷川町一七佛教大會館南大門通丁字屋、府廳宛へ御通知下されば直ぐ參ります」

布團二百枚

淺野氏の義擧

篤志家の續出して國家に擧て一致團結の實を表示して居るは實に感心の至りである曩に一千五百圓の義捐金を提供した府内淺野太三郎氏は十二日府尹を訪問し更に救恤品として布團二百枚を調製して提出すべき旨を申込んだ、布團一枚を二十圓と見ても約四千圓を要するのであるが前に提供した分と合すれば約五千圓以上になる、世の富豪と云はれて居る人の中でもシミッ垂れた事をすると云ふので大分非難の聲がある時に個人としては實に敬服したものと評はねばならぬ。

鮮人職工等が義捐す

龍山工作株式會社では大震災中に京城中遭難した同社の田川事務の指導で鮮人職工等を集め悲慘なる實況を詳細報告したが一同は大に感激し義捐金を醵出する事となつたが就中鮮人職工等は進んで各自の一日分の賃銀を提供することに一決し百八十圓七十五錢に達したので田川事務から同町總代に託し京城府に提出した、其日暮しの貧しへさへなき鮮人職工が一日の飢を凌ぎ赤誠を以て共同

遞信局小使連の義捐

百十七圓を醵出

遞信局勤務の小使給仕等は大部を占めてゐるが一同は今回の震災被害者に同情し各自醵金して百十七圓を得たるを以て遞信部内一般の義捐金に加へられたしと申出でた

仁川遊廓 娼妓連の美擧

仁川敷島遊廓娼妓百有余名は申合せて罹災地方の慘事を傳へ聞き同胞の爲めに慰問袋を拵へて百七十余個の同情袋の分と合して百七十余個を取纏め十三日朝仁川府廳に發送方を申出でた感心の行爲である（仁川）

古河男五十萬圓寄附

古河虎之助男は十二日震災救護會を通じ金五十萬圓の寄附を申出でた（東京電報）

救恤品無賃扱

運送店の美擧

關東大震災は近古未曾有の慘事で慘状一度傳はるや内鮮同胞は競つて之が救恤の事業に奔命してゐるが京城承運運送店組合では朝鮮鐵道局で無賃輸送取扱に係る京城驛發震災地行きの救恤衣類品其他の必要品に對しては組合員は取扱運搬積込等一切を無料にて取扱ふと

通信隊の演習

十月二十一日より二十四日まで龍山附近で第二十師團通信隊の演習實施される

鍾路署の接客業從業者の健康診斷

日本銀行で毀損紙幣引換

原型を止めぬ證券類も

日本銀行は毀損の紙幣證券の引替へ事務を毎日午前九時より午後六時迄取り扱ふて居るが火災の爲め原形を留めざる紙幣證券類は一々ピンセットを以て挾み引離して數査の上引替へてゐる爲め可成りの時間を要し毎日約百口の引替へをなすに過ぎない。

各警察署で鮮人就職に盡力す

東京出張所當局と協議

目下東京市内各警察署で保護してゐる朝鮮人勞働者は約五百名であるが之等に對して近く適當の方法に依り自活の途を講ずる樣東京出張所に於て當局と交涉協議中である

内地人の疑惑を解く爲に相愛會員活動す

全く無報酬で二ヶ月間東京の路面掃除手傳ひ

鮮人の組織せる相愛會員百五十名が十一日から燒跡の掃除をなすことゝなつた予は十一日ッセン館燒跡にて相愛會長李東に面會した彼れは今回の震災以來鮮人が東京市民から受けた疑惑を一掃するには社會奉仕をなして現實に鮮人の誠意を示すに如くはなしとて燒跡及東京府の諒解を得て燒跡の路面掃除を手傳ふことゝなつた。彼等は全く無報酬で二ヶ月間働くさうで鮮人の此の擧は官憲及市民の同情を得てゐる（東京支局特電）

印刷局の原版安全

印刷局の燒失に依り紙幣印刷機械紙幣原版も烏有に歸したと思はれて居たが十二日に至つて右原版が燒失を免れた事を發見した」

罹災者無賃乘車

勞働者が多い

關東罹災者で九月七日から十一日まで五日間に釜山に上陸し無賃乘車を取扱つた數は八百六十四名で内七百五十六名は避難者で百九名が避難者である又其職業別を見ると勞働者の四百九十七名學生の九十一名で他は會社員其他であると

救護電報は

官報同樣取扱

罹災救護事務に關し大連遞信局始め各地より遞信局會社等罹災地宛電報は官報として取扱ふ事に其の筋で承認を受けたので京城局でも釜山から發するものは同樣官報として取扱ふ事となつた

山口安憲氏家族は無事

目下洋行中の總督府警察官山口安憲氏宅は今回の東都大震災の爲家屋は全部燒失したが幸ひ家族全部は無事であると

羅災民に就職を世話する

大阪府で羅災民に優先權を附して紹介の勞を取る

大阪に入り込んで來る罹災者は職業紹介所の手に依り一定の職業にありついて行くが罹災者に限り特に優先職業紹介の方法を執り梅田紹介所の横手に天幕を設けて極力紹介に努めて居る求職者數は逐日增加し四日から九日迄全紹介所で申込みを受けた求職者數は五百八十六名で又紹介成立は四百九十三名即ち全體の八割六分まで完全に紹介して居る求職者の年齡は廿歳から卅五歳迄の男子が大多數である

王妃殿下

一千圓御寄贈

李王妃殿下には愛國婦人會朝鮮本部が罹災慰問金品募集の爲に活動せる事を聞召され特に思召として同本部に金一千圓を寄贈さるゝ旨通知あり尚李堈公家よりも同樣金三百圓を寄贈された

驛前の相談所

羅災者を世話

朝鮮總督府の通り京城府では人事相談所と驛舍係と合同して京城驛構内に罹災者相談所を臨時設置し罹災者に對して内地人は南大門通り大東館に朝鮮人は太平通り國際旅館に於て食事を提供し宿泊休養せしめ若し旅費等の用意なき者には旅費を支給して本籍地へ送還する事にして居るが十二日夜下車して同所で取扱つたのは朝鮮人四人で十三日朝は六時に鮮人二人、八時に鮮人三人、内地人二人で元山行き乘換は十一人であつたが之は全部學生であつた

刑務所を出て直ぐ樣惡事

同宅に止宿中の某の鑑札を竊ひ某の手提鞄を窃取逃走しようとする處を家人に認取され何處でか [illegible]

鍾路署管内

鍾路署では來る十七日より四日間 [illegible]

▲[illegible]洞、三淸洞、八判洞、花洞、昭格洞、安國洞、松峴洞、諫洞、中學洞、壽松洞、清進洞、鋪路一丁目、瑞麟洞、公平洞、堅志洞 ▲十八日、清進洞、新橋洞、宮井洞、孝子洞、昌成洞、通義洞、玉仁洞 [illegible] ▲二十日、[illegible] 二丁目、三丁目 ▲二十三日、元町四丁目、清水町、山手町、岩根町、[illegible] 桃花洞 [illegible]

山峽の一村地震で陷沒す

激震で上方に噴出され次の激震で海中に埋る

小田原警察署長の談に依ると足柄下郡片浦村米山川を挾んで兩岸の山腹に約七百八十戸より姫川村は今回の地震で崖邊を毀され陷沒し三百五十間位の斷崖となり全村は海中に沈んでしまつた只一二名の奇蹟的生還者の談話によると最初の激震と同時に全村は上方に噴きたされ次の激震に海中に埋沒されたのである現在里一里の間は海と化してゐる（沼津電報）

府廳の義捐金

二十萬圓を突破せん

町洞總代各團體の活躍

府廳で募集中の罹災義捐金は各人の美しい同情心の發露と各町洞役員の熱心なる努力とに依つて非常な好成績を示し十三日朝現在では一般の分が十三萬七千圓、昌德宮から三千圓、李堈公殿下から三千圓合計十七萬圓に達し之に府費の二萬圓を合すれば既に十九萬圓に上つてある、第一回〆切りの十五日までには府費以外で優に二十萬圓を突破するであらうと豫想されてゐる

尚此の外各種團體等で募集した義捐物品も豫想以上に多額に上り衣類は實業同志會の百九十七梱、聖屋組合の九梱、女教員團の百六十梱、神宮教徒の十五梱計三百五十一梱と慰問袋は佛教團の十箱、三越の十一箱、朝新の九箱計三十七箱で罐詰は明治町公設市場の十箱と中央販賣所の十箱で計三十箱、朝日石油會社からは奈良漬十三樽、朝鮮の要蔘鹿二十四梱等は既に積込を了し尚ほ實業同志會の二百五十梱は十三日夕刻積込む筈であると

潮岬經由の無電は發信するな

災害地以外の郵便物は主として北陸線を經由す

大阪遞信局から朝鮮總督府遞信局宛左の入電があつた

潮岬經由一般無線電信は汽船の行衛不明の嫌に關するもの以外は當分の見込がないから受付の際に警示して呉れ東京府神奈川縣を除く附近各縣及東北行郵便物は主として北陸線を經由して居る東京府神奈川縣行き特殊取扱ひ通常郵便物及び小包郵便物は未だ其の取扱ひを開始しない

四百萬弗を突破す

米國の義捐金

大統領五百萬弗寄附慫慂

米國大統領クーリッヂ氏は米國民に對し計五百萬弗の寄附を慫慂した所今日迄既に纏まりたるもののみを算ふるも四百萬弗を突破した有樣であると（華盛頓電報）

同情の涙を包む三萬點の衣類

愛婦本部の慰問品は第一回の發送を了した

愛國婦人會本部取纏めの震災慰問衣類は十日迄の寄贈にかゝる分を第一回分として十五日釜山出港の光濟丸に積込むべく本部では夜遲くまで多忙を極めてゐるが昨夜迄の取纏め衣類新調品五千餘點、古衣類二萬五千餘點を大箱百七十二個に詰め全部荷造りを了し發送を終つた第二回慰問品は來る二十日頃に發送の豫定にて目下寄贈を受けてゐる

山口縣の回答があれば直ぐ證明書を出す

在京鮮人學生警務局に渡航許可に相談に來る

休暇歸省中であつた内地留學生は今回の震災に依り新學期が始まつても内地に渡航する事が出來ぬので非常に困つて居る樣である、東京の學校に在學して居るものは學校が燒失したので如何とも仕樣はないが東京以外の官私立學校に籍を有する三百餘名の學生等は一日も早く渡航を許可され歸校せんものと毎日の樣に警務局に出頭して身許證明を請求して居る、之に對し丸山警務局長は語る『學生諸君に對しては實に氣の毒の至りである、何とかして一日も早く歸校さしてやりたいと思つて各府縣知事に電報を以て照會して居る次第である。所が今回の震災で各府縣とも何分困つて居るらしい、鐵道でも名古屋までしか切符を賣つて居ないので最初渡航した者は名古屋まで行つて一杯先ち溢れ後へも前へも動きが取れず非常に困つたらしい、その後名古屋以西は何處も渡航者で大變な混雜を生じて居るので各府縣から渡航を禁止して呉れる樣に云つて來たのであるが學生諸君の事情が遲ふから大に同情して居る次第である今回答の來たのは大阪府、兵庫縣、岡山縣等で第一上陸地たる山口縣の回答がないので何とも致し方がない、山口縣の回答さへあれば直に各道へも通牒を發し證明書を下附して速く歸校の出來る樣に便宜を計りたいと思つて居る』

今年は蠅が少い 傳染病も減る

衛生思想普及の反證 來年初夏『蠅の展覧會』開催

今年は夏季傳染病豫防施設の一として蠅の驅除に就ては具體的計畫を定め官民一致官廳督勵に努めた特に京城府内は夏季傳染病が流行發生する關係もあるので蠅取日を一日、十五日の兩日を定め各自凡くの趣向に委せて此日には警察官の外至る全力を傾注せしめて之に當らしめた其結果捕殺した數は實に驚しいもので其都度何石と言ふ成績を示してゐるそれで一般からも今年は御蔭で蠅がズツト少く成ましたとの好評も聞々耳にした樣な譯である者れば今年の夏季傳染病は例年よりも非常に減少を示してゐるがこれは他に原因もあろうが蠅の減少が確かに其一因を爲して居るものと信ずる從來の努力が一般が認承して來た爲は全く當局の趣旨を理解して異り斯くて一般衛生思想の向上を來た趣旨に協議するものであると思ふ就ては一般が斯く蠅驅除の途に向ひつゝある機を逸せず更に一歩を進めて益々一般の自覺を促進するのは今日の急務であるから次期の施設計畫として來年初夏に京城で蠅の衛生展覧會を開催し多數の實物模型標本等を陳列して蠅は實に人類の仇敵であり恐怖すべき害毒なる事を切實に痛感せしむる爲め一般に觀覽せしむる豫定である陳列材料は自分の方でも出來得る限り蒐集する積りで努めてゐるが成る可く民間からの參考品を澤山陳列して官民共同にて此事業をやつて見たいと思ふ就ては此際篤志家又は此の方面に趣味を有せらるゝ方など何人の出品でも歡迎する所でなんたものは何でも差支がないから希望の方は警務部衛生課と打合せをして頂き度ひ云々（京畿道馬野警察部長談）

潛水艦七〇號の浮揚

來る廿五六日頃と發表

神戸駐在氏家監督官の發表に依れば淡路假屋沖の潛水艦引揚作業は其後引續き繼續されてゐるが艦體の浮揚るのは來る二十五、六日の豫定であると（神戸電報）

眞裸にして責め折檻

賭博を密告したと

府内新町遊廓貸座敷業福島樓高原藤太郎方抱娼妓小糸事浦川スガ（二〇）は朋輩の八重子事柳原ハツ（二〇）と共謀し十日晩同樓で賭博開始中五名が孰れも賭博犯として珠數繋ぎとなり其筋に檢擧されたのは源氏名新米女郎のオモチャ事河ミサト（二〇）が交番へ密告したものに相違ないと信じ十一日午後二時過ぎミサトが二階一號の居室で寢て居るのを呼び出してミサトを眞裸になし責め折檻するので痛手を蒙つたミサトが前後の考へもなく段梯子をドンくと降りて人事不省となつて居る處を巡察中の巡査が發見し取調べの結果前記の顛末が判り兩名を本町署へ同行取調べて居る

瀛船衝突す

麗水港内で

命令航路釜山、濟州島線昌平丸の代船として就航中の朝鮮汽船浦河丸（三四七噸）は本月七日夜全羅南道麗水に入港の際同港碇泊中の釜山、木浦線に就航中の汽船寶信丸（二〇三噸）の右舷中央部に接觸し寶信丸は水線下の外板五枚を曲部破骨、排水溝折損し漏水甚しく入して航海危險となつたので應急修理を施して出帆する旨遞信局へ入電があつた

寺院立退訴訟は原告敗る

財團法人朝鮮佛教中央教務院に於ける經營であつて、本年二月頃裁判沙汰となり、朝鮮の坊さん連が京城地方法院の構内で睨り合を始めるやら大騷動を演じた、三十本山の總代表大寶から磊松洞覺皇寺外五人を對手取つて同洞八十二番地所在の寺を立退きを迫つた家屋明渡の訴訟は京城地方法院伊東部長係で審理の結果其節原告の敗訴となつた、處が原告は證據書類を蒐集し、陣容をたて直し、一切山繁雜護士、張護士を代理人として本月初頭新に訴狀を京城地方法院に提起したので、被告側では松本、山中の兩辯護士に依賴し爭ふことゝなり、伊東裁判長係で十四日午前八時で第一回公判の筈である

有權者約一萬人

前回より六千增加

來る十一月二十日施行さるゝ京城府協議會員の選擧權者調査は大體に於て終了したが其概數を見るに總數一萬一千百人位で内地人側が四千五百人朝鮮人側が六千六百人の見込である、之を前回の四千七百七十一人に比較すれば内地人に於いて二千三百五十五人、朝鮮人に於いて三千九百七十四人計六千三百二十九人の增加で二倍以上になつて居る之は主として戸別稅の實施に伴ふ增加であつて、此數の上から見ても選擧は相當激烈な競爭を免れまいと豫測されて居る

支拂が出來ず

器物を破毀す

當時住所不定の奈良義惠（二二）は十二日午後十一時五十分頃黃金町二丁目銀松亭で二圓餘位飲食したが懷中に僅三十錢を所持するのみで支拂ひが出來ず醉に乘じて手當り次第に器物を投げ亂暴狼藉を働き始末につかず本町署へ檢束された

司法室で調書を引裂く

平壤府將松町で紹介業を營んで居る本籍長野縣下高井郡平穩村須田歡藏（四九）は日露戰役で殊勲の爲め功七級勳八等に敘せられた身分にも拘らず兎に角評判の良くない紹介人であるが昨年十二月元山に避難した罹國婦人を仲介きに世話すると云ふ約束で府内櫻町旗亭喜樂の主人より金百圓を受取りながら人も伴れて來ねば金も返さぬことから平壤署の探知する處となつて詐欺の嫌疑で十二日取調べを受け同事件を併發した迄は宜かつた

取消申込

事局へ送られた [illegible] 貴紙九月七日號 [illegible]

在鄉軍人救恤

關東大震災救恤費として第二十師團では將校下士卒一同で一萬圓を既に送附したが鮮内各在鄉軍人會よりの救援費申込み續々としてあり十一、十二の兩日中に師團司令部に報告の達したものは京城第六分會の三十圓全州分會の三百圓、清州分會の五十圓等である

震災の保險金

は全額を支拂ふ

京城の生命保險協會にては今回震災に伴ふ保險金の支拂ひに關する協議會を開き加盟會社全部出席の上今回の災害に依る保險金は全部支拂ひをなすこと保險金は出來る限り速に支拂ひ手續を開始すること保險料の拂込みは保險約款に依る猶豫期間の上に更に二ヶ月を延長し合計四ヶ月間保險料金の拂込

震災時局講演

十四日公會堂

今次の震災は七千萬同胞を悲痛の極に陥らしめたが然し何時までもこの悲憂に沈潜すべき時期ではない、茲に同業大阪毎日、大阪朝日兩京城支局主催の下に十四日午後七時から京城公會堂に於て震災時局講演會を開催することになつた出演者は左の如くである

大阪朝日新聞記者　井上收
大阪毎日新聞記者　濱田實
商業會議所書記長　大村友之丞
大阪毎日新聞記者　名村寅雄
大阪朝日新聞記者　柳島邦
殖産銀行頭取　有賀光豐

世界語講習會

明十四日から淑明學校で

京城エスペラント研究會の主催で來る十四日より十日間藍松洞淑明女學校に於て第八回エスペラント初等講習會を開催し毎日午後五時から七時まで朝鮮語で講義し八時から十時まで日本語で講義する事になつてゐるが會費本代共三圓で之迄講習を受けた者は無料で聽講が出來る、今回は特に婦人の受講を歡迎すると

元山海岸通
高等御旅館 愛媛館
電話長一二三八番

荷車顛落し

輓子傷づく

府内唐津洞一六四金奉文（二三）は十三日午前九時四十五分荷車に土を積載して孔德里漏城道を上る途中誤つて荷車と共に下水溝に墜落し腰部に少しく打撲傷を負ふたが直に濟衆病院に收容され手當を受けた

小鼠泥捕はる

住所不定李鴻（二三）は府内仁寺洞三七李稙夏方に止宿中十三日午前四時頃稙夏のインバネス二點（價二百圓）を [illegible]

火星座試演

來る十五六日浪花館で [illegible] 府内の新派劇研究者から成る [illegible] ア劇團火星座では [illegible] 四丁目草津湯裏樓上にて [illegible] 中であつたが愈々來る十五六 [illegible] 浪花座で第一回公演 [illegible] する演じものは [illegible] 「[illegible] 別れ」一幕、[illegible] る瞬間」二幕、[illegible] 一座」三幕で入場料五十錢 [illegible]

えんげい

[illegible] コート（價六十圓）[illegible] 百圓）を窃取して逃走する [illegible] 家職人林炳鎬（二）に [illegible] 門署に取押へられた

中央館再開

來る二十日から開館

久しく休館中であつた [illegible] 常設館中央館は今回 [illegible] あつた藤本省三氏等の手で [illegible] ることになり日本館 [illegible] 映畫）の寫眞を上演することゝなり來る二十日から開館する [illegible] 行には『假名手本忠臣藏』[illegible]『紫頭巾』入物その他 [illegible] 優秀な寫眞を上映すると

人參湯

▲府内大門通り一丁目 [illegible] 番地日比興一と云ふ人 [illegible] 内地人の [illegible] に義捐金として五十圓 [illegible] ▲府に依託したが [illegible] 寄は一寄毎に [illegible] を纏めるので [illegible] 十圓では少いモウ五十圓 [illegible] う、そら又號外が來た [illegible] モウ五十圓……と云ふ [illegible] 五十圓を纏めて [illegible] が發展するに及んで [illegible] 打たれ百五十圓位ではドウして [illegible] 氣が濟まぬと更に百七十圓 [illegible] た、そして今度は本社に [illegible] 依賴して來た、感心 [illegible] りである▲義捐金と云へば [illegible] の富豪中村再造氏の一千圓 [illegible] 所會頭釘本藤次郎氏の五百圓 [illegible] の際ドンなものかねと [illegible] 問題になつてゐると云ふ [illegible] に祀して置くが釜山の香椎 [illegible] 氏は一萬圓投げ出した

震災義捐金品（本社取扱の分）

壹百五十圓　南大門通一丁目　日比興一

壹百圓　京元線東豆川　吉野サク

五十三圓　京城青年會

内譯

▲二圓宛西村綠哉、林祐六、中西久一 ▲七五三木重吉、依田 [illegible]、畑盛之助、澤浦清 ▲一圓宛田邊滿市、魚座七郎、少柳新五郎、岩木健次、奧田壽雄、澤田光昇、西部勝次、吉田正男、羽田義夫、福井信一、舟越清、中田鶴松、佐藤茂次、松永政代朋、勝田政男、澤浦武夫、青木重太郎、金子辰明、鈴木吾市、鈴木喜代藏、伊藤武市、高原兵作、金枝保三、田村鋼男、阪田忠正、丸一郎、浦沼常十郎、浦沼武雄、三島彥治、加藤物吉、生地道太郎、大野廣吉 ▲五十錢宛三浦勇三郎、阿部寅松、勝田吉五郎、飛鳥榮一郎、伴久太郎、水野重太郎、村上健助、今岡恭吉、木村龍雄、秋山三郎、勝出庄助、後藤義盛、古川輝一、紫田孫一

五十圓七十錢　水原料理屋組合

内譯

▲五圓宛武藏野、伊藤祐吉、吐月樓、武ミネ、末廣刀根塚吉、いろは江口直四郎、富士亭笹出ユキ、翠香園豐福辰三、一二三加納サイ▲三圓一二三内藝酌婦連▲二圓五十錢いろは内藝酌婦連▲二圓宛武藏野内藝酌婦連、博多屋内藝酌婦連▲一圓二十錢吐月内藝酌婦連▲一圓宛一二三内藝野カツ富士亭内山崎アキ、翠香園藝酌婦連▲二圓四十錢富士亭藝酌婦連▲六十錢末廣内藝酌婦

▲參拾圓　山邑酒店京城支店
▲貳拾圓　京城文房具一同
▲拾圓　京義線文山 [illegible]

▲拾圓南大門通一、日比興一▲五圓同、日比正六▲參圓同、日比貫在、貳圓同、日比衣一▲五圓宛金浦郡陽東面木洞里河部賢熙、同 [illegible] 同高橋喜多男、永樂町二丁目 [illegible] 太郎▲貳圓宛金浦郡陽東面木洞里佐藤幸四郎、同瀧川菊治、朴永祚

小計金四百四十九圓七十錢
累計金一萬一千〇七十一圓六十錢

訂正　十一日夕刊震災義捐金拾圓河原拾一郎とあるを河原拾次郎と訂正す

慰問袋（十二日受付）

一、百袋	京城本町一丁目 平田百貨店内	店員一同
一、五袋	本町一丁目	李王職
一袋	同	野口丸郎
一袋	同	土田喜 [illegible]
一袋	同	河野喜政
一袋	同	森 重信
一袋	同	末光朝臣
一袋	同	生實清吉
一袋	同	小林一男
一袋	同	津田時郎
一袋	同	濱瀬初枝

日計百拾五袋

府内警察署巡閲所感（二）

馬野京畿道警察部長談

第二巡閲の目的

巡閲の要義は前にも斯くの如しとせば其目的もこれに依つて自ら明瞭であると思ふ、即ち巡閲の目的とする所は凡て次の三點の事項を査閲するにある

（一）事務の整否

先づ第一に事務の整否の如何にあるは申す迄もなく警察の職務は主として外部の執行に存するのである然し外部の執行は内部の事務整理如何に重大な關係を有する、内部の事務が完全に整理せられて居れば外部の執行も又從つて完全に遂行が出來るがこれに反して内部の事務が不整理不整頓であると外部の執行も亦從つて過誤に陷り易いことは勿論である。例へば例規の整理を怠つたが爲に既に廢滅した規定に依つて公衆を取締る不法の處置をなすとか或は警察署が取締の整理が不充分な爲に當然取締を要するものを惡くしてこれを放任し延いて民衆に迷惑を及ぼす樣な事例は決して尠くない又銃器所持者の調査が不整理な爲に五年も六年も前に所在不明になつたものが其儘になつて居るとか或は他管内から入込んで來た銃器所持者を知らずに居るとかいふ樣な例が甚だ多い從つてこれ等に對する取締が不充分な結果として不測の災害を生じた實例もある。

（二）執行務の適否

第二には執行務であるがこれはいふ迄もなく警察の生命であるのである、從つて最も注意を必要とする執行務は（イ）嚴正でなければならぬ（ロ）公平でなければならぬ（ハ）周到でなければならぬ。大體これ等四個の要件を具備すれば先づ適當と稱して良からうと思ふ若し此の要件の何れか一つを缺くだけでも、其結果は誠に寒心すべきものがある、例をあぐる迄もなく最も周到なる注意を拂ふ必要あることは言ふを須たぬ處である。

（三）訓練の良否

第三は警察訓練の良否であつて警察訓練といへば甚だ漠然たる概念であるが大體これを賦つて左の五條件とする事が出來ると思ふ。

規律

規律は警察の生命である警察は規律の府であるといふ事は屢々聞く所であるが凡べて如何なる方面の事務でも苟くも多數人の集合體に於ては規律が必要である。規律は即ち秩序である、國家には憲法といふ規律があつて元首、官吏、國民等の夫れ〳〵の分域といふものが定まり國家の秩序が茲に儼然と確立して居るのである之と同じく軍隊に於ても學校に於ても何れも規律といふものがある、軍隊ではこれを軍紀或は軍律といひ學校では校紀といひ警察にあつては警察規律といふ、此の規律が一度紊れるときは、如何に多數の警察官があつても全く烏合の衆に等しく職り警察の機能を完うすることが出來ぬのみかこれがために却つて社會國家に害毒を流す結果を招來するのである、上下の階級が嚴格に區分せられ上官の命令が一糸亂れず其の部下一般に徹底普及し部下も亦良く上官の指揮命令に服し秩序あり統一ある行動を取る事に依つて始めて警察本來の面目を完全に果すことが能きるのである、警察官中往々にして上官の命令に違背し又は殊更に法規に抵觸する行動に出づるものあるが如きは明かに規律を紊る獅子身中の虫であると思ふ規律は秩序の根源である。

秩序は恰も網の結び目の如きもので、如何に丈夫な網でも一度其の結び目に一ケ所でも破綻が出來ると忽ち全體の網がこれが爲めに破れるのである。一人でも規律を紊るものがあれば、警察全體がこれが爲めに、紊亂を來し竟には救拾すべからざる、結果を招來するのである最も戒愼を要する事と信ずる

風紀

警察は社會の秩序を保全し、一般の風紀を廓清する任務を有する從つて警察官吏は、自ら公衆の儀表を以て任じ、苟しくも他人から指彈を受け、批難を蒙る樣な事のない樣に、日常身を持すること、謹嚴にして、言動また苟しくもせざる樣に注意をしなければならぬ普通の人や又は他の官公吏ならば一般にこれを看過して何等問題とならぬ樣な小事件でも、警察官吏がこれをなしたと言ふ事に依つて新聞等の攻擊材料に供せられる樣なことは尠くない、是は即ち警察官たるものは善良な者である、惡事は爲さないものであるといふ事を前提要件となすからである、斯くの如く世人は警察官に對し一種特別の敬意を表して居るのであるが此の敬意を裏切る樣な事を爲せば假令夫れが如何に些細な事柄であつても世人は決して之れを看過しない、盛んに批難攻擊を加へるのである此の點から見ても警察官は大に自重自愛して身を修め德を積み苟しくも警察官としての體面を失墜し又は威信を損する樣なことのない樣にお互に十分相戒めなければならぬと思ふ

協同一致

凡そ協同一致の精神は何ごとでも必要であるが特に警察に於ては最も其必要を痛切に感ずる次第である何分多數の職員よりなる警察の仕事は協同一致の精神を基礎とするにあらざれば到底十分に其効果を擧げることは能きぬと思ふ、凡て團體的生活に此精神の必要なることは言を須たぬ處である、國家にしても地方團體にしても又は會社銀行にしても社會的團體にして此精神が其團體に能く行き渡つて居なければ到底團體として發達なる發展を望むことは至難である、支那の如き又露西亞の如きは其國民に協同一致の精神が缺けて居る結果として今日の如き悲慘なる實情を暴露するに至つたものである如何に個人〳〵の實力が十分であつても若し其間に協同の精神が缺けて居つたのでは斷じて團體としての活動を完全に遂行することは不可能である。古來五指の交々彈ずるは一拳の撲打に如かずといふ諺がある。五本の指を以て代る〳〵打つよりもこれを一括して拳を固めて打つた方が遙かに効力が多いと同じである。警察の實務に就ては特に此精神が最も必要であると信ずる、就中朝鮮にあつては内鮮人警察官が合體して始めて完全な警察機能を發揮することが出來るのであつて鮮人は言語其他につき内地人の警察官を助け又内地人は智識經驗に於て鮮人警察官の不備を補ひ兩者相互に相倚り相援け採長補短の實をあげる必要がある。又警察官は何れの地方にも散く分布配置せられて居るのであるから、先づ警察官自ら内鮮人の和合の實を一般に示して、内鮮融和の實を促進せしめる必要がある此の點から言つても、警察に協同的精神の必要なることは言を須たぬ處であると信ずる。

震災義捐金は何處も豫定額を突破

各種團體の獻身的な活動から種々の美譚を生んだ

感心な篤志家

【平壤】平南中和郡邑內宋凌漢、宋晋燮の兩氏は兄弟で貿易商を營んで居るが朝鮮人間には稀に見る篤志家で公共事業等に對しては常に献身的努力を惜まぬ人である、先般の平南地方水害の節も多分の穀物を罹災民に寄贈したが今回の東都地方大震災に對して何等從來もせぬのに率先して金百圓を義金として郡廳に託送して來たので郡廳も今更の如く兩氏の義氣に感激したと。

巡査の大奮發

【淸州】忠淸北道各郡部に於ける震災救恤義捐金は部分的の情報に接して居るが未だ綜合的の確報がない淸州市內では各方面同時に活動を開始して居る最初の見込では三四千圓內外の見當であつたが今日の情況では五六千圓にも達するであらう其他赤十字及愛國婦人會も熱心に勸誘中で續々應募者がある又特筆に値すべきは道廳に奉職せる一巡査が率先して金一百圓を提供したので之が刺戟を受けた大官連は月收の五步標準など勿論口に出せなくなつて何れも奮發するらしいので意外の好果を結ぶであらう

城津義金募集

【城津】關東地方大震災の悲報傳はるや城津にても八日午前十時より各町總代及び赤愛會委員其他の官民多數郡廳に集合義捐金募集方法に關し協議を行ひ九日は郡內の各面長を集め夫々狀況をして募集せしめる事とし市內では官民合同で直ちに募集に着手したるが概算額以上に達する見込みである、尙此外北鮮佛教聯合會城津分會では衣類其他の必要品を集めて送付する事となり眞宗本願寺及日蓮宗本妙院合同で奔走募集中である

光州義金良好

【光州】光州市內の震災救恤金募集は非常に成績よく十一日のみにて既に八千圓を突破した又愛國婦人會の古着蒐集も手挽車にて二十臺に達し十二日之を整理し午後修養團の助力にて荷造りし午後七時發の列車で釜山に發送した

天安の義捐金

【天安】天安の震災義捐金は各方面よりの特志的寄附者もあるが道當局よりも示達あり邑內では邑長面長會の結果十日郡廳に同志會長並川在鄕軍人會長上野消防組頭佛教婦人會長六公同組長等四十名ばかりを一隊として天安座より打つて出で各戶を訪問募集したが意外に同情寄附も多く一千圓の豫定は二千五百圓位に上るであらう

將校夫人の活動

【新義州】第三守備隊及び新義州守備隊憲兵分隊等の將校夫人で成つた將校婦人會では東都震災に慰問袋百二十個を作成し十一日午後發送したが引續き第二計畫として愛國婦人會の斡旋中なる衣類の贈與にも參加する筈である

義金募集好況

【平澤】振威郡に於ける東都震災地慰問金品募集開始に關しては既報の通りであるが九十十一の三日間受付た平澤の分は五百三十一圓に達し今尙勸誘中である尙郡內十一面は郡に於て面長會議の結果約二千圓を醵出することゝなり目下募集中である、一方慰問品は郡に於て直接取纏めて居るが十二日締切の結果寄贈人員五十六名三百九十點に達したので、同日荷造りの上釜山救護事務取扱出張所宛至急發送を了した

第一回慰問品發送

【新義州】愛國婦人會新義州分會員が熱心に戶別訪問の上募集した震災罹災者に贈るべき慰問袋第一回分は十日締切り十一日ビール箱廿六個に詰め込んで發送した因に第二回分は十五日發送の見込である

古着の中から生れた美くしいエピソート

妙齢の一婦人が着物を脫いでドーカ可哀相な人の爲めに……

【釜山】關東地方の震災以來罹災者の救濟につきては各地共寢食を忘れて奔走を續けて居る如く釜山でもあらゆる團體の手に依つて能ふ限りの努力を盡されて居る府民の之に對する態度も亦熱誠の限りを盡し金錢を以てする醵出の外各宗寺院や基督教會の手で行はれて居る古着の募集等も非常の盛況で既に數千點に達して居るが斯くだに涙ぐましい人情の麗はしさが一つのエピソートとなつて此の古着募集の中から生れ出たと言ふのは十一日の夜基督教會の人達が荷車を曳いて府內の募集に廻つて居ると通りかゝつた妙齢の一婦人が募集の趣旨を尋ぬるので一應其理由を話すと聞きも終らず件の婦人は宅までは遠方だからと着て居る衣類を其儘脫ぎ取り『どうか可哀相な人の爲めに之を受取つて下さい』と自分は腰卷一つに前掛を背からたらして歸つて行つた其後姿を見て募集の人達も思はず涙にむせんだと言ふ事であるが外の募集團體の方でも同じやうな美談が一夜に三つもあつたと言ふ事である

市民の同情甚大

【營口】營口民團主催となつて募集した震災義捐金は十日迄に七千二百餘圓に達した衣類慰問品等は民團役所に山積されあり市民の如何に同情の甚大なるかを物語つて居る又鷲平城內居住笹山卯三郎外十六名より救恤金二百四十五圓を送附して來たので民團の分と合して關東廳に送附した

救濟品到着狀況

【釜山】釜山第一棧橋震災救濟事務取扱所では各道からの寄送品の整理に忙殺されて居るが十二日朝迄に到着せる物及發送通知に接したるものは左の通りで十三日午前九時から白米以外の雜貨物は光濟丸に積載米及其他の一部は十七日出帆の朝鮮汽船櫻島丸に積載の豫定である

▲到着品

十一日　米二千五百叺其他四百個

十二日　光州愛國婦人古着類九十九個釜山慰問袋十箱牧の島西本願寺婦人會古着三百點藁栗古着百六十點實習女學校古着三百六十點

▲發送通知を受けたるもの

政務總監夫人衣類二百箱衞生材料北箱江原道鐵嶺五千尾光州愛婦百十七個元山府尹五十個平北知事白米百石大豆百石金二浦二十九個金堤郡醬油漬物四樽金泉面長白米百石

釜山上陸避難者 當局の措置に感泣す

衣食を支給された上に宿泊食事代迄給されて

【釜山】朝夕兩度の關釜連絡船から釜山に上陸する震災罹災者及途中よりの送還者は日と共に其數を增し之が取扱ひにも一層の繁忙を來しつゝあり鐵道輸送の如き各列車毎に增結に增結を重ね滿鐵でも車輛配給に大故障を惹起して居る樣な始末であるが上陸者の大多數は殆ど着のみ着のまゝの無一物者であるので目的地迄達せしむるには棧橋救護事務所で衣食を給したる外途中に於ける宿泊食事代等を要するので十一日から右無一物者に對しては棧橋上陸後其申出により目的地に達する迄の辨當料其他を總督府から現金にて支給せらるゝ事となつたのでさなきだに沿道各地の同情に多大の感謝を捧げて居る一同は此行屆きたる當局の好意に何れも感泣して好意を謝して居る

送還鮮人無賃輸送中止

【釜山】七日以來連日罹災者と同樣船車無賃輸送を續けて居た京城方面よりの送還鮮人は發送地に於て一段落を告げたので十二日朝發の新羅丸を最後として無賃輸送を中止する事となつたので十二日夜よりは罹災者のみとなつたので救護事務所の繁忙も稍緩和さるゝ事となつたので今一層の注意を以て充分なる慰安と便利を計る筈であるが東京方面の秩序が回復すると同時に次第に到著罹災者の數を增す見込である

不謹愼者には

警告を發する決議

【新義州】東都の大慘害をよそにして藝妓を聘し最近一流の料亭に登樓莫迦騷ぎの散財をする不德漢が新義州府內に散見するので心ある者は其行爲を苦々敷く思つてゐるが、これ許りは公然と其筋から禁止する譯にも行かず只遊興者の常識に訴へるより外はないが對岸安東縣では料亭その者が率先して遊興客に對し莫迦騷ぎの散財を謝絕してゐる新義州府民として非國民的行動は一面に於て府全體の體面に拘る事と痛嘆する硬骨漢が遂に憤起するに至り其結果として在住朝鮮有志と會合し十一日協議の結果此後斯かる不德漢に對してはドシ〳〵警告を發し萬一それでも遠慮せぬ場合は社會道德に訴へるといふ決議をした

多獅島築港の運命

地震の爲めに延期？

順境に進めたいは山々だと ＝多田榮吉氏は語る

東都慘害の結果十三年度に繰り入れられた豫算中で可成延期さるゝものがあると見て差支あるまい我が新義州の多獅島築港問題も如何なる運命に陷るか之に關して全力を傾注し畢生の事業として活動してゐる多田榮吉氏は左の如く語る（新義州）

今回東都の大慘害が勃發した之に就て今吾黨の目的たる多獅島築港問題に對しても一小問題視されるのは此際已むを得ない次第である吾黨としても只今となつては先づ東都救濟引ひては此後の經濟問題に對して政府の執るべき措置に就いて深く考へた上にせねばならない破目に陷入つた事は勿論してゐる他の慘害とは聊か別であるのだから多獅島築港豫算が此の際に十二年延期されても其の理由が明白なれば敢て俯仰天地に恥じないのだ、更に角本府から原土木部長が來新するから原氏と談合の上出府して齋藤總督有吉總監の意見を聽取し其の上で東上する決心であるが要するに慘害は憂慮に堪へないが築港問題も遂に放棄は出來ない是非共進行を順境に續けたいのは山々だ其意味で東上し萬事は歸つて來てからの事と思つてゐる。話しが變るが今回各地に募集される義捐金が意外に多いのは涙ぐましい程有難い赤誠の發露だ、然し乍ら我朝鮮では此後の經濟界の打撃を考へ此の際の義捐金をば正金として早速利用し得られる特產物と致し輸送するのは双方に便利な方法ではあるまいかとも考へられる次第である、東都建設の爲め第二の流民は事業の勃興と共に財政が潤澤となるから好いが第一流の經濟は容易に恢復は困難とせねばならぬから正金を持ち出す事は什ふかと云ふ朝鮮の財政は內地の救護なくば立ち行かない年々多額の補給金を頂戴してゐるのであるから最も慎重に考へる必要がある此の機會に朝鮮の特產物をドシ〳〵內地に輸送する事を奬勵するは一面に於て災變じて幸となり朝鮮開發上要を得た方法だと思ふ

水產共進會は豫定の通り開催

但し期間は十月末迄に短縮

【釜山】帝都を中心とせる關東地方一帶に渉る震災の影響により豫定計畫の遂に多少の變化を餘儀なくされた水產共進會では十一日夜會長たる和田慶南知事の來釜を見たるを以て最後の決定を爲すべく十二日府廳に林副會長、小西府尹、飛鋪理事官等を會合し協議を重ねた結果不幸にして開會前に於て今回の慘禍を見るに至りたるも共進會の目的が產業獎勵の發達にある以上將來國力の進展を圖ると言ふ見地からする時は一層有意義ならしめざる可からざるの感もあるので豫定の計畫に何等變更なく着々と其歩を進むる事に意見一決したるも一般人心の傾向より考察し緊張味を失はざるの程度に於て會を終了するには聊か會期の短縮は已み難き處なるべきを以て十一月八日迄の期間を十月末日迄に短縮するには一同異議なく直に總裁及聯合各道の意見を徴する事とし尙內容に渉り各種の打合せを了し更に午後から產業會議所を訪問協贊會幹部の意見を徴した處會期短縮に對しては協贊會も大に贊同する處であり從つて共進會の目的達成につきては尙一層の緊張と努力とを以て援助し餘興の如き成る可く之を充實にせしめ豫期の効果を收むる事に努力する筈である

清州學議補選

十月十日擧行

【淸州】淸州學校組合評議員は定員十名の內最近四名の缺員を來したるを以て之を補充する必要を生じ組合では十日神嘗祭の當日を選擧日と決し茲に發表した期日は十月十日で一ケ月の餘日あると雖も震災の救濟に市民の心が傾き選擧の方は全く沈滯の情態であるが日を經るに從ひ追に暗中飛躍を試むるものが顯はるゝであらう

金融梗化と市場

【晉州】震災突發以來當地殖銀支店は本店の電命に依り金融組合一般の商業資金の貸出しは絶對に謝絕せざる爲め金融は極度に梗化し米穀商の如きは已むを得ず米穀の移出も平素の如く行はれず市場に集中する米穀も商人の資金故取立騰者に依るの外なき狀態故關係上取引は殆ど皆無である隨つて一般の諸取引も閑散である

成歡面畜牛稧

【成歡】天安郡成歡面にて畜產獎勵法の一として畜牛買求めの共同講を本年春より初め毎回一圓宛六十四口の者より出金したるものを抽籤して交互に牛を買ひ毎月二回行ふ事とし購買者も非常の趣味を以て畜產養牛に勵み居り好成績であると

慶北米豆檢查

【大邱】去る八月中に於ける大邱及び其他の米豆檢查所に於て檢查を施行したる玄米は總數五萬六千七百十七叺にして內譯は

二等三、九二四叺、三等四四、三四四叺、四等四三三一叺、合計五二、四九九叺昨年同月に比し二三、七八二叺增加

白米の檢查總數は一萬一千〇八十五叺にして前年同月に比し一、四〇五叺增加內譯は

一等九、九九七叺、二等一、〇六七叺、等外一叺合計一一、〇〇六五叺

大豆の受檢總數は僅に七八八叺にて前年同月に比し六〇九叺の減少其等級別を示せば左の如し

二等二四八叺、三等四五二叺、四等五九叺

平壤チフス蔓延の兆

各病院は何れも滿員

現在患者二百名を算す

【平壤】平壤に於ける室扶斯患者は日を追ふに隨つて增加蔓延の兆あり慈惠醫院傳染病室、普生院、南町避病舍、紀勿病院等何れも滿員の狀態である、十一日現在の室扶斯患者は百九十名パラ十名合計二百の內死亡十名全快十一名の成績を示して居る、以上四ヶ所の隔離病舍中最も成績の佳いのは普生院で收容患者四十六名に對し死亡したのが三名、全快退院が十一名で而も茲二三日中に尙四五名の退院者を見る筈である、之に反し紀勿病院の方は兎角評判が惡く現在三十二名の患者を收容して居るが未だ一名の退院者もなく死亡するのみであるばかりか病院が患者に對して至つて不親切極まり一日朝一回の診察する外當直も宿直もせず未熟な看護婦に任せた爲め患者は府の避病舍へ入院を希望するもの多く現に普生院へ轉じた者も居る

玄白米仕向地

【大邱】去る八月中大邱及び其の他各米豆檢查所の檢查を受け又は未檢查の儘移出したる仕向け地を示せば左の如し

玄米大阪七、三〇〇叺▲八幡四三〇叺▲尾道一六〇〇叺▲巳婆四三〇叺▲岡山四三〇〇叺▲橫川一、二九三叺▲釜山三五、二八叺▲草梁一一四六叺▲秋風嶺七四四叺▲浦項九二叺▲大邱七、三九四叺▲合計六三、七八七叺

白米大阪四二五叺、熊本一二五叺奧八、〇七五叺▲德山四二五叺▲門司二八七叺▲桐野四二五叺▲直方八五〇叺▲釜山四二七叺▲其他五一叺合計一一、二九三叺

自動車の檢查嚴重に施行する

矢田保安課長談

【大邱】從來慶尙北道管內の營業自動車の檢查は春の四月と秋の十月に施行する規定であつたが今年は來る十月中旬から大邱に於て全國特產品陳列大會が開催せらるゝので當時乘客の數も亦非常に激增するものと見込を付け十月の定期檢查を九月に引上げ大邱府內に交通する自動車は三日から八日まで檢查を實施した、今回の檢查は例年より一層嚴重に行つて居るので一部の同業者は其過重を怨んで居るものもあらう又或る自動車の如きは檢查が嚴重であつたから檢查を仕直して異れと申込んで來たものもあつた位である、而して大邱府に關係ある自動車の總數は四十四臺あるが其內完全のものは二十一臺、一部の修理を命じたものが十六臺、期間を附して修理を命じたものが六臺、全然使用を禁止したものが二臺あつた、郡部は目下引續き係官が出張して所在に檢查中である、尙一部旅客の中には現に揮發油も下落したし其上部分品附屬品等の値下げをもあつた際であるから相當賃錢にも値下げする事が至當であると主張するものもある樣であるが今日の自動車は悉く完全無缺のものゝみでなく是より大に車體を改善させる必要があるので當分の間は賃錢の値下げはさせぬつもりである云々

昌原除稗成績

【馬山】昌原郡農會に於ては稗を除去し稻の生育を盛ならしめ收量を增し其品質の向上に依り玄米一石に對し約一圓を利し得るとせば郡全體に於て約十八萬圓を利し得る家一戶當り九圓弱の增收となるのでこれが徹底的計畫を樹て五日より十五日三十日の三回に郡、面、郡農會及各地主協力一致し郡全體に亘り一齊拔き取を斷行し其實行日に限り根周三尺を一束とするものを金五錢にて買收し拔き取成績の優良なる洞里は郡に於て褒賞の上表彰金二十圓を給することゝし既に第一回を實行せるが成績極めて良好なりと石郡守は語る

國境水害 罹災民

十萬二千餘人

【新義州】八月中の國境地帶大水害の罹災民は九月六日迄の調査に依る平北道義州郡のみで十萬二千七百八十人に達してゐる

警察官會議

主なる事項は保安衞生、司法等

旅順に於て開催された警察官會議に神宮警視の代理で出席した新義州署畑田警部補は十日歸任左の如く出所中の感想を語る

今回の會議は六日から三日間の豫定でしたが關東震災の爲め二日間に短縮し猶內務省始め東京、神奈川、兵庫、福岡、長崎の各縣で朝鮮は引返したので內地の出席者は途中から靜岡方面からの出席者は大阪だけでした此の外滿洲の各領事館所在地警察官及び天津、上海、青島、芝罘等からも出席者あり全部で廿九名議事は外國人の取締在滿鮮人の保護並に取締等で主として高等事務に關する打合せの豫定であつたが實際は保安衞生司法等の各事務に亘つて微細の點に迄立入つて協議を重ねた次第でした今後實務上裨益する處大なるものがあると思ひます又在滿鮮人の取締問題に關しては隨分各種の議論百出したるも要するに發表すべき程の決議も見ませんでした伊集院關東長官の訓示中に支那の國情は日本と全然趣きを異にし國民の國家觀念も特殊のものであるから日本根性を持つて直に支那人に望むは非常な間違ひであるから注意を要する云々とあつたのは我々の大に指針とするものと感じました

鳥致院叺競技會

【鳥致院】五日忠南燕岐郡農會主催叺織競技會は鳥致院普通小學校で開催午前十一時市野燕岐郡守の開會の辭に始まり各面選拔の競技者は足踏機十二手織機二十五臺によりて妙技を振ひ一般の際撥を加へて宛然職場の如き目覺しい活躍振を示し午後二時競技を終り授賞式の訓示荒木審査員の審査報告ありて道大庭技手天安米檢高田技手西面長尹俊植等の祝辭に終りて後閉會した當日の賞與者左の如し

▲足踏機分壹等金在哲貳等林晉學尹旋均參等韓漢烈朴癸云金文瑞

▲手織機分壹等林惠君林再吉林斧鉉朴俊集貳等朴鍋鉉林永福成志鍋朴遠國林曾頭參等成樂天成元永徐致舜成樂永朴宗鉉朴載鳳來金奇一成德基以上

義州虎疫豫防注射

【義州】平北義州署では管內旅館、料理店、飲食店其他接客する者に對し今回コレラの豫防注射をした

金谷普校開校式

郡金谷面普通學校は十日盛大なる開校式を擧行した（晉州）

鮮人救恤義金募集

【晉州】帝都の震災に遭遇せし慶南に本籍を有する在京鮮人は一千三百餘名に達する見込であるから和田知事は彼等を救恤する目的にて救恤金募集を各郡に通達した

留學生家族慰問

郡管內より帝都に留學せる鮮人留學生の數は六十餘名に達するのであるが這般の大震災の爲め生死不明のもの多く一般に疑念を抱き一部鮮人間に流言蜚語を流布し民心を動搖せしむる者がある石郡守は是等留學生の安否に就き極力情報を得べく努力中で一方その家族一同には八日附を以て慰問の書狀を送つたが今回又郡吏員數名を管下各方面に派遣し家族を慰問した（馬山）

營口時局講演會

營口青年會は義捐金問題も一先づ段落を遂げたので此際國民の奮起を要望する意味で營口各官民の名士を招して十二日公會堂で時局講演會を開いた（營口）

莞草細工講習會

慶尙北道廳に於て豫て計畫中なりし莞草產の莞草製造講習會第一回を十日より十二日間醴成郡醴成附近に開催する事となり講師として慶北本廳なる岡山縣產業技手□員娘夫氏專任せり猶醴成郡の講習終了後第二回を高靈郡に於て開催する事となるべし（大邱）

和洋料理講習會

愛國婦人會平壤委員部に於ては九月十三日より十六日迄平壤公會堂で和洋御手輕料理講習會を催し講師には福岡料理研究所講師大石松野女史を聘し申込者多數盛會を極めて居るが會費三圓每日午前九時より午後四時迄の講習である（平壤）

御好みに應じ會席料理も致します
席貸專門 鳥丸
ラジユム温泉の設備も有ります

痔疾專門 入院隨意
京城久枝肛門病院
京城旭町二ノ三三 電話本局二一〇二番病院用 三七二番自宅用

醫學博士岡崎唐一郎先生創案
人體營養の素
ヴイタミン ABG含有
ウイタシユム 發賣
百瓦入二圓五十錢
半瓦入五圓
釜山辨天町
藤田藥舖
電話長八一番

消化と毒けし
仁丹
金言 賢者は用意を怠らず（西哲）

御手輕に
仁丹を御用意あれば
旅行に
散歩に
野球や
庭球に
人込に
船車に
突嗟の場合
偉效無限

給水車に集ふ避難民

傳書鳩 …投稿歡迎…
◇紙上の匿名は差支なきも別に住所氏名を明記する事◇中傷や筆者不明の投稿は採らず◇字體は明瞭に十五字詰五十行以內

義勇木工隊を派遣せよ

水原農林學校 白坂組工事部 濱田庶重

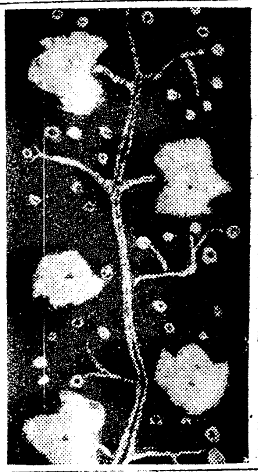
帝都の震災は眞に未曾有の慘禍で全く同情に堪えぬ、僕は大工職で金錢或は物質の救援は出來難いが勞力の援助なら出來る限りの事はする積りである、一つ朝鮮土木建築協會あたりで義勇木工隊でも組織して貰ひたいものだ、請負業者が假に大工一名宛を出すとすれば京城だけでも五十名以上百名に近い職人が集まるだらうと思ふ、此の際我帝都の慘狀をよそに見て枕を高くして寢る奴は日本國民にあらず、新聞で見ると遠く離れた外國ですら出來るだけの援助をすると云ふではないか、此の際日本國民は一齊に振ひ立たねばならぬ、勿論遊里に使ふやうな金があれば勿論の事晩酌一本飯一椀でも節約して罹災民に送つて欲しいものだ、たとへ其の心になつたならそれこそ莫大な金高になると思ふ、僕は愛媛縣西宇和郡の片田舍の貧しい家に生れて毎月仕送りをせねばならぬのだが僕の家は百姓だから僕が金を送らぬところで食ふに困るやうな事はあるまいから義勇木工隊が組織されたら早速加入する積りである、兎に角此の際全國民が一致協力して一日も早くより以上の東京を建設せねばならぬ、それが出來ねば帝國の恥だ、大工も左官も石工も鳶も心を合せて一生懸命に働け、義俠心を出してウンと働け、戰爭をするのは兵隊さんだが家を建てるのは吾々大工、全鮮の大工諸君よドシ／＼東京に乘込め、朝鮮は老年組がボチ／＼やつて居や好いんだ、義勇隊で行けばどの方面で働くのか知らぬが兎に角一生懸命に働いて見やう、何死んでも構うものか。

心願の國

新らしき村 柳井隆雄

穩かに調和されたる境地、それこそ我等の魂が憧るゝ世界である、そこは極樂淨土であり天國である、そして又理想の終局境である。」私達のあらゆる生命活動は皆何かの意味に於てこの調和に赴かむとする要求の現はれでないものはないと考へられる。」しかしその調和を私達は何處に探り求めるのであらうか。」すべての不安が魂の中にのみひそむとは知りつゝも、私の眼は絕へ間なく外界にその調和を求めては動くのだ、私達の人生のうちに私達を安住せしめる調和を求めやうとする、そして何時も淋しい幻滅に終つてしまうのだ。」人生を如實に瞰觀する時私は餘りに種々な不調和を發見せずには居られない、嫉妬、反感、意地そのやうな諸の感情から人々はお互の呪ひをとく暇もなく悲劇を墓場の彼方まで運んで行く、今一歩の聰明さが人間に與へられてあれば容易に喜劇に變え得る悲しみさへ如何とも爲し得ないのだ、來世に存在する如何なる世界がこの不調和を解決して果れるか信仰薄い私には知る由もない。」◇人々は只爭鬪し悲しみを地上に撒きつゝ死んで行くその淋しさ、人生はすべてこうだと諦めなければならないものか、調和の安らかな道は望まれないのかかくて人生に絕望する時人々は厭生主義者となり虛無主義者とならざるを得ない、一頃が彼等にとつては空の空なるものに過ぎないからだ。」人生に絕望したる者が彼岸の相に生むとする要求を持つ時、彼等は必然に彼岸へと憧れる、しかし彼岸にあつて待つものは何者だ、彼岸をも信じ能はねば最早死も不可である、死も不可、死も不可である、彼等は痛ましくも狂する他はないのだ。」明らさまに云へば私はかゝる白熱を持つて生を探るものではない、私は卑怯で臆病だ、私はそれを恥てゐるだが乏しいながらも何分かの熱情を持つて調和を求めつゝある者である事を憚らず云ふ者である。」◇私は淋しく限りなく不安だ、だが生れて來た、そうして生きてゐる生きてゐるこの事實、それは如何にしても否定し得ない事實である生きてゐる以上生きて行くより外ない。人生は淋しい、しかしその淋しさの中に[illegible]の歡びが惠まれてあるこの不調和に見える人生に涙をまで誘ふ處の歡びのある事は何と云ふ不思議さだ、歡の泉は汲めども盡きない淋しさを持つ、人間にたとへ暫瞬の歡びでも存在する間は私達の生きる事に意義はあるのだ、共同の歡びの爲に生きねばならない、歡びの爲に生きねばならない自分を歡ばす爲に生きねばならない、隣人を歡ばす爲に生きねばならない、淋しさの中に歡びを見出して生きねばならない。激しく激しく歡びを探りその底に永遠なるものを發見せねばならない。◇私は迷いつゝ惑いつゝ遂にこゝ迄來たはるばる來た氣がするが仰げば峯は未だ高い、又默々と登らねばならない、何時の日にか快よき凉風と爽ばしき太陽を浴びつゝ過ぎ越し來つた下界に懷しき微笑を贈り得るのだらうか。◇私は歡びの爲に生やうとする、しかも愚な私は如何に屢々歡の甦りに悲しみの種を播いた事ぞ、否播く事ぞ、又播かねばならない事ぞ私は又淋しさに襲はれた。」私はこの淋しさの中に倉田さんの『道心の三つの相について』を讀んだ、そして限りなき共鳴と救ひの手をそこに感じたのである。氏は云ふ。『我々は無相と往相と還相と此の三つの世界に住まねばならない。其の一つをも缺く時、我々の精神生活は、その合理性と自在性とを保つ事が出來ない。無相の世界に於て、一切の差別や義務や、總て我々の精神生活の負荷と煩ひとなるものを、振棄て、聖みの中に安息し、往相の世界に於て、飽迄も勇猛精進し登攀して、然も還相の世界に於てしばらく我々の精神の本能を自然に作用せしめて、自由と融通とを以て行動しなければならない。斯くの如きは決して矛盾ではない。』◇我々は無相の世界を持つ故に、却つて極度迄も高遠な處に理想を設定し、然も極度迄低卑な處にも嘗を見出すことが出來るのである。無相の世界は往相の世界と還相の世界を包含し、この二つの對立する世界をその胎より分出する最も深奧なる世界であるこの世界を獲得することが第一歩であつて、これを自己の心內に有せざる限り我々は如何なる自由をも有することが出來ないのである、又往相の世界と還相の世界とは相對立する世界のみならず又相互の世界を相支持してゐるものであつて、我々はこの何れの一つをも缺くことは出來ないのである』と私はこの信仰に安息し歡びの爲に生やうと思ふ。

刺繡應用の新味ある絞染帶地



寫眞にある絞染は御覽の通り野葡萄の圖案で秋の趣向に投じたものです。地色は赤味を帶びた薄紫で絞りはすべて白上りです。そして單調を破る爲めに、葡萄の實を赤、黃、茶、綠、鐵などの色絲で輕く刺繡しました。絞り方も刺繡も皆素人風の無造作なものですがその無造作な、技巧を凝らさないところに、却て面白味があると思ひます。圖案と色彩とさへ面白ければ、技巧などはさほど問題にはなりません。不器用ならうちに自然に調和がとれるのが素人工藝の有難い處です。

拵らへ方 は、先づ下圖を布の上に『靑花』でざつと描きます。下圖が出來たら絞りにかゝりますが、葉と實は平縫の搔き絞り、莖は搔きしめ絞にします。先づ木綿絲を二本に通して葉の輪廓をぐるりと左廻りに縫ひ廻り、縫終りの絲を長く殘して置きます。同じ方法で全體の實を縫ましたら、こんどは中央の太い莖を縫ひます。こゝは引縮め絞ですから、先づ下繪の線通りに、線を山にして布を二つに折ります。そして折山から一分程離れた處を、布を二枚のまゝぶつ／＼縫ます。次は左右に出て居る小さい莖も同じ方法で縫ふのですが、斯くして全部の輪廓が縫えましたら今度はその絲の端を式締めて絞り上げ絲が戻らぬやうに結んで置きます。それから捲き上げにする葉け先づ絲をぎゆつと引縮めた殘りの絲を葉になる部分にくる／＼と捲きます。全部絞れたら次は

染め方 ですが、染料は絹や毛織物には酸性、木綿には直接染料を用ひます。最も簡單な染料は『都染』か『ヤコブス』で、これは助劑も何にもなしで染まりますが數分か染め上りに光澤が少いかも知れませんが平常用のものなら之で充分です。本式に染めると成ると、先づ洗濯器に布が充分這入る程の微溫湯を入れ火にかけ、別に猪口にでも染料を熱湯で溶き、それを三分の一程微溫湯の中に溶き込みます。そして好く搔き混ぜ布をたぐり込んで湯の溫度を段々高めます。すると染料がだん／＼と布に染め着いてきますから、猪口に溶いた殘りの染料を入れます此時布を是非一度取出して入れないと染むらが出來ます。斯うして好みの色に染まつて來ましたならして、染液の中に醋酸を一寸落して見て少し酸味を感じる程に落し再び布をたぐり込んで煮ます。此の醋酸は染附けを善くする爲めです。斯くしてすつかり染め上りましたら取り出して水洗をし日蔭に干します。乾いたら絞の絲を取り、湯熨斗をして絞の皺を延べます。是で絞は全部出來上つたのですから今度は實の處々に刺繡をあしらひます。

刺繡の仕方 は本式のものよりはスコッチなどゝする粗い刺繡方が面白いと思ひます。唯色絲で縫ひつぶして置けばよいので絲は普通の刺繡絲よりは、太白か蕾物を縫ふ太い縢絲を用ひます。たゞ注意すべきことは絲の色で、餘りさえ／＼しいものよりは、少し濁つた方がうつります。そして處々に鐵絲や金絲をあしらふと大變引立ちます。之で出來上るのですが餘り濃色に染ることは古物の染直し等には困難で黑い色を選ぶ方が善い結果を得られます

賣掛金を橫領 女に入れ揚ぐ

山口縣豐北郡瀧部村上原町生れで目下府內本町二ノ一七番地洋服商吉田規一方に店員として雇はれて居たが數日前賣掛代金六百圓を橫領し情婦に入揚げ費消したことが暴れ並木町の西駿次方に潜伏して居る處を吉田の告訴に依り本町署刑事に所在を突止められ十一日逮捕された

義州公普生遠足

平北義州公立普通學校生徒は秋期遠足として八日平北道金剛山地方に教師引率遠足をした

培材高普生徒 窃盜を働く

府內貴金洞一八四番地韓伊方に居住する培材高普校四年生王良俊（二二）は去る二日仁寺洞一二六番地孔仁藥方に忍び込んで現金六百圓を窃み其內三百圓を鄕里の實父に送金し殘金で金側懷中時計一個を本町の大澤時計店で買ひ求めた外雜費に費消して知らぬ顏をして居る處を鍾路署刑事に探知され十二日逮捕された

家庭手帳

コーヒーを風味よくする法

コーヒーは粉末にしたのよりは豆（生か好い）を買つて來て黑光りのする迄煎つて粉末機で粉にするが香が數倍良い、コーヒーを出す時に極少しの食鹽を加へると風味がずつとよくなる。

砂糖の埃を除くには

砂糖には澤山の小さい埃がある。一度煮る場合は兎に角コーヒーや紅茶に其儘入れるのは氣持が惡い、で少しの水を加へ沸騰させてから大きい漏斗の中に白の吸墨紙をキッチリ敷いたのに注いで埃を取れば好い砂糖を入れる前に湯を一度通せば湯が吸墨紙に浸込むからツッが行かないで好い濾して見ると吃驚する程の埃がある。

童謠

山びこ

藤川淡水

お山のをぢさん
山びこさん
お前のお顏を
見せてくれ
お前のお顏は
口ばかり
目ん目もお鼻も
ないだらう

雷

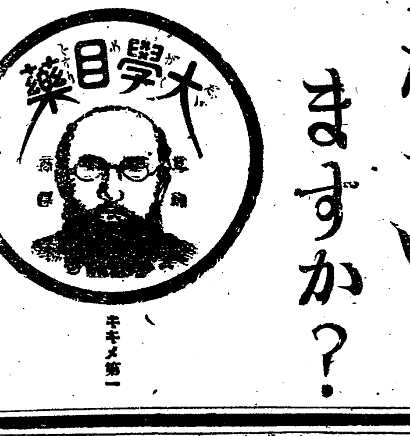
飴屋の雷
飴賣ると
大皷をたゝいて
かけまはる
木樵の雷
木を切ると
木ばかり狙つて
落つこちる。

問題の奇書忽七拾版
澤田順次郎先生著
餓鬼道
異性の肉に憧憬れ其の香に慕ひ集る淺ましき人間の世界よ！夜ごとなく日となく淫蕩なる享樂を夢見て燃ゆるが如き情火の如何に恐ろしきことよ！
飢へたる虎狼に等しき獸畜にも劣れる亂淫放從なる享樂は本書に依つて明るみへ投出された寧ろ怪奇なる場面は讀者をして驚歎せしむ
內容の一節 …本堂の裏手の寂しい墓場に連れ來り……あさは燃え立つ眼のもの一つをなつた……眼のものも……

神經過敏なる靑年男女は一時に多く讀む事を止めよ、此の如く赤裸々に看破せし書は天下に無し
特價壹圓七拾錢
東京麻布 正文社

產婦人科 小兒科
女醫遠山醫院
京城永樂町二丁目交番所前 長電話本局一六三四番

眼病に罹った時
どうなさいますか？



大學目藥
キキメ第一
各藥店にあり 價二十錢以上
大阪北濱 參天堂合資會社

大田案內

醫化學工業用藥品 醫療器械繪具染料 ペイント及各塗料
東亞藥房
大田春日町一丁目 長電話二五番 振替京城一〇三三番

ビタミンクラツカー
製造發賣元 遠藤商會
大田春日町一丁目 電話三一番 振替京城九四八一番

時計 貴金屬 眼鏡 不入質具 製作
大田驛前 鹽崎時計店
長電話二〇番 振替京城五〇〇九番 日本蓄音器商會專賣店

京釜線大田本町一 和洋家具 和洋陶器類 南鮮商會
貨物運送 委託賣買 (大)大田共同組 長電話二七七番

京釜線大田本町 久納洋服店 長電話二〇番

忠南大田春日町 發動機專門 冢鐵工所 長電話一二大番

淺野セメント株式會社特約店

教育用圖書掛圖・物理化學用器械・博物學標本模型・運動遊戲用器具・幻燈器械・其他各種教材品・各學校諸官衙御用達
斯文堂教育品店
朝鮮京釜線大田 振替京城二六五七番 電話長三四九番

京釜線大田本町一 三枝藥舖 長電話一五六番 振替京城六二五五番

大田春日町一 和洋御料理 貸席 富士家 長電話五七番

忠南大田春日町 醬油 森繁釀造場 長電話二一四番

大田本町一丁目 とけい めがね ゆびわ 井出時計店 電話三二〇番 振替京城七八六七番

大田春日町 瀧川銃砲店 大田支店 長電話二二 振替京城一七九二番 ラーヂー・ゲン自轉車特約店

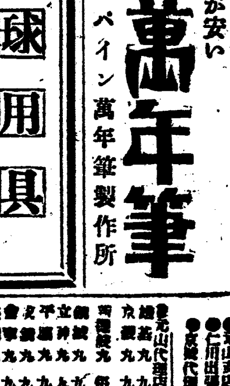
綸敎票石油赤貝揮發油白絞油 器械油類洋蠟マッチ木炭 スターサイダー燒酒各種罐詰類
卸 箕浦商店 長電話五二番
帝國生命同火災代理店

本店 平壤
株式會社 大同銀行
頭取 橫山直稻
鎭南浦支店 鷄里出張所 載寧支店

新型で品質良く價が安い
パイン萬年筆
京城本町二丁目 パイン萬年筆製作所

京日特選 庭球用具
ラケツト
イ 二圓　ロ 二圓四十錢　ハ 三圓三十錢　ニ 四圓　ホ 四圓八十錢　ヘ 六圓五十錢
荷造送料（二本迄六十錢四本迄一圓）
ネツト
六間物（二號）六圓五十錢　六間物（三號）五圓四十錢
六間半 七圓　六間物 六圓
七間物 七圓五十錢　七間物大 圓三十錢
送料一張七十錢
正規の大きさ（直徑二吋半）と重量を具し打ち心地よく殊に耐久力に富む
[A]軟球ボール 一打 三圓二十錢 送料
其他硬球用ラケット、ボール、各種運動用具共取揃へて居りますから多少共御用命下さい
合資會社 京日代理部 京城府太平通

大いに威張つて御愛用下さい
內地酒に變らぬ處に
銘酒朝の花の特色が現はれてゐます



釀造元 朝鮮論山 朝鮮酒造株式會社
京城出張所 京城黃金町三丁目 電本局二一九七番
販賣店…各地信用ある店に在り

資本金 貳千萬圓
本店 大阪高麗橋
頭取 安田善五郎
副頭取 小川爲次郎
株式會社 百三十銀行京城支店
支店長 影山省二
電話本局五八番・二一九四番 振替貯金京城一一三番
當行取引先內地各方面竝に朝鮮滿洲等重要の地に有之候銀行一般の業務御便利に取扱申候

醫科化學諸器械一式
仁川本町 北島藥店
京城本町六丁目 北島藥店京城支店

(K)
藥種賣藥卸商

朝鮮郵船定期
朝鮮郵船株式會社 本局
釜山支店 元山支店 仁川出張所 京城代理店

仁川 入院隨意 壬生醫院

大阪商船出帆
仁川出帆
●大阪行（群山木浦經由）
×宮島丸 九月 日午後三時
×交通丸 九月十四日午後三時
×天草丸 九月十八日午後三時
●南浦安東縣行
▲東長丸 月 日午後三時
▲第七厚田丸 月 日午後三時
元山出帆
●大連天津行
台北丸 九月十三日午後二時出帆
●釜山、門司、宇品、神戶、大阪行
[illegible]

內地各港出帆主要航路
[illegible]

三菱商事 仁川出入
長浦丸 三瓶山丸 大黑山丸 長浦丸
三菱商事株式會社 船舶部
仁川代理店 浦崎商店回漕店 仁川本町四丁目 電話長五〇番

在外正貨拂下實施

【大阪電話】政府は米穀、建築用材等の輸入に對して輸入税を免除したと同時に正金銀行に對し爲替資金として在外正貨を拂下たが今後も引續き輸入爲替資金として一般爲替銀行にも少しく在外正貨を拂下げる由

日銀保險會社援助

【大阪電話】日銀は生命保險會社の支拂資金として五千萬圓を貸附たが尚必要に依り貸付る筈であるが更に火災保險會社から相談があらば之に對しても相當考慮を拂ふ意嚮である

棉業界振興策
鮮內斯業は悲觀の要無し
綿絲布聯合會 宮林理事談

經濟界の中樞地たる帝都の潰滅と重要貿易港の全滅等に各機關の機能が暫く休止し人心頗る激亂して其災害の甚しく所謂に豫想し能はざるの狀態であつたが災害の程度漸次分明となるに從ひ秩序の恢復其途に就き杞憂多かつた經濟界の前途も非常に緩和し、暴利取締、支拂延期等の各令の發布實施につれ災害必要品は勿論一般物資の思惑熱も減退し、依存者の自戒と相待ち之が氣勢を挫きよく騰貴的物價の昂騰を抑制防止して其の緩和を計りつゝあるので恐らく今日以上經濟界の動搖も少なかるべく事態重大なる裡にも一歩一歩復興の光明を認め得らるべしと信じてゐる、從つて棉業界に於ける影響も決して忽せに付し能はざるものあれども震災地帶に於ける綿絲布の需要に伴ひ之が影響として輸入々に映かたし供給的需要としては何分本邦總紡錘數の約四分の一を占め織機に於て約一割弱を有する關東工場の操業不能と機械設の燒失及冬季需要の關係を考慮合して觀察が下されてある、又一方需要激減を基礎とせる弱氣觀は破壞紡錘(約七八十萬錘)の災害は却て從來の供給過剰分を一掃し自然採算の結果を生み品不足暴落による購買力の減退を補強が需要者の經濟の用途と更に需要擴張は寧ろ懸念を以て販界の成行を悲觀する需要者の感が果して其需要なるかは容易に逆睹し能はざる所である、之を要するに

棉業界の前途觀としては今日の場合確なる判斷を下し能はざるも四圍の狀況に鑑み大體に於て終始復活的傾向を辿り而も當局の周到なる對策と業者の賢明なる努力により追次新しき道程に入るべきものと思はれる、斯かる非常に際しては單に物資缺乏の理由を以て唯一の原料材料となし或は人氣の變化のみを以て弱氣材料となすも、此間の核心に觸れざる局部的觀察に外ならぬのである、ソコデ朝鮮に於ける綿業界の影響如何を觀れば既ち震災のみに拘らずをなすは決して當らざる所であつて爾來不景氣と戰ひ金融梗塞に惱まされつゝも其陰に堅忍持久を以て追日堅實味を加へつゝある斯界は時恰も冬季需要期に迫り居るを以て相當取引の進捗を見るであらう加ふるに本年度に於ける農産收穫も平年より増收見込充分なると米價も前年より遙かに高値を持續しあるを以て自然購買力を增進すべき好機であると思ふ、假令關東工業地帶の罹災に基く賣金市等綿物の移入は其の數量に於て些からざる減を示し**現物拂底に陷るべき**は勿論なるも夫れは製造者の自制により徒らに絹紡品を求むるの要なく內地製品たる綿布綿によりて充分に代用補塡の途かあり、之が需給關係も案外圓滑に行はれ得べく假令々震災による內地移入資金の杜絶と政府補給金期限等は朝鮮一般業界に對し暗影を投じ來り斯業手控へと共に傍らに金融界の影響も尠からずと見らるゝも既に度の疲弊に陷れし經濟界の狀態と之れに處する遊資商業等により今日以上突發的激變は恐らくあるまい從つて本年度の棉業界にとりても極端なる變化動搖もなく推移すべきものと考へられる尚一之ありと雖も我同業者は既に大正九年に於ける經濟界大動亂に試みし體驗と辛酸とにより後に之れが鍛錬を經し得る事と確信する

全鮮交換減少

八月中全鮮五交換所の手形交換高は枚數十五萬九千二百九十一枚金額六千三百十九萬四千五百八十八圓にして七月中交換高十六萬五千九百六十二枚六千八百二十九萬千二百三十三圓に比較すれば枚數に於て六千六百七十一枚金額に於て五百九萬九千六百四十五圓の各減少なるが八月中各交換所別交換高を見れば左の如し

	枚數	金額
京城	九九、三六八	五〇、六七〇、二八一
釜山	三六、七三一	一〇、九九九、三〇八
仁川	一〇、一四八	七、七三三、九三八
平壤	一〇、三八一	二、九二〇、六四〇
大邱	六、九三一	二、五五九、三三五
元山	四、二三一	一、三三〇、九三四
合計	一五九、二九一	六三、一九四、五八八
七月合計	一六五、九六二	六八、二九一、二三三
比較增減	六、六七一減	五、〇九九、六四五減

漢銀支店開期

【東京電報】漢城銀行東京支店は丸の內通東洋拓殖會社內に假營業所を設け十二日朝鮮銀行總裁一郎氏上京し漢井支配人と協議中なるが同行の營業は朝鮮銀行と同時に行ふべく多分十四、五日頃となるであらう

各地繭相場

總督府入電左の如し

九月五日 忠北沃川に於て生繭十貫に付日本種最高八十六圓六十錢最低五十三圓買騰七十圓十錢交雜種白繭最高九十圓八十錢最低五十七圓八十錢買騰七十五圓三十錢の割にて總數量二百十五貫の取引ありたり

九月十一日 忠北忠州に於て生繭十貫に付日本種最高八十九圓五十錢最低四十八圓八十錢買騰六十四圓二十七錢交雜種白繭最高八十五圓五十錢最低四十四圓八十錢買騰六十圓四十五錢の割にて總數量二百五十四貫の取引ありたり

九月十一日 忠北沃川に於て生繭十貫に付日本種最高八十六圓六十錢最低五十三圓買騰六十九圓二十錢交雜種白繭最高九十圓八十錢最低五十七圓八十錢買騰七十三圓九十錢の割にて總數量百八十五貫の取引ありたり

東拓全鮮貸出

八月末現在に於ける東拓會社の鮮內貸出總額は四千百二十四萬七千七百九十四圓五十二錢で前月に比し四十五萬三千四十圓六十七錢の增加を示した當月中各支店別貸出高左の如し(單位千圓)

區分	定期	年賦
京城	三、三八六	九、五九三
大田	九二〇	二、四四〇
裡里	七四二	三、五三六
木浦	四四五	三、〇五五
大邱	九二九	二、一五四
釜山	五四〇	三、五〇七
沙里院	八三五	一、〇七五
平壤	二、〇五八	二、三八八
元山	五四八	一、八一七
間島	一、二七二	
合計	一一、六七九	二九、五六八

上旬鮮鐵在貨

本月上旬末鮮鐵在貨は上り七、〇七三噸下り二、〇五七噸計九、一三〇噸にして前旬末に比し二、一三四噸を減少せり品種別數量を前旬に比較增減は下記の如くにして之を要するに前旬來關東地方非常災害の爲之が救濟品として米及木材は幾分の增加を見たる外一般商狀の不振は一層出荷を減退せるの傾向あり、セメント鐵鑛石の前旬に比し減少を呈せるは輸送順調なりしを其の主因とし爾餘の各品に對しては格別の差異なし

品名	數量(噸)	前旬比較增減(噸)
大豆	四六	△三〇
高粱	〇	△一
米	四五四	二四一
玉蜀黍	五五	五五
粟	一一六	八一
麥	一七三	一三一
雜穀	五一	五一
野菜	五〇	三六
果物	〇	△二五
木材	一五五六	六三二
薪炭	四三七	一九〇
石炭	一七一九	八三三
石材砂利	七六	△二〇二
鑛石	九〇	△二一五九
鹽	二八六	二〇八
鹽干魚	三七	一〇
豆粕	〇	△二六
麥粉	一〇四	四九
砂糖	六〇	五八
綿織物	五	△五
セメント石灰	六四七	△一八一
金屬製品	三九	二〇
繩叺莚	七九	三
生牛	八五	△二
石油	〇	△六
食料品	〇	△三
飲料品	七八	七三
綿絲	〇	△一
綿	八四	八四
肥料	〇	△五五
其他	一四〇四	△七〇六
社用品	六五六	△一八三〇
計	九一三〇	△二一三四
省線行	八二	八二

魚市場賣揚高

八月中京城鐵道管內に於ける魚市場賣揚高は總數七四、四三九貫一二、八八三圓にて中重要なるものを擧ぐれば次の如し

種類	數量	價格
スズキ	一四、四四八貫	二七、五〇六圓
ニベ	一一、四六〇	一七、〇四四八
タイ	三、〇二六	一四、六四二
サウラ	四、八一五	八、八四八

商品市況

麥粉(落付) 震災以來內地製粉會社の賣止めと生産不引合に依る鮮內製粉會社の減產とその間に賣惜みに買漁りも加はつて暴騰前より品傷れと市價稍頭氣味であつた市場は需給者共に冷靜を欠いで取引に不圓滑を來し小取引には突飛な値を云ふものも出たが今後は勿論これ等は暴利令を適用せらるべきものである尤も已に內地も各製粉とも震前と多く變らぬ値段で賣れるやうであり鮮國製粉の如き原料を九州で割安に買付けたといふ噂もあり鮮は內地は震災地の製粉會社が買付けて最近海外から需要の小麥に投物も現れんとの氣構へもあり工場の作業時間延長で相當補ひ得るから二十錢乃至三圓九十錢見當四圓二十錢見當が至當とせられて居るこの程度なら今後の爲替關係による外國小麥の値上りも影響する處は殆んどなからう

帽子(低落) 前年よりも二割以上安い殊に內地品より外國品が割安にて上物は外國物に押され氣味である中折ウール(厚毛の名稱)一個三圓から五圓ア七圓處で色は大坂は茶系統七分黑一分サックス一分黑外一分と云ふ傾向であるが震前東京物は鼠四分茶四分サックスグリーン黑二分と云ふの割合であつたリボンは其色ツバは前年と變らず折返しが全部と云つてよいそれに本年はソフトが相當出るかのやうで紳士向の品のよいのが外國もの內地ものにも澤山出來て居る內地品三四五六圓外國品四五六七圓處である六七年前一時流行してその後捨たれてゐたハンチングも再び流行せんとするの傾があり當業者間には相當の賣行を期待せられて居る値段は一圓二三十錢から四五圓處までである

綿絲布(下押) 三品ボンヤリ保合を入れ現物界は愈々賣行鈍く實需防氣迷賣控への姿にて至極沈靜相場下押模樣

粗布三エ一二七〇圓九龍二六五圓大エ一二五八圓金剛山二三八圓金閣二一八圓糟管一八五圓白頭山二〇九圓細布飛犬(十三磅)十三圓八十錢世樂島十二圓二十錢晒金巾進軍十三圓金鵬十三圓六十錢綿絲扇面(十六手)二三八圓双女二一四圓晒木綿竹一圓十四錢棒一圓五十六錢

鮮魚(一高一低) 鯛小鯛等の入荷は割合多きに買氣少くして軟弱なれ共他は週著少きに買旺盛にして引締り氣味である

たい四十圓小だい四十五圓小えび五十圓かじき七十圓さわら三十圓たこ三十圓すゞき二十八圓あわび三十圓にべ十八圓ます三十圓仁川たい五十圓連子たい二十圓

株式(十三日)
▲前場閑散 諸株保合ふ

昨後場保合の氣先今朝は大阪大新六十二圓十錢の小戾りを入れたるも人氣依然沈滯新規の商內は殆んど行はれず双方共に手詰でお茶を濁す樣に有て向活氣なく諸株閑散裡に保合を告げ不勢に大引した

長期▲京取當二十錢安先十錢安殖新當十圓八十錢寄七十錢引

短期▲大新十錢安仁取二十錢安仁新十錢安安取十錢高

▲後場低落

前場閑散保合の氣先後場は大阪大新六十一圓十錢の下押しを入れて氣配弱く大新は熊本中村筋賣く賣り安値は新田定國筋買向ひ氣まりたる手合あり六十一圓六十錢と低落京取は氣乘薄にて先一圓十錢と低落其他仁取は百〇二圓四十錢仁新は三十一圓七十錢安取は十三圓六十錢と一齊に小安く大体に於て不氣乘閑散を脫せず諸株一齊安を告げ不勢に大引した

長期▲京取當一圓安先七十錢安

短期▲大新一圓二十錢安仁取六十錢安

殖銀新當十圓七十錢仁新三十錢安安取四十錢安

事情は賣に有利
併し下げ餘地は少い

京取株は昨大阪の好勢に刺戟せられて小高き成行を告げたが多くは新規買に依るもので眞の買氣に依る品物とは受取り難い振合があり今や僅かに一二枚のかけ引で相場も敏弱含みを免かれず全く無活氣の成行を示した何故震災に依る不安から崩落した相場も一巡と共に人氣も今や平靜に復し冷靜なる判斷に依りて賣買の標準が樹てらるゝの狀態に復し大阪の小康狀態と相俟つて悲觀の念は漸らぎつゝある姿であるが警戒氣分は尚不去るの狀で尙買共に見送り氣分で相場も目先は此邊の小相場と見られ易い併し今後の相場に對する觀測としては上値よりも寧ろ下値に可能性ありとするものが多い即ち震災勃發前に於ける軟派は株價の引返し模樣と共借り株返齊の買埋を得ざりし所謂災禍を排はざる狀況となつてゐたので勃發買方の狼狽投げを機會に巧に買埋めを爲し反つて買越の場合となつた其買埋を演じ尙安値の構へられたものが下鞘りとなり小戾しを待ち小康を呈するに至つたのである即ち賣埋と云ふ目標があつて買はれた結局借株の穴が埋められた今日殊に種々雜觀され易き現狀金融詰りの事實に逢遇しつゝあり乍ら何を目當に買進む事か出來るであらうか現在としては京取は全く値頃觀以外に買ふべき材料も無いのは今果して然りとすれば濟された當信筋の貸株が仕手の目標となる譯であつて若し當信筋が貸株をすることになれば先づ買はれるよりも賣られ易い事になる勿論現在の値頃から賣つて果して下げ餘地があるか、問題ではあるが事情は前記の如く買ふよりも賣られ易い事情に置かれてあるのであるから大した下値はないにしても前途は安いと見るの外はないやうであると

當然の一と押し
深刻はあるまい

値頃關係と東株の現狀から到底立會開始迄には尙多くの日子を要するだらうとの見越しと震災に依り一般商品界の荷動き漸く活氣を呈し來つた事はやがては證券界にも相當の刺戟を與へるべく等各種の見越し材料が往々豫想材料化して買氣を刺戟する時代を作るかも知れないとの觀測から遂に還殺の反應を演じたが時節柄不穩の相場は監督官廳から警告もあつた一面如何に日本の中心市場として再來大阪が繁榮すべしとしても現在の震災の大損害が直ちに復舊する譯ではなく今後之が復舊の爲め或は東株の後合整理其他經濟上幾多の事情が生じて來るのは否み難いと同時に夫れが悉く好材料とのみは目し難いのであるから將來の繁榮は兎も角として既に震災崩落相場の反動を是した今日此れ以上無暗に買進み難いと共に利喰も現はれて來る道理で將來は兎も角目先の處一と押し相場の遂も當然で先づ目先下値も大した事なく高値も大は望めず此邊の鈍狀を續けるものと見られ易い

仕手の調落と
仲買店の廢業

京取市場仲買人三十名中今日迄に廢業したるもの九人休業中のもの三店共同經營の一店にして其內廢業と同時に經營者の變り居たるものの二店あり現在の仲買人は僅かに二十名に過ぎず其內二店休業に頻せるものあり著しく不振の狀態にある一方過般認可せられたる新仲買人も(五人 中森吉氏死去)金融梗塞の爲め資金其他の提供金二萬圓及營業資金一萬圓計三萬圓は資金の調達困難なる模樣にて直に開業は至難と見られて居る斯る仲買店自體が疲弊せる許りでなく一般客筋が凋落せる爲めであつて此際人工的の振興策も其效果は少なく見るべき大したは市場の閑散なる結果として廢業者の續出せんとも保し難く殊に市中銀行の株式金融警戒の折柄擔保制限も實行難の損合あるに見れば今日の株式界は全く金融詰りに依る深甚の打擊を受けたるものであるから市場に於ても充分なる練識注意を要すると共に他面穩健なる金融方法を講ずるの必要があり各仲買人に於ても極て愼重なる態度を以て此難關に處するの覺悟を要することと最も肝要であると(某當業者談)

特別提供問題
或は無期延期か

特別提供問題は目下反對者側から制規の賛成を得て仲買組合臨時總會の開催請求中であるが既に當時と仕手代りとなつた今日丈に敢て撤回を迫らんとする程の熱心もなく氣力抜けの狀態で結局は實行の可否は餘り問題とされて居ない模樣である併し反對者側が斯くの如き態度であるとしても市場が其儘特提方法を實行するか否かは疑問とする向もある即ち市場は今回の震災相場に依りて特提方法の危險なるを痛切に經驗したのであると共に對一般取引所關係並に對株主關係に於て特提方法を實行し難き事情を認めるに至るであらうから場合に依りては双方諒解の許に特提

現株中値出來値(十三日)

銘柄	前場當限 寄/引	前場先限 寄/引	後場當限 寄/引	後場先限 寄/引
京取	三三・〇〇/三三・〇〇	三三・二〇/三三・〇〇	三三・三〇/三三・〇〇	三三・一〇/三三・一〇
仁取	…/…	…/…	…/…	…/…
新同	…/…	…/…	…/…	…/…
鮮銀	…/…	…/…	…/…	…/…
新同	…/…	…/…	…/…	…/…
殖銀	…/…	…/…	…/…	…/…
新同	一〇・八〇/一〇・七〇	…/…	一〇・七〇/…	…/…
賀銀	…/…	…/…	…/…	…/…
商銀	…/…	…/…	…/…	…/…
新同	…/…	…/…	…/…	…/…
漢銀	…/…	…/…	…/…	…/…
新同	…/…	…/…	…/…	…/…
韓銀	…/…	…/…	…/…	…/…
東拓	…/…	…/…	…/…	…/…
新同	…/…	…/…	…/…	…/…
鮮土	…/…	…/…	…/…	…/…
朝紡	…/…	…/…	…/…	…/…
滿毛	…/…	…/…	…/…	…/…
京電	…/…	…/…	…/…	…/…
新同	…/…	…/…	…/…	…/…
電興	…/…	…/…	…/…	…/…
釜產	…/…	…/…	…/…	…/…
朝郵	…/…	…/…	…/…	…/…
殖鐵	…/…	…/…	…/…	…/…
中鐵	…/…	…/…	…/…	…/…
新同	…/…	…/…	…/…	…/…
繃門	…/…	…/…	…/…	…/…
京南	…/…	…/…	…/…	…/…
金剛	…/…	…/…	…/…	…/…
南鮮	…/…	…/…	…/…	…/…
滿綾	…/…	…/…	…/…	…/…
新同	…/…	…/…	…/…	…/…
東亞	…/…	…/…	…/…	…/…
新同	…/…	…/…	…/…	…/…
鮮火	…/…	…/…	…/…	…/…
現信	…/…	…/…	…/…	…/…
勸信	…/…	…/…	…/…	…/…
朝信	…/…	…/…	…/…	…/…
穀信	…/…	…/…	…/…	…/…
安取	…/…	…/…	…/…	…/…
奉信	…/…	…/…	…/…	…/…
大新	…/…	…/…	…/…	…/…

短期取引

銘柄		寄付	大引	高値	安値
大新	前	六六・三〇	六六・八〇	六六・八〇	六六・一〇
大新	後	六六・〇〇	六六・四〇	…	…
仁取	前	一〇四・〇〇	…	…	…
仁取	後	一〇二・五〇	一〇二・四〇	…	…
新同	前	三二・〇〇	三二・〇〇	…	…
新同	後	三一・七〇	三一・七〇	…	…
朝紡	前	…	…	…	…
朝紡	後	…	…	…	…
中新	前	…	…	…	…
中新	後	…	…	…	…
拓新	前	…	…	…	…
拓新	後	…	…	…	…
安取	前	一三・〇〇	…	…	…
安取	後	一三・六〇	一三・六〇	…	…

早受日步改正

京取市場に於ては今回提供株の早引きの場合に於ける返し日步は市場決定の假渡日步より五厘引にて計算することに改正した

仲買廢業

京取市場所屬仲買人塚野季三氏は都合に依り十三日廢業届を提出した

出來高 ▲長期千百十枚累計二千二十二萬四千七百四十一枚▲短期三千二十七枚累計十五萬八千三百枚

算定 仁取百〇三圓、仁新三十一圓十三錢、大新六十三圓、朝紡十錢、安取十四圓

日步 仁取四十錢、仁新十錢、安取五錢、大新五十五錢

諸株喰合兒
十三日前場現在

▲京取當取組高二四〇提供七一

賣方吉見四一〇、中村三六〇、南市川五一〇外五店

買方白井一七〇洪往二五〇犬島一二〇新田四八〇金秀一一〇白樂一二〇外四店

▲同先取組高二〇四〇提供六九〇

賣方有田四五〇南見一九〇川崎一七〇南一五〇閔一三〇市川一三〇外二店

買方白井一八〇洪往二五〇洪鶴一〇白樂一九〇外五店

六二〇 六一五〇 二二八〇 二二六 七〇

▲大新取組高一五四〇不足一二〇

賣方吉一五〇田中一〇〇洪鶴三〇〇櫛下二〇〇定岡一三〇中村一四〇樋下一〇〇外一店

買方大島一〇〇新田一〇〇定岡二〇〇外四店

▲安取組高三四二代引三八〇

賣方有田一七〇白井二八〇田中五〇中村三六〇金秀一三〇閔一五〇

買方吉見一二〇田中五八〇季實三七〇新田八二〇定岡三六〇南七二〇市川三一〇外三店

大阪長期取引

銘柄	十三日前場寄付	十二日後場大引
大株	八五・九〇	八六・二〇
同新	六四・〇〇	六四・三〇
郵船	八五・一〇	…
同新	二八・五〇	…
商船	…	…
同新	…	…
鐘紡	二六六・〇〇	二六五・六〇
同新	二三五・一〇	二三六・三〇
東紡	一一〇・四〇	…
日糖	…	…

銘柄	十三日前場大引	十三日後場寄付
大株	八五・三〇	八四・三〇
同新	六三・一〇	六二・四〇
郵船	八五・三〇	八五・〇〇
同新	二八・五〇	…
商船	…	四〇・〇〇
同新	…	一〇・七〇
鐘紡	二六四・〇〇	二六〇・六〇
同新	二三三・四〇	二三〇・一〇
東紡	一一〇・一〇	一〇八・九〇
日糖	九五・四〇	九六・二〇

大阪短期取引

銘柄	○十三日前場 寄付	大引	○十三日後場 寄付	大引
大新	六二・一〇	六一・五〇	六一・二〇	六一・九〇
鐘新	三三〇・二〇	三二八・一〇	二六六・七〇	三三一・〇〇
天取	…	…	…	…

安東株式

		寄付	大引
○十二日後場 安取	當	一四・四〇	一四・五〇
	先	一四・六〇	一四・四〇
○十三日前場 安取	當	一四・四〇	一四・三〇
	先	一四・五〇	一四・三〇

鎭平銀

		寄付	大引
○十二日後場	當限	一・三一二	一・三一六
	先限	一・三一三	一・三一三
○十三日前場	當限	一・二九六	一・三一〇
	先限	一・三一〇	一・三一〇

米況(十三日)
仁川期米
前場賣壓へ

前日來二十四圓近くは克き戾りと見る賣物に仲機みの傾きであつたが今朝大阪寄附二十八圓十五錢と十六丁高を入れたるも依然吹値待ちの賣物に壓せられて其の反響薄く立會へは寄中出來ず先二十三圓五十錢と遂に二十丁安に寄付

▲第二節 當中出來ず大阪跡四十四錢の高移りに先九十錢と四十丁の上放れに始めしも吹値待の賣物に忽ち六十九錢と叩かれ中限は二十三圓八十錢の一本値に引

第三節 當中出來ず先五十五錢より大阪跡二十八錢の安移りに三十八錢と押し小口の利喰ひに四十六錢と跳返しと引

第四節 當中出來ず大阪跡十九錢の移りに先四十錢より三十二錢と下還ひたるが押目は目先筋の利喰りに四十五錢と跳返し一錢と引

第五節 當中出來ず先四十錢より大阪跡二十三錢の持合いに五十錢と跳返し四十九錢で持合いに引

第六節 當中出來ず先五十錢より九錢と締りし戾りは買氣薄く四錢と下押して引

▲第七節 當中出來ず先二十三圓五十八錢と手堅く大引

倫敦銀塊相場三十一片十六分の七 米棉一圓五十錢安

戾賣り旺盛

今朝は大阪二十四圓十五錢の高寄りを受けて當所も一時二十三圓九十錢まで反撥したが元米買方が網を無理した居る上に戾らば賣らんの人氣旺盛なる爲め跡大阪四十四錢の反撥を入れたるにも拘らず其の反撥薄きのみか却つて賣方の見送りに再び三十錢臺に叩き込まれたが阪神の成行きが各地に比較して下過ぎの嫌ひある丈此の邊今一反撥を見せるかも知れない兎に角昨今の人氣は偏は恐怖の隨力として餘り弱りに偏傾し過ぎて居る丈けに乘りすれば人氣の裏を進まんとする傾向がある

仁川米豆取引所仲買人 高橋謙三 仁川府港町三丁目 電話長一五一番

結局は安い米

かうなると弱氣は安い處で利喰いして吹いた處は亦賣直す事が出來るので餘程大きな強材料でも現れない限り回復は至難と云はねばならぬ殊に買方は暴利令で極度に恐怖を來して居る上に前途大不景氣の襲來を見越されて居るのだから正米との採算上假令不自然の相場であつても迂闊には買つて出られない然し經濟界の恐怖も聊か度に過ぎて然るし財界の前途悲觀に傾き過ぎて居る嫌ある丈人氣が落著けば自然警過ぎに反動が現れないとも限らぬ而に角今回の恐怖相場は此の一段先づ一段落と見る事が出來る借て下げ讓りの正米が今後どう云ふ趨勢を辿るかゞ問題であるが一時悲觀された帝都の食料も今後七十日間の供給量は整ふたと云ふて居るし殊に利今に依つて思惑は絶對不能であり掏て順氣は申分なく其れに外米の輸入もあるから割の高い正米が何時迄も割高に止まつて然られるかどうか此の先當分大した安値はないにせよ高値には種々障害の成駭があるから此の身反動があるにしても天井は見へ透いて居るに反して下値には有ゆる可能性を以つて居るから正米も何れは定期の下足に隨ひて來であると

此邊一進一退か

阪地の動搖以上に波襴を演じた當市場も昨日來稍々落付模樣となり殊地方主力筋は輕擧を愼みに居れるものゝ如く自然場面も靜穩に復して來つたが今後秋日和を見定め得る迄は先づ此邊の一進一退の裡に推移しはすまいかと

賣買差引殘

賣方		買方	
⑦	二六〇〇	①	二九〇〇
㊕	一〇〇〇	⑪	三三〇〇
㋕	七〇〇	和	三〇〇
羽	一〇〇〇	元	七〇〇
川	一〇〇	ⓓ	三〇〇
鹽	二六〇〇	丸大	六〇〇
丸振	一二〇〇	㊀	一〇〇
命益	二〇〇	丸久	二〇〇
		三輪	一〇〇

	○十三日前場	十三日後場
寄付	二三・五〇	二三・五〇
止値	二三・五八	二三・五〇
高値	二三・九〇	二三・五五
安値	二三・三二	二三・一二
	○前場公定値	後場公定値
一節	二三・五〇	二三・五〇
二節	二三・七〇	二三・五五
三節	二三・四一	二三・三二
四節	二三・三八	二三・二〇
五節	二三・四八	二三・二六
六節	二三・五四	二三・五〇
七節	二三・五八	…
限月値段 當限	…	…
中限	二三・八〇	…
先限	二三・六九	…

取組高(當限 中限 先限) 一万六千六石

出來高 九萬八千百石

累計 一六五七六〇〇石

後場小高下

▲第一節 當中出來ず先二十三圓五十錢寄付

▲第二節 當中出來ず先三圓五十錢の寄止め

▲第三節 當中出來ず先四十五錢より十二錢と叩かれ二十二錢引

▲第四節 當中出來ず先十九錢より五錢と押し二十六錢と返して引

▲第五節 當中出來ず先二十六錢より三錢と押し五錢引

▲第六節 當中出來ず先三圓五十錢引

米界餘聞

此相場はどうでせうと聞くとサアもう弗々買ひから出てもいい値頃の樣に思はれるがと玄人筋は云ふ▲底が小口筋は阿呆らしい順氣の良いのから推しても此の米が迂濶に買へますかと相變らず買一筋に意地をつけて居る▲賣方の腹には財界の不安が何處までもコビリついて居るらしい帝都の震害無慮五十億圓と云ふへ一口にこそ云へ大した金額である其の莫大な國富が一瞬に烏有に歸して了ふたのだから今後廻りへつて不景氣の襲來は免れ難いし米價も亦どんな安値を出現するかからないとふ▲成程理屈はさうではあるが一時極度に悲觀せられた金融界も日銀の思ひ切つた救濟策の發表で追々緩和せられて來さうであるし相手が皮肉育ちの相場と來て居るので何處迄も弱氣の成駭に屈服して居るかどうか▲仕手の顏振れを見ると只の一俵も米を持つた奴はないのだから正米より何百丁も不割を叩いて居る相場に對して若しも買方から買物頂戴と出たられた日にはどうなるか▲然し當局監視の眼は光つて居るし時節柄買方には遠慮もあらうから平素の如く思ひ切つた活動は出來まいぢやないか

京城穀物
正米現物

連日の不勢にて見切品一巡の模樣と期米の引返し步調を眺め出日來稍々手堅き成行を示した地場正米は當用必需の小口買と相俟ち今朝は二三十丁方の氣締りを呈し丸チ四等二十八圓五十錢の商談に對し八圓三四十錢迄買進まれ丸チ四等二十九圓買八圓七八十錢買の人氣となり三等米は今期上品にて二十九圓五十錢迄手合せ行はれた

延 期米の戾り足を眺めて幾分買氣を催ほし來れるも金融不振の折柄無理にも進まれず場面は一上一下の裡に時機待ちと云ふ風情である 十月末限二五八〇七九

大豆 在荷は相當ある模樣なるが何れも高値當時の思惑品にて此の邊見切りつかず兎角高張り勝なるが買人としても新規注 不振の折柄にて強い

は漸まず今朝一部手筋間に龍山物二等三等の交り十七圓二十五錢にて出來し三等としては十七圓擶みを唱へられ二三十錢方氣配を持直して居る

仁川正米

白米移出商談の杜絶にて各精米所買控へ方針にて今朝け丸キ四等廿七圓五十錢見當の唱へなるも取引行はれず手持筋も賣物薄を見越して其れ以下には應せさる始末なれば市況は閑散である

釜山正米

寄高を入れたる大阪期米も跡メレ腰の移りにて蚊許買人安嘴となりしが手持筋も成行きに應じて手放し來れる風情にて人氣案外引立たず穀良都二十八圓神力二十七圓六十錢處にて二千百個出來した

延 十月中限二十五圓九十錢十一月末限二十四圓三十七錢より二十四錢出來高九萬石

大豆 來品も正米同樣の持合ひを示し十七圓にて七十個出來した

大邱正米

現物穀良都二十七圓神力二十六圓五十錢十月末限二十三圓三十八錢より七十五錢

仁川期米 福

大阪期米

	○十三日前場	十三日後場
當寄	三一・四九	三一・五〇
止め	三一・四八	三一・三〇
中寄	三〇・一〇	三〇・一〇
止め	三〇・三〇	三〇・三四
先寄	二八・一五	二八・二五
二節	・四四	七・九五
三節	・四二	・七五
四節	・二八	・七六
五節	・一九	八・一九
六節	・二五	・二〇
七節	・三三	…
八節	・三一	…
九節	・三八	…
十節	・二六	…

兵庫期米

	○十三日前場	十三日後場
寄付	二六・七一	二七・五二
止め	二七・三九	二七・二六

下關期米

	○十三日前場 寄付	止め	十三日後場 寄付	止め
當限	…	…	…	…
中限	…	…	…	…
先限	二七・四四	二七・四二	二七・四四	…

仁川米豆取引所 仲買人 ダ 仲賣店

桑名期米

	○十三日前場	十三日後場
寄付	二五・五九	二六・四一
止め	二六・二四	二六・四二

大阪三品

	○十三日前場寄付	後場大引
九月限	[illegible]	[illegible]
十月限	[illegible]	[illegible]
十一月限	[illegible]	[illegible]
十二月限	[illegible]	[illegible]
一月限	[illegible]	[illegible]
二月限	[illegible]	[illegible]
三月限	[illegible]	[illegible]

	○十三日前場寄付	後場大引
九月限	[illegible]	[illegible]
十月限	[illegible]	[illegible]
十一月限	[illegible]	[illegible]
十二月限	[illegible]	[illegible]
一月限	[illegible]	[illegible]
二月限	[illegible]	[illegible]
三月限	[illegible]	[illegible]

亞鉛引 平板ト浪板 大阪ノ御仕入先ハ

相場表御希望ノ方ヘ進呈ス

平板 浪板 針金 釘 諸鐵材

大阪市西區立賣堀南通四丁目 松尾和助支店

好評嘖々たる携帶用 商工業者の羅針盤 大阪 仕入案內 仕入商人の好伴侶 第十六年九月號出づ

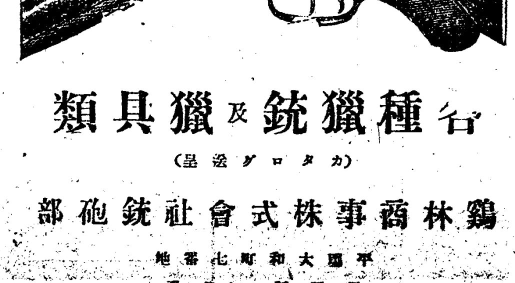
入院隨意 京城南山町二丁目六番地 片山內科醫院 片山信夫 電話一九五一番

特製 サクラビール ミヨシノサイダー

開店御披露

謹啓いよ〳〵秋風冷涼の好季節と相成候處益々御清榮の御事と謹而奉賀候扨て此度御最負樣の御篤き御同情とおすゝめに依り左の如く料亭を開業いたすことに相成候に付ては料理人仲居すべて充分に注意いたし候間一御最負樣の御意に叶ふ樣に調へ申し候間何卒特別の御愛顧御引立被成下度御來駕の程伏而奉願上候 敬具

仁川濱町十九番地 會席料理 千歲 電話四一四番



各種獵銃及獵具類 (カタログ呈送)

鷄林商事株式會社銃砲部

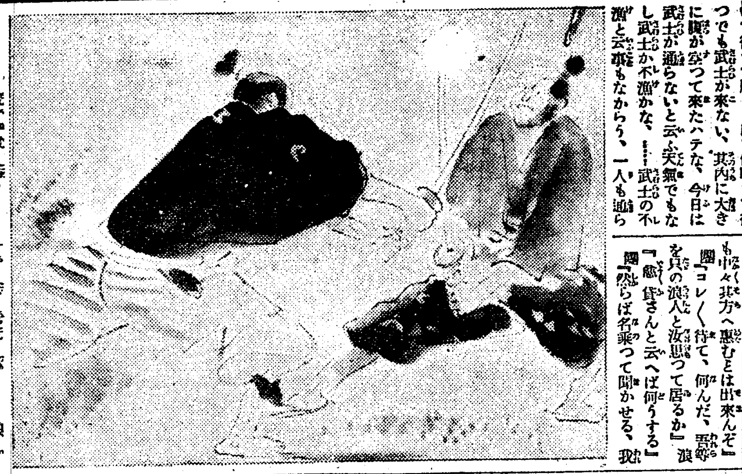
平壤大和町七番地 長距離電話一八番

通俗太閤記

二百三十七回

松林伯知講演 加藤由太郎速記

○『何うしたい山中』△『木津川を渡つたか』○『通つた出會したらう』△『出會した。』と斯んな趣意でもうお武家方は數は通らない、他の所を通つて往來すると云ふやうな譯、此方は鹽右衛門、何日でも出る度に仕事がある。今日も今日とて最う一文なし、朝飯前に大仕事をやて一杯飲まうと相變らず柳の木の根へ腰を掛けて手ぐすね引いて待つて居る。處が何時まで待つても武士が來ない、其内に大きに腹が空つて來たハテな、今日は武士が通らないと云ふ天氣でもなし武士が不漁かな、……武士の不漁と云ふ事もなからう、一人も通らない、サア鹽右衛門も困つた、と知つたらば金は皆んな仮ふのではなかつたが、是りや飛んでもないことをした、もう彼是入相近い時分迄か彼方から謡ひの聲がする鹽『オヽ良い調子だな、謡ひも餘程上手だ、百姓町人があれだけに出來るものではない、待てば海路の日和だ、來たな、腹の空つた處で熟柿にして一杯やれる、アハヽヽ旨いぞ飲めるぞ』段々謡の聲が近くなつた、姿を見ればこは如何に目醒笠の破れたのを被り、鞘のチヨロ兇になつた羊太刀拵への長大小を落差し、何れで酒をやつたのか充分に酩酊をして左の手に大きな皮包みを携げ、一歩は高く一歩は低く、ヒヨロ／＼と風吹鳥のやうにやつて來る、浪『ウーイ……』鹽右衛門の前を行き過ぎやうとする 鹽『アイヤ暫らく、御浪士暫らく』浪『何だ』と大きな聲だ浪『何の用があつて呼止めた』鹽『されば御覧の通り、我等は尾羽打枯らしに浪々の身の上、申すも恥かしき事ながら此日にも差支へる、武士は相見互ひ、少々なりとも御用立下さいお見掛申してお願みぢや』浪『アハ……主家浪人をして其日の物にも差支る、幾らか貸て與れ、さて／＼不嗜みの奴ぢやな、ウム、假令浪人いたせ嗜みといふことが肝腎だ、我等も同じく主家を浪人いたした身の上だが、嗜みが好い、人の懐中を當に金を貸して與れとは云はん、今此先の茶見世で一杯いたした、見ろ此處に提げて居る竹の皮包み、之から宅へ歸つて又一杯飲直すのだ、けれども中々其方へ恵むとは出來んぞ』鹽『コレ／＼待て、何んだ、吾等を只の浪人と汝思つて居るか』浪『愈、貴さんと云へば何うする』鹽『然らば名乘つて聞かせる、我等を只の浪人と思ふか』浪『言ふな／＼』伊豫國松山の浪人鹽原鹽右衛門、鹽直行か』鹽『イヤ知つて居るな』浪『フム……併しながら其方は誠の鹽右衛門ではあるまい鹽直行と云者は汝の様な不心得の者ではないぞ鹽右衛門が松山を退身いたしたと云ふとは豫て聞いて居るが、察する處鹽右衛門の名前を騙る奴であらう、縦んば夫が眞の鹽右衛門なら猶更貸す事はならんまだ二兩や三兩の金は持つて居るが、左様な不心得な者に貸す金は持たん』鹽『汝れ飽迄も嘲弄いたしたな、もう許しはせん、命ぐるみ申受けた』浪『面白い、久しく腕を振はない、命が取れるなら取つて見ろ、サア來い』と屹として身構へる 鹽『イエロの横に切れたる瓢箪く申した、其處動くなツ』と突立つて腰なる長刀の柄へ手が掛るが早いか拔討ちざまにピシーリ斬付けた、例の浪人胴二つになるかと思ひきやヒラリ體を躱す其身體の早いこと、左の手に持つて居た竹の皮包をピューッ鹽右衛門の面部へ發んで投付けた、心得たりと腰を捻つてスッパリ竹の皮包みを切ると、中から蒟蒻に燒豆腐と鹽燒が出た、詰らない物が飛び出した、鹽右衛門頭を念と踏み込んで斬込むと彼の浪人、早くも刀の柄を掛つたからチャリン／＼と斬合した。



齒科専門
廣瀬齒科醫院
京城本町二ノ三(山本旅館前)
院長 齒科醫學士 廣瀬文質

時計御註文ハ 村木時計店へ 電話四七

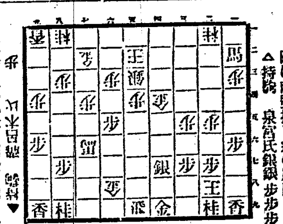
木戸齒科醫院
京城永樂町二ノ三四

將棋新手合(四)

於大連市松山台ラジウム温泉 講評 木七段歡迎會席上

▲七段 木見金治(東京)
△ 泉宮晋吉(大連)
飛香落△

圖は前號指了迄の局面
△持駒 泉宮氏 銀 銀 步 步 步



▲四五步 △五九金 △同金 ▲四三金 △二一馬 ▲四二步 △七三步(チ) ▲七一玉ナル △五二玉 △五一銀 ▲同桂 △四四桂 ▲六二玉 △五二桂ナル ▲七五馬 △九五步(リ) ▲八八飛 △六八銀 ▲八九飛 △九四步 ▲九九龍 △九三步ナル ▲同龍 △七六步 ▲六五馬

講評 木七段講評

△(チ)七三步打ち手筋なり

△(リ)九五步は浸漫なり此處六四步同馬なれば六二步と打ちて優勢なり

醫學と高週波電流

三浦博士が始めて東京醫科大學にヂアテルミーを輸入されて以來機械の改良に連れて至る所大病院に設置され其功果と共に徐々普及して殆と流行物の如き觀を呈するに至り遂には施術する者等出でし濫用或は誤りて功果を疑はしむる者さへ出する様に成りましたが一方施術者も非常に進んで確くべき功果を現すもの多く機を見るに敏なる諸人に依り擔器と稱する是に似て否なる數種の小器が出づるに至りました。

◎最もよい適應症は神經痛、脚氣、リウマチス、氣管支炎、胃腸諸病、痳毒性關節炎、睾丸炎、膀胱加答兒、婦人病等ですから困つて居る方は我社の物理療法へ來られん事をお勸め致します。

電 光化門四〇〇 樽内廿四

易

九月十五日(舊暦八月五日)

▲三碧▲唱劍東方▲土曜 ▲辛卯▲赤口▲破▲女宿

▼三碧▲中途で挫ける日進むよりは退くが利世話事禁物坤と乾が吉

▼四緑▲思つた事は行うて必ず成功する入學旅行開店吉坤と丙が吉

▼五黄▲資本の割合には利益の見えぬ日辛抱が肝腎坤と南と北が吉

▼六白▲無茶苦茶な事ある日穏て控え目にして安全北と巽と南が吉

▼七赤▲出過ぎては損する内輪に行うて存外利益がある巽と艮が吉

▼八白▲新しい事は概ね面白くない本職を守つて利坤と艮と北が吉

▼九紫▲諸事調子よく大に敵を挫く但し締め括りが大事乾と北が吉

▼一白▲精出せば出す程相當が收益がある待人來る南と艮と乾が吉

▲二黒▲折角の乗馬も無駄に終り易い實直を旨として利坤と北が吉

關釜連絡船

釜山發 午前十時 午後九時三十分

十四日 朝、景福丸 夜、德壽丸

十五日 朝、昌慶丸 夜、景福丸

十六日 朝、德壽丸 夜、昌慶丸

火災保險支拂方

……以て此の七割を支拂ふと……

……また九牛の一毛にも足りない……

は……會に於ても目下……研究中とのことである

は乘用自動車にて諸所下車すれば通行し得

一、枕橋は近衛師團にて完成なり平橋も近く開通

……を免れた山の手方面には多く……の官有地あり……なる官衙建物が……

京の美觀を擬する事も尠くない……云ふので、市内にある官有地を……

が陸軍落勝の間には市内に散在してゐる陸軍用地は將來東京市の……

總て一ケ所に集め更に教育地帶を定め、關係學校を、東京近郊に移……

あれを止め

さゝくれ、ひゞ、凍傷、あかぎれ 肌膚のあれ等、忽ちに奏効す。

肌膚を柔軟滑澤にし色艶を麗しくする芳香健膚藥

○ミツワ雪の雫

定價金五拾錢 内地以外は關税運賃を加ふ

(現品縮寫圖)

主効

皮膚を強健清潔ならしめ、皮膚乾燥、皮膚剝脱、皮膚龜裂、皮膚皸裂、凍傷、火傷、乳嘴の小傷、擦過傷、雀卵斑、脂漏、痤瘡、毛瘡、濕疹、鱗屑疹、粃糠疹、苔癬、白癬に奏効す。

肌膚を柔軟滑澤にす

本劑を日常用ひますと、肌膚を柔軟に滑澤にし、理を細かにし、肌膚の血行を良くして其の色艶を麗しくし、脂や汗の餘分に出るのを止め、肌膚を包み護つて、黴菌や毒物の入込むのを防ぎ、尚肌膚の榮養を旺盛にし肌膚を強健く且清潔にします。

肌膚のあれ、ひびを治す

冷たい風に當りますと、肌膚がされて表皮が細かく剝けてひびとなり、肌膚の色艶が不良くなりますが、湯上りにはもとよりのこと、顔や手足を洗つたとき、本劑を塗けますと、肌膚の荒れることは決してありません、此點では本劑は「あれ知らず」と謂ふて可いものであります。

凍傷、火傷に効あり

凍傷の出來さうな部位へ、前々から本劑を塗込んで居ますと、凍傷の豫防になります、又凍傷の出來たときや火傷したとき直に塗りますと、著しい効果があります。

はたけ、擦過傷に効く

はたけは幾分痒くて皮膚が糠のやうに落ち、顔を醜くしますが、本劑を根氣よく用ひますと、いつの間にか消失せます、又蚯蚓腫のやうな擦過傷の出來たとき直に本劑を塗りますと、こがめることなく、速に治ります。

にきび、吹出物を防ぐ

肌膚の脂が出過ぎますと、顔が膩ぎつて汚くなり、にきび其の他の吹出物が出來ますが、平生本劑を用ひますと、にきびなどは出來ません、又出來た場合に塗りますと、本劑の「にぎびとり」の効力が現はれます。

色艶を麗しくす

洗顔、入浴、化粧の都度ミツワ石鹸を使つて、肌膚の汚垢を落としてから、本劑を手掌に滴らし、之を擦込むやうに塗り、暫時經てから、湯水で堅く搾つた手拭で、吸込まれぬ餘分の漿液を輕く拭取り、それから白粉を塗けますと、白粉ののりものびもよく、生々とした化粧の出來る麗しい色艶の肌膚になります。

賣捌 化粧品店・藥店・
最寄に販賣店なくば本舗より直送す(郵券代用不苦)

發賣元 ミツワ石鹸本舗 東京橘町 丸見屋商店

僅一滴で、強い薫を、永く保つ、濃厚香水

○ミツワコンクレー

定價壹壜金壹圓五拾錢

三十倍の濃厚香水

ミツワコンクレーは、アルコールを以て稀薄にした普通香水とは違つて、單純な匂や調合の不手際な香や、或は強烈な品位ある佳香の濃厚香水です、僅に一滴でよく人を魅する床しい馥郁たる芳香を放ち、而も永く保つて頗る優良なものであります。殊に本品は香料の世界的本場の佛蘭西で非常に賞美されてゐる純粋の香料を基礎として、之にミツワ化學研究所の研究にかゝる至純の芳香料を配合したもので、其濃度は普通香水の三十倍以上にも達してゐます、従つて品位ある嫌味のない芳香は頗る強烈で、且つ永く保ちますから多量に用ふる必要なく、經濟的實用品として十分に賞讃すべき價値があります、眞に一滴よく馥郁たる佳香を放ち、而も強烈な芳香を有すると云ふのは品質優越した本品の特徴であります

(現品縮寫圖)

賣捌 化粧品店・藥店・雜貨店・
最寄に販賣店なくば本舗より直送す(郵券代用不苦)

○ミツワ石鹸本舗 東京市日本橋區橘町 ○丸見屋商店

電話… 振替貯金口座東京七一〇

最上醤油

朝鮮仁川港

髙杉醤油醸造場

仁川 上城酒造場

時代の進歩に伴ひたる皮革界の驚威

◎文化皮革の出現(専賣特許出願中)

本品は今般拙者發明し(目下専賣特許出願中)たるものにして經濟と實用とを兼備し今回廣告の爲各位へ極々元價にして提供致候間左の用途により是非一度御試用被下度奉願候

本品特徴

一、價格の低廉なる事約皮の五分一
二、強き事は皮革の數倍
三、使用極簡易素人の裁縫に適す
四、如何なる物にて磨擦するも變化せず
五、防水、防寒用最適品
六、幾年使用するとも變化の憂なし

用途

座蒲團 鞄 運動靴 鞄及袋物 温突用紙 防寒手袋 ゲートル 防水防寒衣服 下駄(花緒生皮) 足袋 テーブル掛 椅子 寢臺及 製本表紙 其他各種

特約店募集 各郡府一名限り見本入用の方は郵券拾錢送附を要す

朝鮮文化皮革製造所 精巧社

電話本局一八一一番 京城府古市町十四番地

健胃 強肺

資誠堂製

山田正路丸(ヤマダセイロガン)

發賣元大連 東昌洋行

コレラ、セキリ チブス等ノ 悪疫豫防藥

日露戦争ニ征露丸ノ名ニ依リ知ラレタル胃腸病ノ特效藥ナリ消化ヲ扶ケ殺菌力強大ナレバ無病ノ人モ常ニ之ヲ服セバ胃腸ヲ健全ニシ流行傳染病ヲ豫防ス

北鮮代理店、京城本町木村藥店 南鮮代理店 大田南海堂 北鮮代理店 仁川北原藥店

尚鮮内到ル所ノ著名藥店ニテ販賣致シマス

至寶!

金銀珠玉に優る至上の寶―愛兒

時候の變り目で病魔の襲ふ保健衛生上最も大切な秋であります、ラクトーゲンは保健上育兒上自然的賞讃と感謝的愛用とを博して居ります現代唯一の滋養豐富な理想的乳製品であります。

サラ／＼とした粉末純乳

ラクトーゲン

何時何處でも卽座に新しいお乳となる